



# FN-1000

## 取扱説明書

このたびは本商品をお買い上げいただきまして、  
まことにありがとうございます。

- お使いになる前に本書をよくお読みください。
- お読みになった後は必ず保管してください。

**技術基準適合認証品**



## 商標・免責事項

---

### ■ 商標

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- OFiSTAR は、東日本電信電話株式会社/西日本電信電話株式会社の登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- OCNは、NTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

### ■ 免責事項

次のいずれかに該当して発生した障害については、弊社は責任を負いません。

1. 取扱説明書記載事項に反するお取り扱い、お取り扱い上のはなはだしい不注意および誤用の場合
2. 火災、天災、地震、異常電圧およびこれに類する災害による場合
3. 取扱説明書記載以外の分解、改造、修理に起因する場合

上記以外の場合においても、本商品およびそれらに付属または内蔵のソフトウェアの使用または使用不能（故障、誤動作、ハングアップ、ウイルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない）から生じた、逸失利益、データの損失、その他特別な、付随的、結果的、間接的損害をはじめとする損害、および第三者からの請求等について、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合であっても、弊社は一切責任を負いません。

弊社が関与しないハードウェア、ソフトウェアなどとの組み合わせによる使用不能（故障、誤動作、ハングアップ、ウイルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない）から生じた損害に関し、弊社は一切責任を負いません。

## ご使用にあたって

本商品は、クラスB 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。  
VCCI-B

ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。  
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

### 【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

# 安全にお使いいただくために

## ■ 安全上のご注意

この取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。

各図記号の意味をご理解のうえ、以下に記載する注意事項をお守りください。

### □ 各図記号の説明

 <b>警告</b>	この表示は、「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷 <sup>*1</sup> を負う可能性があること」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示は、「誤った取り扱いをすると人が傷害 <sup>*2</sup> を負う可能性、または物的損害 <sup>*3</sup> のみが発生する可能性があること」を示しています。
右図記号は、行ってはいけない禁止事項を示しています。	 <b>禁止</b>  <b>接触禁止</b>  <b>ぬれ手禁止</b>  <b>分解禁止</b>  <b>水ぬれ禁止</b>
右図記号は、必ず行っていただきたい強制事項を示しています。	 <b>強制</b>  <b>アース線を必ず接続せよ</b>  <b>電源プラグをコンセントから抜け</b>







\*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。







\*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

\*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。



### □ 設置上のご注意

#### **警告**

 <b>水ぬれ禁止</b>	水のかかる場所に設置しないこと 漏電して、感電・火災の原因となります。
 <b>水ぬれ禁止</b>	機械の上や近くに、花びん・コップなどの液体の入った容器を置かないこと 液体が機械内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
 <b>禁止</b>	AC 100 V ± 10 V ( 50/60 Hz ) の電源以外は使用しないこと 感電・火災の原因となります。
 <b>アース線を必ず接続せよ</b>	アース端子が確実に接地（アース）されていることを確認すること 確実に接地されていないと、絶縁不良により漏電したときに、感電の原因となります。確認方法については、販売店にお問い合わせください。
 <b>アース線を必ず接続せよ</b>	電源プラグを接続する前に必ずアース線を接続すること アース線を接続前に電源プラグを接続すると感電の原因となります。
 <b>強制</b>	電源プラグは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込むこと




 <b>強制</b>	<p>電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから、電源コンセントに接続すること 感電・火災の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認すること 電源プラグが確実に差し込まれていないとプラグが発熱し、感電・火災の原因となります。</p>
 <b>電源プラグを コンセントから抜け</b>	<p>アース線を外す前に必ず電源プラグを抜くこと アース線を外してから電源プラグを抜くと感電の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>電源コードは  <ul style="list-style-type: none"> <li>• 傷つけないこと・加工しないこと・ねじらないこと・無理に曲げないこと・引っ張らないこと</li> <li>• 物を載せないこと・加熱しないこと・熱器具に近づけないこと</li> </ul> 感電・火災の原因となります。電源コード破損時は、販売店へご連絡ください。</p>
 <b>禁止</b>	<p>本商品の電源コードを他の電気機器で使用しないこと  本商品に同梱されている電源コードセットは本商品専用です。他の電気機器に使用しないでください。  感電・火災の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>たご足配線にしないこと  本商品の電源コードは、たご足配線にしないでください。たご足配線にするとテーブルタップなどが  過熱・劣化し、火災の原因となります。</p>





## 注意

 <b>電源プラグを コンセントから抜け</b>	<p>電源プラグをコンセントから引き抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと  電源コードを直接引っ張るとコードが傷つき、断線や芯線の露出から感電・火災の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>通気孔をふさがれないこと  機械内の温度が上昇し、火災の原因となります。  設置の時は、設置場所の余裕・空間を保ってください。  ☞ P.1-5 「設置・接続」</p>


## 取り扱い上のご注意

## 警告

 <b>分解禁止</b>	<p>分解・改造・修理はしないこと  感電・火災・けがの原因となります。  点検・修理は販売店にご依頼ください。</p>
 <b>ぬれ手禁止</b>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと  感電の原因となります。</p>
 <b>水ぬれ禁止</b>	<p>機械の上や近くに、花びん・コップなどの液体の入った容器を置かないこと  液体が機械内部に入った場合、感電・火災の原因となります。</p>



 禁止	<b>通気孔からクリップなどの金属類を入れないこと</b> 金属類が機械内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
 強制	<b>年1回以上、電源プラグをコンセントより抜き、プラグの刃と刃の周辺部をきれいに清掃すること</b> ほこりがたまると、火災の原因となります。
 電源プラグを コンセントから抜け	<b>長期間（1か月以上）使用しない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと</b> 絶縁不良が発生したとき、感電・火災の原因になることがあります。
 電源プラグを コンセントから抜け	<b>煙が出てきたり、異常音・変なにおいがするときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと</b> そのままご使用になると、火災の原因となります。至急、販売店にご連絡ください。

## 注意

 電源プラグを コンセントから抜け	<b>落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜くこと</b> 落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
--	---

## 電源アダプタに関するご注意

### 警告

 禁止	<b>付属の電源アダプタ以外は使用しないこと</b> <b>付属の電源アダプタを他の機器に使用しないこと</b> 感電・火災の原因となります。
 禁止	<b>電源アダプタは</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水のかかる場所で使用しないこと・電源コードで吊り下げないこと</li> <li>• コネクタにクリップなどの金属性のものを接触させないこと・布団などで覆わないこと</li> </ul> 感電・火災の原因となります。

## お願い

- 本商品は、縦置きの場合はスタンドを取り付けて設置してください。
- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。  
(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)  
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)  
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。  
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大いときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品を廃棄する場合
  - 回収された本体のリサイクルを推進することにより、循環型社会の実現に取り組んでいます。本商品が使用済みとなった場合は、販売店にご連絡ください。
  - 梱包材等の廃棄については、該当する地方条例または規則に従ってください。

## ご利用前の注意事項

---

### ■ セキュリティに関するご利用上の注意事項

- 本商品の設置場所において、ハードウェア取り外しや不適切な分解などの、物理的なセキュリティ問題が発生する恐れがある場合は、別途入退室管理等の物理セキュリティ対策をお願いいたします。
- 設定の不備による情報漏洩や、悪意のある不正なアクセスによる影響を防止するため、保護されたネットワーク環境でご利用いただきますようお願いいたします。
- 不正に設定値を変更されるなどの操作を防ぐため、本商品をご使用いただく前に、本商品に設定されている工場出荷時の初期管理者パスワードを必ず変更していただきますようお願いいたします。また管理者パスワードは定期的に変更していただきますようお願いいたします。
- 送受信データの保存先を外部サーバの共有フォルダに設定した場合は、お客様の責任において外部サーバのセキュリティ対策を行っていただきますようお願いいたします。

### ■ 機器のファームウェアに関する注意事項

本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、インターネット上のサーバに更新されたファームウェアが存在するか自動的に確認する機能と、更新されたファームウェアに自動更新する機能が有効（工場出荷時）に設定されています。

本商品がゲートウェイ装置と通信できる状態で、インターネットを利用できる環境であれば、定期的にファームウェアの確認を行い、最新のファームウェアが確認されると、AM 4:00 ~ AM 5:00の間にファームウェアの更新を自動的に行います。詳しくは、「5章 バージョンアップについて」を参照してください。

なお、ファームウェアの自動更新を望まない場合は、自動更新機能を無効に設定して、手動でファームウェアをバージョンアップしてください。

☞ P.5-1 「バージョンアップについて」

ファームウェアの更新について、以下の点にご注意ください。

- 各サービスの利用中は、本商品のファームウェアの更新が行われません。各サービスの利用後、ファームウェアの更新を行ってください。
- ファームウェアの更新中は、各サービスを利用することができません。
- ファームウェアの更新が実行されると、各サービスが中止される場合があります。ファームウェアの更新が完了するまでお待ちください。なお、中止されたサービスのログが残らない場合がありますのでご注意ください。
- ファームウェアのアップデート確認のため、[ネットワーク設定] - [DNSサーバ] でDNSサーバを設定してください。
- ファームウェアのアップデート確認用サーバがデフォルトゲートウェイとは異なるゲートウェイ側に存在する場合、[ネットワーク設定] - [ルーティング] でルーティングの設定をしてください。

☞ P.4-40 「ルーティング設定」

### ■ その他

- 本商品はデータ通信専用機器ですので、音声通話や映像通信に対応していません。
- 本商品には、専用の着信番号を割り当てて使用されることをお勧めします。
  - 一つの着信番号を他の機器と共用すると、本商品が着信に回答できない場合があります。



# 概要

## ■ FN-1000の概要

FN-1000は、フレッツ光ネクストのデータ通信サービスである「データコネクト」を利用する環境に設置し、SIP (Session Initiation Protocol) を利用してデータを送受信するための商品です。

「データコネクト」は、「ひかり電話」のデータ通信サービスで以下のような特徴があります。

- 電話番号で送信先を指定してデータ通信が可能です。
- フレッツ光ネクスト網ならではの高品質、高セキュリティなデータ通信が可能です。
- データ通信の利用に適した秒単位による従量制課金を新たに設定することで、安価なデータ通信を利用可能です。

「データコネクト」を利用できる環境に本商品を設置して、同一のネットワークに接続されたコンピュータまたはデジタル複合機から電話番号でデータを送受信を行います。

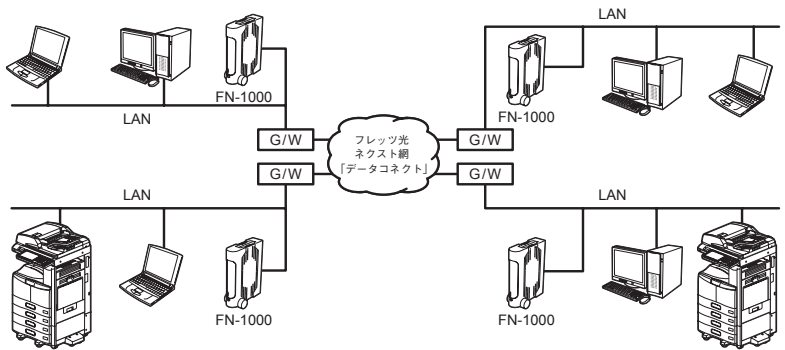
### ファイル送信/原稿送信

- コンピュータのWebブラウザを利用して、宛先と送信ファイルを選択して送信できます。
- デジタル複合機がEWB (Embedded Web Browser) 対応していれば、操作パネルから宛先を指定して、スキャンした原稿を送信できます。
- デジタル複合機がスキャンしたTIFF形式のファイルをファイル送信 (SMB) できる機種であれば、本商品の送信先指定フォルダにデータを送信 (保存) することで、送信先指定フォルダごとに設定されている宛先に自動送信できます。

### 受信ファイル

- ファイル送信時に [保存] または [印刷+保存] に設定されていた場合、コンピュータのWebブラウザを利用して本商品に保存されているファイルをダウンロードできます。
- ファイル送信時に [印刷] または [印刷+保存] に設定されていた場合、PostScript3に対応したデジタル複合機\*から自動的に印刷できます。なお、[印刷] が設定されたデータでも、何らかの事情により印刷できなかった場合には、本商品に保存されます。

\* すべてのPostScript3に対応したデジタル複合機での印刷を保証するものではありません。



G/W：ゲートウェイ装置



# もくじ

---

商標・免責事項.....	1
ご使用にあたって.....	2
安全にお使いいただくために.....	3
ご利用前の注意事項.....	6
概要.....	7

## 第1章 セットアップ

---

同梱品の確認.....	1-2
各部の名称と働き.....	1-3
設置・接続.....	1-5
IPアドレスの確認.....	1-10
IPアドレスを手動設定する.....	1-12

## 第2章 コンピュータから本商品を使う

---

概要.....	2-2
コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする.....	2-3
コンピュータのWebブラウザからファイルを送信する.....	2-4
コンピュータのWebブラウザから処理(ジョブ)を確認/削除する.....	2-10
コンピュータのWebブラウザから送受信の履歴を確認する.....	2-13
受信ファイルをダウンロードする.....	2-17
受信ファイルを削除する.....	2-24
ファイル送信画面の説明.....	2-28
受信ファイル画面の説明.....	2-34
状況確認画面の説明.....	2-37

## 第3章 デジタル複合機から本商品を使う

---

概要.....	3-2
EWB対応のデジタル複合機の紹介.....	3-3
EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする.....	3-4
EWB対応のデジタル複合機からスキャンしたファイルを送信する.....	3-6
EWB対応のデジタル複合機から処理(ジョブ)を確認/削除する.....	3-20
EWB対応のデジタル複合機から送受信の履歴を確認する.....	3-22
EWB対応のデジタル複合機の操作パネル画面説明.....	3-24
デジタル複合機のスキャン機能を利用する(ワンステップ送信).....	3-41
デジタル複合機から受信したファイルを印刷する.....	3-44

## 第4章 コンピュータから設定する

---

管理者権限でログインする.....	4-2
-------------------	-----

[設定/登録] 画面 .....	4-3
[設定/登録] (管理者用) 画面 .....	4-4
設定/登録の画面説明 .....	4-5
印刷設定 .....	4-18
電話帳の登録 .....	4-20
電話帳のエクスポート / インポート .....	4-31
メール通知設定 .....	4-36
ルーティング設定 .....	4-40
EWB対応デジタル複合機の使用設定 .....	4-44
リポート機能の設定 .....	4-53
ワンステップ送信の設定 .....	4-60
ワンステップ送信のフォルダ設定のエクスポート / インポート .....	4-71
送受信データ保存先の切り替え .....	4-76
送受信履歴 (ログ) からファイルを削除 / ダウンロードする .....	4-78
設定値の保存 / 復元 .....	4-82
初期化 .....	4-87

## 第5章 バージョンアップについて

本商品のバージョンアップについて .....	5-2
自動更新機能について .....	5-5
新しいファームウェアを確認してバージョンアップする .....	5-7
当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする .....	5-9

## 第6章 故障かな?と思ったら

接続できない .....	6-2
送信できない .....	6-3
受信できない .....	6-5
印刷できない .....	6-6
レジストできない .....	6-7
EWB対応デジタル複合機のトラブル .....	6-8
ご利用開始後のトラブル .....	6-9
エラーコード .....	6-12
メッセージ .....	6-16

## 第7章 付録

送受信データ保存先用の外部サーバ設定 .....	7-2
WebブラウザのJavaScript 設定 .....	7-11
Webブラウザのポップアップブロックを解除する .....	7-14

---

IP アドレスの検索方法 (nslookup コマンド) .....	7-18
オープンソースソフトウェアのライセンス情報 .....	7-19
用語集 .....	7-20
仕様一覧 .....	7-22
さくいん .....	i
保守サービスのご案内 .....	巻末



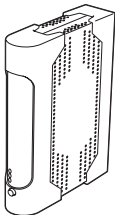
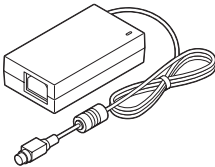
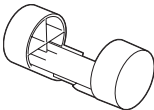
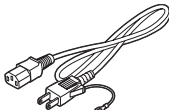




# 1

## セットアップ

同梱品の確認.....	1-2
各部の名称と働き .....	1-3
設置・接続 .....	1-5
IPアドレスの確認.....	1-10
IPアドレスを手動設定する .....	1-12

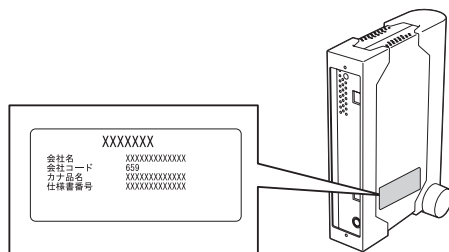
## 同梱品の確認

以下の内容物がすべて揃っていることを確認してください。同梱品に不足しているものや損傷しているものがございましたら、販売店までご連絡ください。

本体 (1台) 	電源アダプタ (1個) 
縦置きスタンド (1台) 	電源コード (1本) 
LANケーブル <ストレート 2.0m> (1本) 	取扱説明書一式 ・取扱説明書 (本書 1冊) ・最初にお読みください (1部) ・最新情報のご案内 (1部)
保証書 (1枚) 	保証書用封筒 (1枚) 
相談センタ用シール (1枚) 	

## ■ 銘板ラベルの確認

指定箇所に銘板ラベルが表示されていることをご確認ください。ラベルが紛失していたり、汚損により見えにくい場合は販売店までご連絡ください。

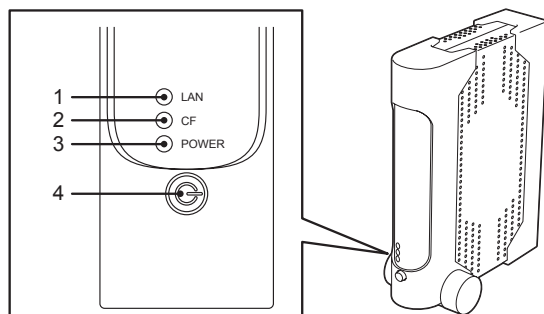




# 各部の名称と働き

本商品の各部の名称とその働きについて説明します。

## ■ 前面



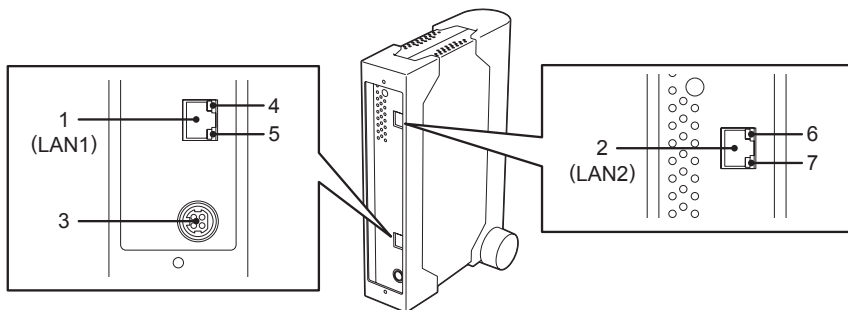
### □ ランプ表示

名称		ランプ		状態
1	LANアクセスランプ	—	消灯	ネットワークに接続できていません。
		橙	点滅/ 点滅	ネットワーク上の機器と通信を行っています。
2	CFアクセスランプ	—	消灯	CF (Compact Flash Card) にアクセスしていません。
		緑	点滅/ 点灯	CFにアクセスして、データの読み込み/書き込みを行っています。
3	電源ランプ	—	消灯	電源がオフの状態です。
		緑	点灯	電源がオンの状態です。

### □ スイッチ

名称	説明
4 電源スイッチ	電源のオン/オフを行うスイッチです。 電源をオンにすると、[電源ランプ] が点灯します。

## ■ 背面



### □ ポート/端子

	名称	説明
1	LAN1ポート	フレッツ光ネクストのゲートウェイ装置にLANケーブル（ストレート）を使用して、接続するためのポートです。
2	LAN2ポート	既存のネットワーク環境にフレッツ光ネクストの回線を接続できない/追加できない場合、既存のネットワークに接続するためのポートです。 LAN1ポートとフレッツ光ネクストのゲートウェイ装置をLANケーブル＜ストレート＞で接続し、LAN2ポートは、既存のネットワーク環境と接続します。本商品の内部でデータの受け渡しを行い、既存のネットワーク環境からデータの送受信を行うことができます。
3	電源アダプタ端子	電源アダプタの端子を差し込みます。

### □ ランプ表示

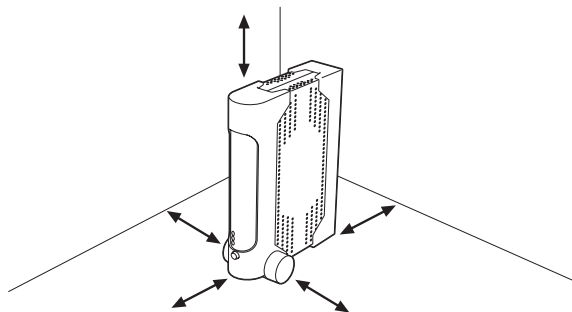
	名称	ランプ		状態
4	10 BASE-T / 100 BASE-TX/ 1000 BASE-Tランプ (LAN1ポート)	—	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
		橙	点灯	1 Gbps / 100 Mbps でデータ送受信できます。
5	LINKランプ (LAN1ポート)	—	消灯	ネットワークを利用できません。
		緑	点灯	ネットワークを利用することができます。
			点滅	データ通信中です。
6	10 BASE-T / 100 BASE-TXランプ (LAN2ポート)	—	消灯	10 Mbps でデータ送受信できます。
		橙	点灯	100 Mbps でデータ送受信できます。
7	LINKランプ (LAN2ポート)	—	消灯	ネットワークを利用できません。
		緑	点灯	ネットワークを利用することができます。
			点滅	データ通信中です。

本商品を使用するためには、コンピュータから初期設定を行う必要があります。

☞ P.4-1 「コンピュータから設定する」

### ■ 設置

本商品は、前後左右5 cm、上 5 cm以上の設置スペースを確保してください。



### ■ 接続ゲートウェイについて

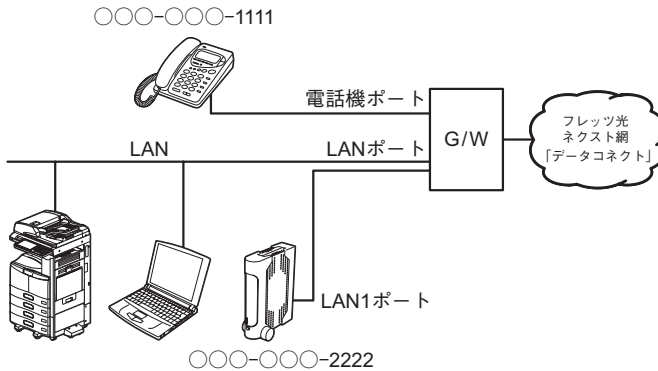
本商品は、「データコネク」に対応したゲートウェイ装置にLANケーブル<ストレート>で接続して使用します。

#### ポイント

- 本書では、ゲートウェイ装置を "GW" (または "ゲートウェイ") と記載します。
- 「データコネク」対応のゲートウェイ装置および対応バージョンについては、当社ホームページをご確認ください。

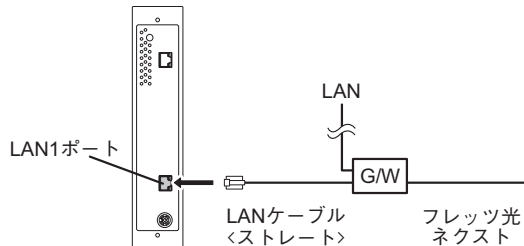
## ■ ネットワーク接続

### □ フレッツ光ネクストを利用するネットワーク環境にFN-1000を接続する場合



#### 接続

LAN1ポートとフレッツ光ネクストのG/W装置をLANケーブル <ストレート> で接続します。  
G/W装置のLANポートを使用して、その他のネットワーク機器をLAN接続します。



#### LAN1ポートの設定

##### LAN1ポートのIPアドレスを自動取得する場合

初期値では、LAN1ポートのIPアドレスは自動取得する設定になっています。  
G/W装置のDHCPサーバ (DHCPv4サーバ) から割り振られるIPアドレスを自動取得します。

##### LAN1ポートのIPアドレスを手動設定する場合

管理者権限でログインして、[設定/登録] - [基本設定] - [ネットワーク設定] 項目の [LAN1] - [DHCPクライアント] を "オフ" にしてから、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] の項目を設定します。

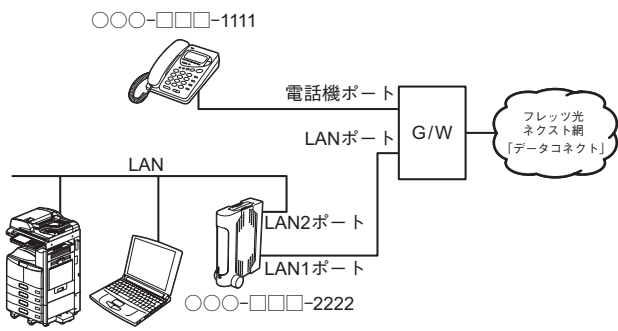
□ P.1-12 「IPアドレスを手動設定する」

#### ポイント

[DHCPクライアント] を "オフ" にすると、G/W装置の情報が取得できなくなるため、[SIP設定] 項目にG/W装置の情報や通信に関する情報を入力設定する必要があります。

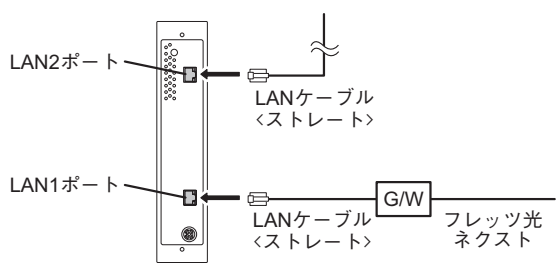
## □ 既存のネットワーク環境にフレッツ光ネクストの回線を接続できない追加できない場合

LAN1ポートとフレッツ光ネクストのG/W装置をLANケーブル<ストレート>で接続し、LAN2ポートは、既存のネットワーク環境と接続します。本商品の内部でデータの受け渡しを行い、既存のネットワーク環境からデータの送受信を行うことができます。



### 接続

フレッツ光ネクストのG/W装置のLANポートと本商品の背面のLAN1ポートをLANケーブル<ストレート>で接続します。既存のネットワーク環境と本商品の背面のLAN2ポートをLANケーブル<ストレート>で接続します。



### LAN2ポートの設定

LAN1ポートはG/W装置と接続するため、設定方法については、以下を参照してください。  
 □ P.1-6 「LAN1ポートの設定」

### LAN2ポートのIPアドレスを自動取得する場合

LAN2ポートのIPアドレスを自動取得する場合は、LAN1ポートのIPアドレスから管理者権限でログインして、[設定/登録] - [基本設定] - [ネットワーク設定] 項目の [LAN2] - [DHCPクライアント] を "オン" にしてください。  
 IPアドレスを自動取得するためには、既存のネットワーク環境にDHCPサーバが必要です。  
 □ P.1-11 「LAN2ポートに設定されているIPアドレスを確認する」

### LAN2ポートのIPアドレスを手動設定する場合

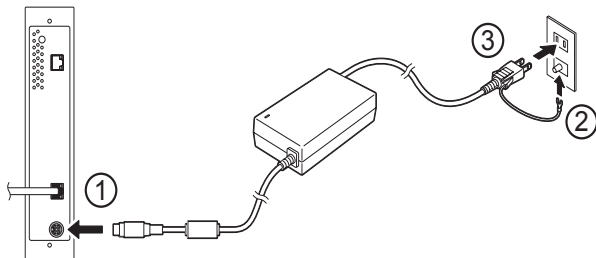
管理者権限でログインして、[設定/登録] - [基本設定] - [ネットワーク設定] 項目の [LAN2] - [IPアドレス]、[サブネットワークマスク] の項目を設定します。  
 □ P.1-12 「IPアドレスを手動設定する」

## ■ 電源の接続

本商品の背面の電源アダプタ端子と電源アダプタのアダプタ端子を接続し、電源プラグのアース線と電源コンセントを接続してから、電源プラグを電源コンセントに接続します。

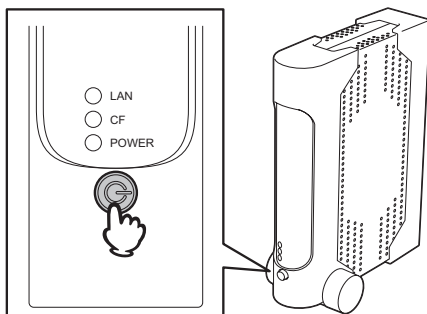
### 【注意】

- 取り付けのときは、電源プラグを接続する前に必ずアース線を接続してください。
- 取り外しのときは、アース線を外す前に必ず電源プラグを抜いてください。



## ■ 電源のオン/オフ

電源のオン/オフは、電源スイッチで行います。



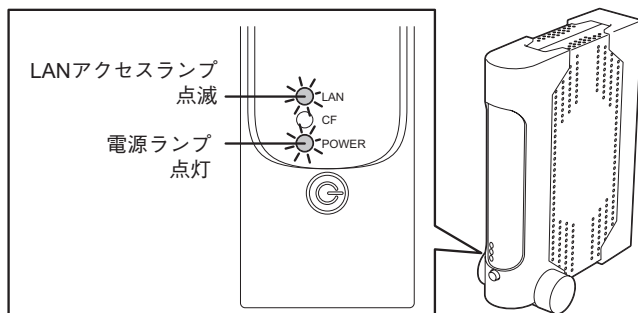
電源オン	電源ランプが消灯している状態で、電源スイッチを押します。
電源オフ	電源ランプが点灯している状態で、電源スイッチを押します。 シャットダウンする処理を開始して自動的に電源がオフになります。

### ポイント

- 電源をオンしてからプログラムを起動し、接続されているネットワーク環境に対応した設定を行うため、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。
- 電源をオフにする場合は、CFアクセスランプが点滅していない状態でオフにしてください。

## ■ 接続の確認

電源スイッチをオンにして、各ランプ表示が下記のようにになっていることを確認してください。



### ポイント

- 電源ランプが点灯しない場合は、電源アダプタと本商品の電源アダプタ端子、電源アダプタと電源コンセントが接続されているか確認してください。
- LANアクセスランプの点滅までの時間は、接続されているネットワーク環境により異なります。目安としてLANアクセスランプの点滅まで2分程度かかります。
- LANアクセスランプが点滅しない場合は、本商品とGW装置がLANケーブルで接続されているか確認してください。
- ランプ類が点灯しない場合は、本商品の初期設定が完了しているか確認してください。

## IPアドレスの確認

DHCPサーバのIPアドレス割り振り機能を利用して本商品のLAN1/LAN2ポートのIPアドレスを自動取得している場合、DHCPサーバの再起動やIPアドレスのリース時間の設定などによりIPアドレスが変更になることがあります。以下の手順で本商品のLAN1/LAN2ポートのIPアドレスを確認できます。

### ポイント

本商品のLAN1/LAN2ポートのIPアドレスを手動設定している場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただき、以下のメモ欄に記入してください。なお、LAN2ポートは本商品の接続環境により使用していない場合があります。

手動設定	IPアドレス (メモ欄)
LAN1ポート	_____ . _____ . _____ . _____
LAN2ポート	_____ . _____ . _____ . _____

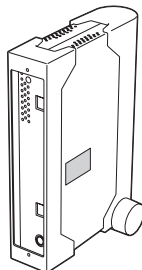
☞ P.1-12 「IPアドレスを手動設定する」

## ■ G/W装置からLAN1ポートに設定されているIPアドレスを確認する

本書では、「RT-S300NE (ひかり電話対応ホームゲートウェイ)」からLAN1ポートのIPアドレスを確認する方法を説明します。その他のG/W機種の確認方法は、添付されている取扱説明書を参照してください。

### 1 本商品のMACアドレスを確認します。

MACアドレスを側面の「MAC ID」ラベルで確認します。G/Wと接続されている側のLANポートのMACアドレスを確認します。



ポート	MACアドレス (メモ欄)
LAN1ポート	_____ . _____ . _____ . _____

### 2 本商品とG/W装置、コンピュータが接続されていることを確認します。

LAN1ポートとG/W装置をLANケーブル <ストレート> で接続します。G/W装置のLANポートとコンピュータをLANケーブル <ストレート> 接続します。

### 3 コンピュータからWeb ブラウザを起動して、「Web設定」ページを表示します。

RT-S300NEの場合、「http://ntt.setup/」と入力します。詳細については、RT-S300NEに添付されている取扱説明書を参照してください。

### 4 ユーザ名とパスワードを入力します。

ユーザ名に「user」、パスワードにホームゲートウェイを初期設定したときの機器設定用パスワードを入力します。

### 5 「Web設定」の【情報】メニューの【DHCPv4サーバ払い出し状況】で本商品のIPアドレスを確認します。

手順1で確認したMACアドレスに対応した「IPv4アドレス」を確認します。

項目	IPアドレス (メモ欄)
LAN1ポート	_____ . _____ . _____ . _____ 例) 192.168.1.2



## ■ LAN2ポートに設定されているIPアドレスを確認する

LAN2ポートに設定されているIPアドレスは、本商品の [状況確認] - [現在の状態]画面から確認することができます。LAN1ポートのIPアドレスを確認してから、G/W装置のLANポートに接続されているコンピュータから本商品の [状況確認] - [現在の状態]画面にログインします。

### 1 本商品のLAN1ポートのIPアドレスを確認します。

☞ P.1-10 「G/W装置からLAN1ポートに設定されているIPアドレスを確認する」

### 2 コンピュータのWebブラウザから本商品にログインします。

G/W装置のLANポートに接続されているコンピュータから本商品にログインします。ログイン方法は以下を参照してください。

☞ P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」

### 3 [状況確認] 画面を開きます。

[状況確認] タブをクリックします。



### 4 [現在の状況] 画面を表示します。

[現在の状況] ボタンをクリックします。



### 5 LAN2ポートのIPアドレスを確認します。

[ネットワーク] 項目の [LAN2] に表示されているIPアドレスを確認します。



項目	IPアドレス (メモ欄)
LAN2	IPアドレス _____ 例) 192.168.100.100

#### ポイント

LAN2ポートの初期値は、「DHCPクライアント：オフ」、「IPアドレス：192.168.100.100」に設定されています。

## IPアドレスを手動設定する

本商品のLAN1/LAN2ポートのIPアドレスを手動で設定する場合は、管理者権限でログインできる [設定/登録] 画面から行うことができます。

ここでは、工場出荷時の状態からLAN1/LAN2ポートのIPアドレスを手動設定する手順について紹介します。

### 注意

- 本商品のIPアドレスを手動設定する前に、G/W装置の設定で次の項目を設定/確認しておいてください。
  - 本商品の「MACアドレス」を設定する。
  - 本商品に割り当てる「内線番号」を設定する。他機器で使用していない内線番号に本商品のMACアドレスを設定する。
  - 「ダイジェスト認証」のユーザ名とパスワードを確認するか、「ダイジェスト認証」が不要な場合はオフにする。設定方法については、G/W装置に添付されている取扱説明書を参照してください。
- IPアドレスを手動設定する場合は、[SIP設定] 項目を必ず設定してください。

### ポイント

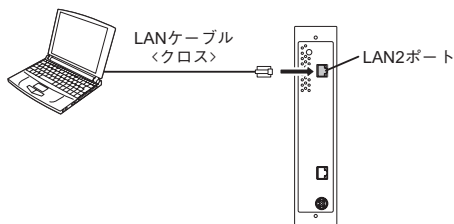
- DHCPサーバのIPアドレス割り振り機能を利用している場合は、IPアドレスを手動設定する必要はありません。
- 本商品に電源が入っている場合は、オフにしてください。
- LAN2ポートにLANケーブルが接続されている場合は、LANケーブルを取り外してください。
- 設定用コンピュータのネットワーク設定を以下のように設定してください。

IPアドレス	192.168.100.101
サブネットマスク	255.255.255.0

- 設定用コンピュータのWebブラウザの [LAN の設定] で、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

Internet Explorer 7.0の場合
1. [ツール]から[インターネット オプション]を選択します。
2. [接続] タブを選択し、[LAN の設定] ボタンをクリックします。
3. プロキシサーバーの [LAN にプロキシ サーバーを使用する] のチェックを外します。

## 1 本商品のLAN2ポートと設定用のコンピュータをLANケーブル <クロス> で接続します。



## 2 本商品の電源をオンにします。

Webブラウザからログインできるようになるまで 5分程度 (接続環境によっては10分程度) がかかります。

## 3 Web ブラウザを起動して、「[http://192.168.100.100/index\\_admin.html](http://192.168.100.100/index_admin.html)」と入力します。

LAN2ポートの初期 IPアドレスは、192.168.100.100に設定されています。

- 4 管理者権限のログインパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。  
初期パスワードは、小文字で admin です。パスワードは大文字・小文字を判別します。



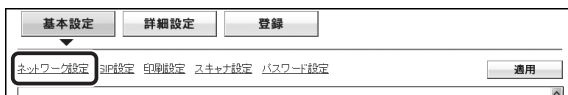
- 5 [設定/登録] 画面を開きます。  
[設定/登録] タブをクリックします。



- 6 [基本設定] 画面を開きます。  
[基本設定] ボタンをクリックします。



## 7 [ネットワーク設定] 項目を選択して、LAN1またはLAN2を設定します。



項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
ネットワーク設定		
LAN1		
DHCPクライアント	オン/オフ	IPアドレスを手動設定する場合はオフにします。オフにした場合は、[SIP設定] 項目を手動設定する必要があります。
IPアドレス		LAN1ポートのIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.2>
サブネットマスク		LAN1ポートのサブネットマスクを設定します。 <入力例：255.255.255.0>
デフォルトゲートウェイ		デフォルトゲートウェイとしてG/W装置のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.1>
LAN2		
DHCPクライアント	オン/オフ	
IPアドレス	(初期値：192.168.100.100)	LAN2ポートのIPアドレスを設定します。
サブネット マスク	(初期値：255.255.255.0)	LAN2ポートのサブネットマスクを設定します。

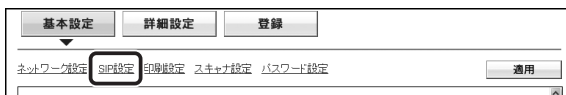
### ポイント

- [ルーティング] 設定項目については、以下を参照して必要に応じて設定してください。  
📖 P.4-40 「ルーティング設定」
- [DNSサーバ] 設定項目については、以下を参照してください。  
📖 P.4-5 「[基本設定] 画面」

### 注意

- IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けないでください。(例："001" や "01" のように数字の前に0が付いた数値は入力できないため、"1" と入力します。)
- ログインまたはアクセスできなくなるため、サブネットマスクは 255.255.255.255 に設定しないでください。サブネットマスクを設定する際は、間違えないように注意して入力してください。

## 8 LAN1ポートを手動設定した場合は、[SIP設定]の以下の項目を選択して設定します。

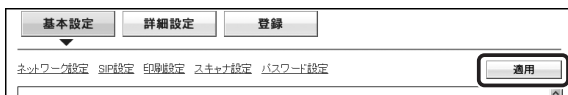


項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
SIP設定		<p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [SIP設定]項目を設定するためには、G/W装置の設定を確認する必要があります。確認方法は、G/W装置の取扱説明書を参照してください。</li> <li>• [SIP設定]項目を手動設定した場合は、DHCPで自動取得する設定値より優先されます。</li> </ul>
SIPサーバアドレス		LAN1ポートのIPアドレスを手動設定している場合に設定する必要があります。 G/W装置で設定されているSIPサーバアドレスを確認して設定します。 <入力例：192.168.1.2>
SIPサーバポート番号	1~65535 (初期値：5060)	LAN1ポートのIPアドレスを手動設定している場合に設定する必要があります。 G/W装置で設定されているSIPサーバポートを確認して設定します。
SIPドメイン	<半角英数カナ記号：128バイト>	LAN1ポートのIPアドレスを手動設定している場合に設定する必要があります。 G/W装置で設定されている内線REGISTERドメインを確認して設定します。 <入力例：ntt-west.ne.jp>
内線番号	2桁以下 <1-99>	LAN1ポートのIPアドレスを手動設定している場合に設定する必要があります。 G/W装置で本商品の内線番号を登録してから、登録した内線番号と同じ番号を入力します。
通知番号	発信番号 - 電話番号1 発信番号 - 電話番号2 発信番号 - 電話番号3 発信番号 - 電話番号4 発信番号 - 電話番号5 ユーザ設定 <0-9,*,#：16 桁以下>	[番号通知]が"通知"の場合に、送信時に通知する番号をラジオボタンで選択します。 G/W装置と通信が可能になると、登録されている番号が表示されます。 "ユーザ設定"では、通知する電話番号を入力します。
発信リトライ回数	0~15回 (初期値：3回)	発信に失敗したときに、再発信(リトライ)する回数を設定します。0回にした場合、再発信を行いません。
発信リトライ間隔	1~5分 (初期値：3分)	再発信(リトライ)する間隔を設定します。
番号通知	通知/非通知/非設定	送信時に番号を通知するか設定します。
ユーザID		<b>ポイント</b> 送信時の番号通知は、G/W装置の設定も確認してください。
パスワード		G/W装置とのダイジェスト認証を行う場合に、G/W装置で設定されているユーザIDとパスワードを入力します。

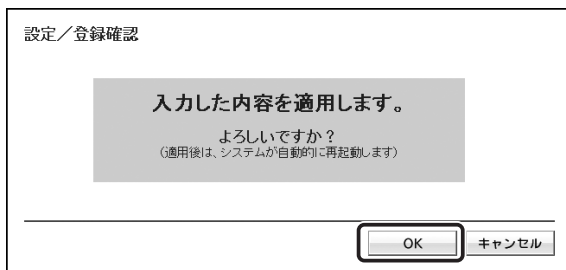
**注意**

SIPサーバアドレスや内線番号を入力するときは、数字の前に0を付けないでください。<例："01"(アドレスの場合は"001"など)のように数字の前に0が付いた数値は入力できないため、"1"と入力します。>

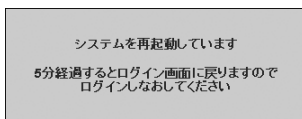
## 9 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



表示される[設定/登録確認]画面で [OK] ボタンをクリックします。



更新中は以下の画面が表示されます。



### 注意

- LAN2ポートのIPアドレスを初期IPアドレス (192.168.100.100)から変更した場合は、本商品を再起動すると、現在接続している設定用のコンピュータからはログインできなくなります。ログインするためには、コンピュータのIPアドレスを変更する必要があります。
- IPアドレスの手動設定が完了したら、設定用のコンピュータは取り外して、元の状態に戻してください。

## コンピュータから本商品を使う

概要 .....	2-2
コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする .....	2-3
コンピュータのWebブラウザからファイルを送信する .....	2-4
コンピュータのWebブラウザから処理 (ジョブ) を確認 / 削除する .....	2-10
コンピュータのWebブラウザから送受信の履歴を確認する .....	2-13
受信ファイルをダウンロードする .....	2-17
受信ファイルを削除する .....	2-24
ファイル送信画面の説明 .....	2-28
受信ファイル画面の説明 .....	2-34
状況確認画面の説明 .....	2-37

## 概要

本商品と同一のネットワークに接続されたコンピュータのWebブラウザを利用して、ファイルの送受信の操作を行うことができます。

送信の操作は、宛先の選択と送信ファイルを選択して、選択したファイルそれぞれに送信先で行う処理を [保存] / [印刷] / [印刷+保存] から設定します。

受信の操作は、送信時の設定によって手順が異なり、[保存] または [印刷+保存] が設定されたファイルは、本商品に保存されます。[印刷] または [印刷+保存] が設定されたTIFFファイルは、PostScript3に対応したデジタル複合機<sup>®</sup>を設定しておくことにより、受信したときに印刷することができます。なお、[印刷] が設定されたデータでも、何らかの事情により印刷できなかった場合は、本商品に保存されます。

\* すべてのPostScript3に対応したデジタル複合機での印刷を保証するものではありません。

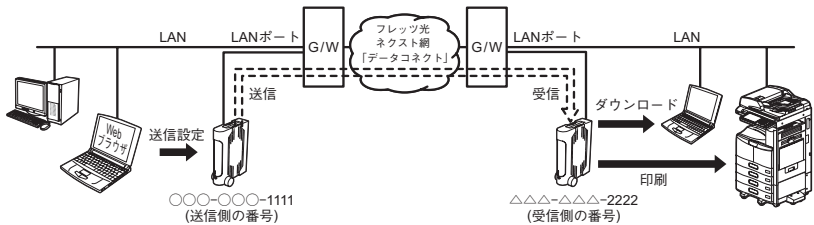
### ポイント

[印刷] または [印刷+保存] が設定されたファイルのデジタル複合機での印刷については、以下を参照してください。

☐ P.3-1 「デジタル複合機から本商品を使う」

## ■ コンピュータのWebブラウザを利用する

コンピュータやネットワーク上に保存されているデータを送信する場合





# コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする

コンピュータのWebブラウザを用いて本商品にログイン（アクセス）する手順を説明します。  
コンピュータから本商品を利用する場合の動作環境は下記のとおりです。

OS	Webブラウザ
Windows 7	Internet Explorer 8.0以上
Windows Vista (SP2)	Internet Explorer 7.0以上
Windows XP (SP2)/(SP3)	Internet Explorer 6.0 (SP2) 以上
Windows	Firefox 3.5.x 以上
Linux	Firefox 3.5.x 以上

## 注意

操作を3分間行わないと自動的にログアウトします。この時間設定は変更できません。

## ポイント

- 本書の説明では、Windows XP (SP2) のInternet Explorer 7.0の画面を使用します。使用するOSのバージョンやWebブラウザによって画面レイアウトやボタン名称が異なる場合があります。
- Webブラウザの設定で「JavaScript」を有効にしてください。  
☞ P.7-11 「WebブラウザのJavaScript 設定」
- Webブラウザにポップアップブロックが表示される場合は、以下を参照して機能を解除してください。  
☞ P.7-14 「Webブラウザのポップアップブロックを解除する」
- 本商品は、電源をオンにしてからプログラムを起動し、接続されているネットワーク環境に対応した設定を行うため、ログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。
- 本商品に管理者権限でログインすると、ログイン中のユーザは強制的にログアウトします。  
☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

## 1 Web ブラウザを起動して、「http://[IPアドレス]/」と入力します。

本商品のIPアドレスを入力します。  
IPアドレスが192.168.1.2の場合：http://192.168.1.2/

## 注意

- 本商品のIPアドレスの確認方法は、以下を参照してください。  
☞ P.1-10 「IPアドレスの確認」
- 本商品に同時アクセス可能な構成は、コンピュータから1アクセスとEWB対応のデジタル複合機から1アクセスの合計2アクセスです。

## 2 ログインパスワードを入力して、[ログイン] ボタンをクリックします。

初期パスワードは、小文字で user です。パスワードは大文字・小文字を判別します。



ほかのユーザや管理者がログインしている場合、メッセージ画面が表示されます。

☞ P.6-10 「ログイン時のメッセージ画面 / 認証エラー時のメッセージ画面」

以上で、コンピュータから本商品にログインする手順説明は終了です。

# コンピュータのWebブラウザからファイルを送信する

コンピュータのWebブラウザを用いてネットワーク環境で共有されているフォルダのファイルを送信する手順について説明します。

## ポイント

コンピュータから本商品にログイン (アクセス) する手順については、以下を参照してください。

📖 P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」

## 1 [ファイル送信] 画面を開きます。

[ファイル送信] タブをクリックします。

NTT ログアウト

ファイル送信 受信ファイル 状況確認

大量のファイルを送信できるサービスです。宛先・ファイルを指定し、「送信確認」ボタンを押してください。

**宛先選択** 8件まで送信できます。

宛先1 : 宛先追加

**ファイル選択** 8ファイルまで同時に送信できます。

ファイル1 : 参照 送信先処理:  保存  印刷  保存+印刷 確定

パスワード付送信する パスワード(半角英数字) : パスワードの再確認 :

「パスワード付送信する」にチェックを入れると、パスワード付きの暗号化ファイルで送信する事ができます。  
※パスワード付送信では、送信先処理は全て「保存のみ」に変更されます。

送信確認

## 2 [宛先選択] の [宛先追加] ボタンをクリックして、送信先の宛先を選択します。

[宛先選択] 画面の「電話帳」「グループ」「番号入力」「履歴」から送付先の宛先を選択します。

NTT ログアウト

ファイル送信 受信ファイル 状況確認

大量のファイルを送信できるサービスです。宛先・ファイルを指定し、「送信確認」ボタンを押してください。

**宛先選択** 8件まで送信できます。

宛先1: 宛先追加

**ファイル選択** 8ファイルまで同時に送信できます。

ファイル1 : 参照 送信先処理:  保存  印刷  保存+印刷 確定

パスワード付送信する パスワード(半角英数字) : パスワードの再確認 :

「パスワード付送信する」にチェックを入れると、パスワード付きの暗号化ファイルで送信する事ができます。  
※パスワード付送信では、送信先処理は全て「保存のみ」に変更されます。

送信確認

宛先は、「電話帳」「グループ」「番号入力」「履歴」から合計8件まで選択して登録することができます。

### 「電話帳」

宛先をクリックし背景の色が変わったことを確認してから [OK] ボタンをクリックします。

選択した宛先を再びクリックすると選択を解除します。

☞ P.2-30 「[ファイル送信] - [電話帳] 画面」



### 「グループ」

宛先をクリックし背景の色が変わったことを確認してから [OK] ボタンをクリックします。

選択した宛先を再びクリックすると選択を解除します。

☞ P.2-31 「[ファイル送信] - [グループ] 画面」



### 「番号入力」

宛先番号を入力/再入力し、[入力確認] 欄に登録されたことを確認してから、[OK] ボタンをクリックします。

☞ P.2-32 「[ファイル送信] - [番号入力] 画面」



### 「履歴」 (送信履歴)

宛先をクリックし背景の色が変わったことを確認してから [OK] ボタンをクリックします。

選択した宛先を再びクリックすると選択を解除します。

☞ P.2-33 「[ファイル送信] - [履歴] 画面」



### 「履歴」 (受信履歴)

宛先をクリックし背景の色が変わったことを確認してから [OK] ボタンをクリックします。

選択した宛先を再びクリックすると選択を解除します。

☞ P.2-33 「[ファイル送信] - [履歴] 画面」



## 注意

- 選択した宛先は、ファイル送信を実行するとクリアされます。
- 宛先を重複して選択した場合、送信時に重複がないように処理してから送信します。そのため、送信内容と送信ログの宛先件数が異なる場合があります。

### 3 [ファイル選択]の[参照]ボタンをクリックして、送信するファイルを選択します。

送信するファイルを選択します。

ファイルは8ファイルまで登録することができます。



#### ポイント

- OSで禁止されている文字数や文字 ( ¥ / : \* ? " < > | ) などが使用されたファイル名は送信できません。
- 本商品は、ファイルの識別をファイル名で行っているため、ファイル名が同じファイルは送信できません。
- 送信可能なファイルサイズの容量は、[送信データ領域]の空き容量と表示されているサイズから本商品が使用するワーク容量(約60MB)を引いた残りの50%程度となります。(ファイルを送信するためには、容量の2倍の空き容量が必要となります。)

[送信データ領域]の空き容量は、[状況確認]-[現在の状態]画面の[メモリ]で確認できます。

☞ P.2-37 「[現在の状況]画面」

- 1ファイルとしての選択可能な最大サイズは、[送受信データ保存先設定]の設定で異なります。

[送受信データ保存先設定]		
保存場所	BOX内部CF <初期値>	約215MB (Windows上の表示では200MB程度)
	外部サーバ	約2GB (Windows上の表示では1850MB程度)

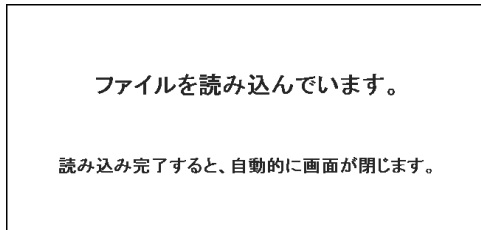
- [送信データ領域]の全体容量は、本商品の [送受信データ保存先設定] で設定されている保存場所を [BOX内部CF] (初期値)から [外部サーバ]に切り替えることにより変更することができます。

☞ P.4-76 「送受信データ保存先の切り替え」

#### 4 [確定] ボタンをクリックします。

選択したファイルを読み込みます。

ファイルを保存しているメッセージを表示します。



#### 5 送付するファイルを送信先でどのように処理するか設定します。

処理は送付するファイルごとに、[保存] / [印刷] / [保存 + 印刷] から設定します。

#### ポイント

- [印刷] を選択した場合でも、送信先で印刷できない場合は、ファイルとして保存されます。
- 次の手順で、[パスワード付送信する] にチェックを付けた場合、ここでの設定に関わらず、自動的に [保存] に変更されます。

## 6 パスワード付きで送信する場合は、パスワードを設定します。

「パスワード付送信する」にチェックを付け、パスワードを設定します。

The screenshot shows a web interface for file sending. At the top, there are three tabs: 'ファイル送信' (File Sending), '受信ファイル' (Received Files), and '状況確認' (Status Confirmation). Below the tabs, a message states: '大容量のファイルを送信できるサービスです。宛先・ファイルを指定し、「送信確認」ボタンを押してください。' (This is a service that allows sending large files. Please specify the recipient and file, and click the '送信確認' button.)

The main content area is divided into two sections:

- 宛先選択** (Recipient Selection): '8件まで送信できます。' (You can send up to 8 recipients.)  
宛先1: 佐藤 健太 (Recipient 1: Sato Kenji) with a '削除' (Delete) button.  
宛先2: (Recipient 2) with a '宛先追加' (Add Recipient) button.
- ファイル選択** (File Selection): '8ファイルまで同時に送信できます。' (You can send up to 8 files at once.)  
ファイル1: PC\_U\_001.tif (File 1: PC\_U\_001.tif) with '送信先処理' (Destination Processing) options: '保存' (Save) selected, '印刷' (Print), and '保存+印刷' (Save+Print). A '削除' (Delete) button is present.  
ファイル2: (File 2) with a '参照' (Reference) button and the same '送信先処理' options. A '確定' (Confirm) button is present.

Below the file selection, there is a section for password setting:

- パスワード付送信する (Send with password) (checked)
- パスワード(半角英数字): (Password (Half-width alphanumeric)) [Input field with 8 dots]
- パスワードの再確認: (Confirm password) [Input field with 8 dots]
- 「パスワード付送信する」にチェックを入れると、パスワード付きの暗号化ファイルで送信する事ができます。  
※パスワード付送信では、送信先処理は全て「保存のみ」に変更されます。

At the bottom, there is a '送信確認' (Confirm Sending) button.

### ポイント

- 設定できるパスワードは、半角英数字(128バイト)となります。入力欄に表示されるパスワードの桁数は、実際のパスワードの桁数と異なる場合があります。
- 「パスワード付送信する」を選択した場合、送信するファイルをパスワード付きのZIP形式で1つのファイルに圧縮します。ファイル名は送信するファイル一覧の先頭のファイル名に".zip"を付加したファイル名となります。
- 「パスワード付送信する」を選択した場合、「ファイル選択」の「送信先処理」は自動的に「保存」に変更されます。
- 送信時に設定するパスワードは、メモをとるなどして忘れないようにご注意ください。  
また、設定したパスワードは、送信先に連絡していただくをお願いいたします。本商品には、送信時に設定したパスワードを確認する機能、および送信先にパスワードだけを連絡する機能はありません。

## 7 送信内容を確認します。

「送信確認」ボタンをクリックします。

This screenshot is identical to the one above, showing the same file sending interface. The only difference is that the '送信確認' (Confirm Sending) button at the bottom is now highlighted with a thick border, indicating it is the next step to be clicked.

## 8 ファイルを送信します。

送信内容を確認して、[送信] ボタンをクリックします。

**NTT**

**送信確認**  
この内容で送信します。よろしいですか？

**宛先**  
宛先1: 佐藤 健太  
合計: 1 件

**ファイル**  
ファイル1: PC\_U\_001.tif 501 KB 送信先処理 保存  
ファイル数: 1 ファイル (501 KB)  
※パスワード付送信するを選択した為、送信先処理を全て「保存」に変更しました。  
※ファイルが1つに圧縮されます。

**パスワード付送信する**  
パスワードを送信先に登録して下さい。

修正 送信

### ポイント

- パスワード付きで送信した場合、ZIPファイルの情報が表示されます。
- ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されることがあります。

## 9 送信が受け付けられたことを確認します。

[OK] ボタンをクリックします。本商品は、送信処理を行います。

**NTT**

**送信を受け付けました。**

受付No.: 0004  
送信日時: XX月XX日 00:00  
宛先: 1件  
合計: 1ファイル / 43KB

OK

### ポイント

送信履歴の画面で、送信内容を確認することができます。

以上で、コンピュータからファイルを送信する手順説明は終了です。

## コンピュータのWebブラウザから処理 (ジョブ) を確認 / 削除する

本商品の送信中と印刷中の処理状態をコンピュータのWebブラウザから確認する手順と、それぞれの処理を削除する手順を説明します。

### ポイント

コンピュータから本商品にログイン (アクセス) する手順については、以下を参照してください。

📖 P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」

### 1 [状況確認] 画面を開きます。

[状況確認] タブをクリックします。



### 2 [ジョブ] 画面を開きます。

[ジョブ] ボタンをクリックします。



### ポイント

[ジョブ] 画面では、本商品で処理中の項目を表示します。処理が終了した項目は、[ログ] 画面に表示されます。

### 3 [送信ジョブ] または [印刷ジョブ] 画面を開きます。

表示する処理 (ジョブ) のボタンをクリックします。





#### 4 送信処理または印刷処理を確認します。

送信ジョブ：送信中の処理状態

送信ジョブ		印刷ジョブ		更新			
管理番号△	日時▼	宛先番号△	ファイル数△	サイズ△	状態△		
0001-**-01	XX/XX 14:52	0550001111	1ファイル	6kB	送信中		
							削除

印刷ジョブ：印刷中の処理状態

送信ジョブ		印刷ジョブ		更新			
管理番号△	日時▼	送信元番号△	ファイル名△	サイズ△	印刷ページ数△	印刷状況△	
0001	XX/XX 09:25	0600001111	PC_U_027.tif	497 kB		処理中	
							削除

#### ポイント

- 表示項目の詳細については、以下を参照してください。  
[P.2-38 「\[ジョブ\] 画面」](#)
- [通信結果] 欄に表示されているエラーコードやメッセージについては、以下を参照してください。  
[P.6-12 「エラーコード」](#)  
[P.6-16 「メッセージ」](#)
- [印刷ジョブ] 画面の印刷状態で“処理中”と表示されている場合、[印刷ページ数] 欄に印刷ページは表示されません。
- 処理が終了した項目は、[ログ] 画面に表示されます。

- 5** ジョブを削除する場合は、削除する項目を選択して [削除] ボタンをクリックします。  
画面は、[印刷ジョブ] の例です。

送信ジョブ		印刷ジョブ		更新	
管理番号△	日時▼	宛先番号△	ファイル数△	サイズ△	状態△
0001-**-01	XX/XX 14:52	0550001111	1ファイル	6KB	送信中

#### ポイント

リルート機能を利用している環境で、[送信ジョブ] の [状態] 欄に "G3送信待ち" または "G3送信中" と表示されている送信ジョブは削除できません。

以上で、コンピュータから送信処理と印刷処理の状態を確認、または削除する手順説明は終了です。

# コンピュータのWebブラウザから送受信の履歴を確認する

本商品の送受信履歴をコンピュータのWebブラウザから確認する手順を説明します。

## ポイント

- ファイルを選択して削除またはダウンロードする場合は、管理者権限で操作してください。  
P.4-78 「送受信履歴 (ログ) からファイルを削除 / ダウンロードする」
- コンピュータから本商品にログイン (アクセス) する手順については、以下を参照してください。  
P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」

## 1 [状況確認] 画面を開きます。

[状況確認] タブをクリックします。



## 2 [ログ] 画面を開きます。

[ログ] ボタンをクリックします。



## 3 [送信ログ] または [受信ログ] 画面を開きます。

表示するログのボタンをクリックします。



## 4 送受信の履歴を確認します。

送信履歴 ([送信ログ] 画面)

管理番号△	日時▼	宛先番号△	ファイル数△	サイズ△	通信時間△	通信結果△
0003-**-01	XX/XX 14:52	0550001111	1ファイル	6KB	00.02	OK
0002-**-01	XX/XX 14:25	0550001111	1ファイル	7KB	00.01	OK
0001-**-01	XX/XX 09:20	0600001111	1ファイル	69KB	00.03	OK

受信履歴 ([受信ログ] 画面)

管理番号△	日時▼	送信元番号△	ファイル数△	サイズ△	通信結果△
0001-**-	XX/XX 14:51	0550001111	1ファイル	51KB	OK

### ポイント

- 表示項目の詳細については、以下を参照してください。
  - [P.2-40](#) 「[ログ] 画面」
- [通信結果] 欄に表示されているエラーコードやメッセージについては、以下を参照してください。
  - [P.6-12](#) 「エラーコード」
  - [P.6-16](#) 「メッセージ」

## 5 履歴の詳細を確認する項目を選択します。

履歴を選択して、[ファイル一覧] ボタンをクリックします。

送信履歴 ([送信ログ] 画面)

送信ログ		受信ログ						更新
管理番号△	日時▼	宛先番号△	ファイル数△	サイズ△	送信時間△	送信結果△	△	
0003-**-01	XX/XX 14:52	0550001111	1ファイル	6KB	00.02	OK	△	
0002-**-01	XX/XX 14:25	0550001111	1ファイル	7KB	00.01	OK	△	
0001-**-01	XX/XX 09:20	0600001111	1ファイル	69KB	00.03	OK	△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	

[ファイル一覧]

受信履歴 ([受信ログ] 画面)

送信ログ		受信ログ						更新
管理番号△	日時▼	送信元番号△	ファイル数△	サイズ△	送信結果△	△		
0001-**	XX/XX 14:51	0550001111	1ファイル	51KB	OK	△		
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	
							△	

[ファイル一覧]

## 6 詳細を確認します。

送信履歴 ([送信ログ] 画面)

「ファイル名」「サイズ」「送信先処理」「ハッシュ値」を確認できます。  
確認が終了したら、[戻る] ボタンをクリックしてください。



送信ログ 受信ログ

ファイル一覧

管理番号 : 0002.\*\*-01

ファイル名▲	サイズ△	送信先処理△	ハッシュ値△
PC_U_003.tif	7kB	保存	MD5:54bcbbe69db39255724f79a4dd104c78e

戻る ファイル削除 ダウンロード

受信履歴 ([受信ログ] 画面)

「ファイル名」「サイズ」「処理指定」「印刷結果」「ハッシュ値」を確認できます。  
確認が終了したら、[戻る] ボタンをクリックしてください。



送信ログ 受信ログ

ファイル一覧

管理番号 : 0001.\*\*  
日時 : XX/XX 14:51  
送信元番号 : 0550001111

ファイル名▲	サイズ△	処理指定△	印刷結果△	ハッシュ値△
PC_U_003.tif	7kB	保存		MD5:54bcbbe69db39255724f77a4dd104c78e

戻る ファイル削除 ダウンロード

### ポイント

ファイルを選択して削除またはダウンロードする場合は、管理者権限で操作してください。  
P.4-78 「送受信履歴 (ログ) からファイルを削除 / ダウンロードする」

以上で、コンピュータから送受信の履歴を確認する手順説明は終了です。

## 受信ファイルをダウンロードする

コンピュータのWebブラウザを用いて本商品に保存されている受信ファイルをダウンロードする手順について説明します。

### ポイント

コンピュータから本商品にログイン（アクセス）する手順については、以下を参照してください。  
P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」

### ■ 受信一覧からダウンロードするファイルを選択する手順

#### 1 [受信ファイル] 画面を開きます。

[受信ファイル] タブをクリックします。



#### 2 [受信一覧] 画面を開きます。

[受信一覧] ボタンをクリックします。



#### 3 項目を選択して、[ファイル一覧] 画面を開きます。

受信一覧からダウンロードする項目をクリックして、[ファイル一覧] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the '受信一覧' (Receive List) table. The table has columns for '確認' (Check), '管理番号' (Management Number), '日時' (Date/Time), '送信元' (Sender), 'ファイル数' (Number of Files), and 'サイズ' (Size). The first two rows are highlighted with a dark background. Below the table is a '削除' (Delete) button and a 'ファイル一覧' (File List) button, which is highlighted with a white border and a dark background.

確認	管理番号	日時	送信元	ファイル数	サイズ
未	4	XXXX 00:15	佐藤 健太	1 ファイル	489 kB
未	5	XXXX UU:15	鈴木 留子	1 ファイル	38 kB

### ポイント

受信一覧は、受信中のファイルも表示します。表示される内容は、一覧を表示した時点での情報のため、受信が完了したときのファイル数と異なる場合があります。

## 4 ファイルを選択して、ダウンロードします。

ファイル一覧からダウンロードするファイルを選択して、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



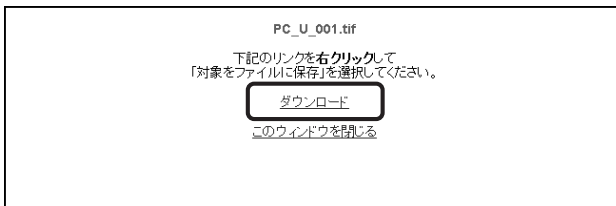
### ポイント

- ファイル一覧は、受信中のファイルも表示します。表示される内容は、一覧を表示した時点での情報のため、受信が完了したときのファイル数と異なる場合があります。
- ファイルを複数選択して、一括ダウンロードすることはできません。

## 5 ファイルを保存します。

Internet Explorer : [ダウンロード] を右クリックして「対象をファイルに保存」を選択します。

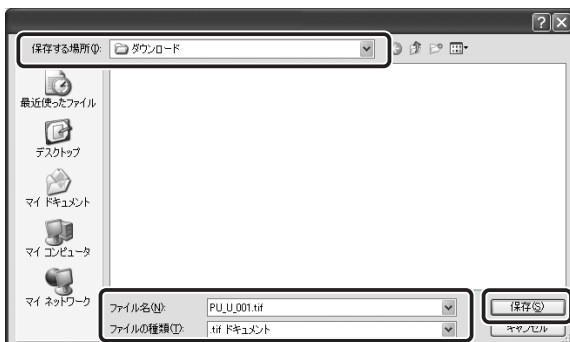
Firefox : [ダウンロード] を右クリックして「名前を付けてリンク先を保存」を選択します。





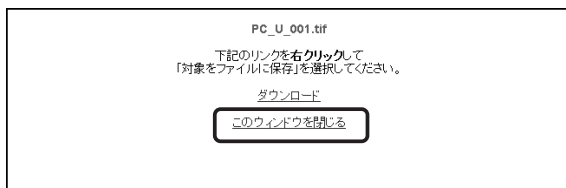
## 6 名前を付けて保存します。

保存する場所を選択してからファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



## 7 ダウンロード画面を閉じます。

ダウンロードが完了したら、[このウィンドウを閉じる]をクリックして画面を閉じます。



以上で、受信一覧からファイルをダウンロードする手順説明は終了です。

## ■ ファイル検索からダウンロードするファイルを選択する手順

- 1 [受信ファイル] 画面を開きます。  
[受信ファイル] タブをクリックします。



- 2 [ファイル検索] 画面を開きます。  
[ファイル検索] ボタンをクリックします。



- 3 ファイル名を検索するためのキーワードを入力します。  
キーワードを入力して、[検索] ボタンをクリックします。



### ポイント

- 検索のためのキーワード文字数は32文字までです。
- 入力したキーワードが、ファイル名またはファイル属性に部分一致するファイルを検索します。  
入力したキーワードにスペースが含まれている場合、スペースを含んだ文字列を1つのキーワードとして検索します。<例>"PC ZIP" (PCとZIPの間にスペース) をキーワードとして入力した場合、"PC ZIP"の文字列と部分一致するファイルを検索します。>
- [検索結果クリア] ボタンをクリックすると、検索結果の一覧をクリアすることができます。

## 4 ファイルを選択して、ダウンロードします。

検索結果一覧からダウンロードするファイルを選択して、[ダウンロード] ボタンをクリックします。

ファイル送信 受信ファイル 状況確認

受信一覧 ファイル検索

ファイル名で検索することが出来ます。キーワードを入力し「検索」ボタンを押してください。

ファイル名 PC

検索結果 7 件見つかりました。

ダウンロード△	管理番号▲	日時△	送信元△	ファイル名△	サイズ△
未	2	XXXX 00:06	佐藤 健太	PC_U_011.tif	382 KB
未	3	XXXX 00:06	鈴木 智子	PC_U_012.zip	422 KB
未	4	XXXX 00:15	佐藤 健太	PC_U_001.tif	489 KB
未	5	XXXX 00:15	鈴木 智子	PC_U_002.zip	36 KB
未	6	XXXX 00:18	高橋 大輔	PC_U_014.tif	497 KB
未	6	XXXX 00:18	高橋 大輔	PC_U_015.tif	497 KB
未	6	XXXX 00:18	高橋 大輔	PC_U_017.tif	442 KB

検索結果クリア ファイル削除 ダウンロード

### ポイント

ファイルを複数選択して、一括ダウンロードすることはできません。

## 5 ファイルを保存します。

Internet Explorer : [ダウンロード] を右クリックして「対象をファイルに保存」を選択します。

Firefox : [ダウンロード] を右クリックして「名前を付けてリンク先を保存」を選択します。

PC\_U\_001.tif

下記のリンクを右クリックして「対象をファイルに保存」を選択してください。

ダウンロード

このウィンドウを閉じる

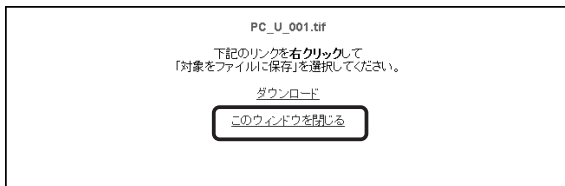
## 6 名前を付けて保存します。

保存する場所を選択してからファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



## 7 ダウンロード画面を閉じます。

ダウンロードが完了したら、[このウィンドウを閉じる]をクリックして画面を閉じます。



以上で、検索してファイルをダウンロードする手順説明は終了です。

## ■ 受信通知について

データファイルを受信した場合、メール通知設定で登録したメールアドレスにメールで通知します。

通知するメールの内容

件名	FN-1000 受信通知
本文	FN-1000にデータ受信がありました。 日時 : (2010-01-01 00:00:00) 管理番号 : [管理番号] 送信元番号 : [送信元番号] 受信例番号 : [受信例番号]

通知されるメールから、本商品にログインして、[受信ファイル] 画面からデータファイルを確認してください。

### ポイント

設定方法については、以下を参照してください。

☐ P.4-36 「メール通知設定」

## 受信ファイルを削除する

コンピュータのWebブラウザを用いて本商品に保存されている受信ファイルを削除する手順について説明します。

### ポイント

コンピュータから本商品にログイン (アクセス) する手順については、以下を参照してください。

📖 P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」

## ■ 受信一覧から削除するファイルを選択する手順

### 1 [受信ファイル] 画面を開きます。

[受信ファイル] タブをクリックします。



### 2 [受信一覧] 画面を開きます。

[受信一覧] ボタンをクリックします。



### 3 項目を選択します。

選択した項目を削除する場合は、[削除] ボタンをクリックします。

選択した項目からファイルを選択して削除する場合は、[ファイル一覧] ボタンをクリックします。



## 4 ファイルを削除します。

ファイル一覧から削除するファイルを選択して、[ファイル削除] ボタンをクリックします。

受信一覧    ファイル検索

**ファイル一覧**    ダウンロードするファイルを選択し、「ダウンロード」ボタンを押してください。

管理番号: 4  
日時: XXXX 00:15  
送信元: 佐藤 健太

ダウンロード	ファイル名	サイズ
<input type="checkbox"/>	未    PC_U_001.tif	489 KB

戻る    **ファイル削除**    ダウンロード

### ポイント

ファイルを複数選択して、一括削除することはできません。

以上で、受信一覧からファイルを削除する手順説明は終了です。

## ■ ファイル検索から削除するファイルを選択する手順

### 1 [受信ファイル] 画面を開きます。

[受信ファイル] タブをクリックします。



### 2 [ファイル検索] 画面を開きます。

[ファイル検索] ボタンをクリックします。



### 3 ファイル名を検索するためのキーワードを入力します。

キーワードを入力して、[検索] ボタンをクリックします。



#### ポイント

- 検索のためのキーワード文字数は32文字までです。
- 入力したキーワードが、ファイル名またはファイル属性に部分一致するファイルを検索します。  
入力したキーワードにスペースが含まれている場合、スペースを含んだ文字列を1つのキーワードとして検索します。<例 "PC ZIP" (PCとZIPの間にスペース) をキーワードとして入力した場合、"PC ZIP"の文字列と部分一致するファイルを検索します。>
- [検索結果クリア] ボタンをクリックすると、検索結果の一覧をクリアすることができます。



#### 4 ファイルを選択して、削除します。

検索結果一覧から削除するファイルを選択して、[ファイル削除] ボタンをクリックします。

ファイル名で検索することができます。キーワードを入力し「検索」ボタンを押してください。

ファイル名 PC

**検索結果 7** 件見つかりました。

ダウンロード△	管理番号▲	日時△	送信元△	ファイル名△	サイズ△
未	2	XXXX 00:06	佐藤 健太	PC_U_011.tif	382 kB
未	3	XXXX 00:06	鈴木 智子	PC_U_012.zip	422 kB
未	4	XXXX 00:15	佐藤 健太	PC_U_001.tif	489 kB
未	5	XXXX 00:15	鈴木 智子	PC_U_002.zip	38 kB
未	6	XXXX 00:18	高橋 大輔	PC_U_014.tif	497 kB
未	6	XXXX 00:18	高橋 大輔	PC_U_015.tif	497 kB
未	6	XXXX 00:18	高橋 大輔	PC_U_017.tif	442 kB

検索結果クリア      **ファイル削除**      ダウンロード

#### ポイント

ファイルを複数選択して、一括削除することはできません。

以上で、検索してファイルを削除する手順説明は終了です。

# ファイル送信画面の説明

ファイル送信の画面について説明します。

## ポイント

- コンピュータから本商品にログイン (アクセス) する手順については、以下を参照してください。  
[P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」](#)
- ファイル送信の操作手順については、以下を参照してください。  
[P.2-4 「コンピュータのWebブラウザからファイルを送信する」](#)

## ■ [ファイル送信] 画面

The screenshot shows the 'ファイル送信' (File Upload) screen. At the top, there are tabs for 'ファイル送信', '受信ファイル', and '状況確認'. Below the tabs, there's a sub-header '宛先選択' (Recipient Selection) with a note '8件まで送信できます。' (Up to 8 recipients can be sent). It lists two recipients: '宛先1: 佐藤 健太' and '宛先2:'. There are '削除' (Delete) and '宛先追加' (Add Recipient) buttons. Below this is the 'ファイル選択' (File Selection) section with a note '8ファイルまで同時に送信できます。' (Up to 8 files can be sent simultaneously). It shows 'ファイル1: PC\_U\_001.tif' and 'ファイル2:'. There are '削除' (Delete) and '確定' (Confirm) buttons. The '送信先処理' (Destination Processing) options are: '保存' (Save), '印刷' (Print), and '保存+印刷' (Save+Print). Below this is a section for password delivery: 'パスワード付送信する' (Send with password) is checked. There are input fields for 'パスワード(半角英数字):' and 'パスワードの再確認:'. A note explains that password delivery requires a checkmark and that the password will be used for all files. At the bottom, there is a '送信確認' (Send Confirmation) button.

No.	項目名	説明		
1	宛先選択	送信する宛先を選択します。送信先は「電話帳」「グループ」「番号入力」「履歴」から合計8件まで設定することができます。		
		<table border="1"> <tr> <td>[宛先追加] ボタン</td> <td>送付する宛先を選択する[宛先選択]画面が表示されます。</td> </tr> <tr> <td>[削除] ボタン</td> <td>宛先を削除します。</td> </tr> </table>	[宛先追加] ボタン	送付する宛先を選択する[宛先選択]画面が表示されます。
[宛先追加] ボタン	送付する宛先を選択する[宛先選択]画面が表示されます。			
[削除] ボタン	宛先を削除します。			
2	ファイル選択	送信するファイルを選択します。8ファイルまで選択することができます。		
		[参照] ボタン	送付するファイルを選択する画面が表示されます。	
		[送信先処理]	送付するファイルを送信先でどのように処理するか選択します。	
		保存	送信先のFN-1000に保存します。	
		印刷	送信先で指定されている機器に印刷します。	
	保存+印刷	保存と印刷の両方を行います。		
	[確定] ボタン	送付するファイルを確定します。		

No.	項目名	説明	
3	パスワード付送信する	送信するファイルにパスワードを付け、暗号化ファイルとして送信することができます。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[パスワード付送信する]を選択した場合、送信するファイルをパスワード付きのZIP形式で1つのファイルに圧縮します。ファイル名は送信するファイル一覧の先頭のファイル名に".zip"を付加したファイル名となります。</li> <li>・[パスワード付送信する]を選択した場合、[ファイル選択]の[送信先処理]は自動的に[保存]に変更されます。</li> <li>・送信時に設定するパスワードは、メモをとるなどして忘れないようご注意ください。また、設定したパスワードは、送信先に連絡していただくようお願いいたします。本商品には、送信時に設定したパスワードを確認する機能、および送信先にパスワードだけを連絡する機能はありません。</li> </ul>	
		[パスワード付送信する]チェックボックス	パスワード付きのファイルで送信する場合にチェックを付けます。
		[パスワード]入力/確認ボックス	パスワードを入力します。 <b>ポイント</b> 設定できるパスワードは、半角英数字(128バイト)となります。入力欄に表示されるパスワードの桁数は、実際のパスワードの桁数と異なる場合があります。
4	送信確認	設定された宛先、送付するファイルを確認する画面が表示されます。	
		[送信確認]ボタン	[送信確認]が表示されます。

## ■ [送信確認] 画面

No.	項目名	説明
1	送信確認	送信設定された内容を表示します。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスワード付きで送信した場合、ZIPファイルの情報が表示されます。</li> <li>・ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されることがあります。</li> </ul>
2	[修正] ボタン	送信設定された内容を修正する場合に選択します。
3	[送信] ボタン	送信設定された内容でファイルを送信します。

## ■ [ファイル送信] - [電話帳] 画面



No.	項目名	説明
1	ID番号指定	選択するID番号を指定します。
2	電話帳一覧	電話帳一覧から宛先をクリックして選択します。 選択している宛先は背景の色が変わり、再びクリックすると選択を解除します。 [電話帳] 画面, [グループ] 画面, [番号入力] 画面, [履歴] 画面から合計8件まで宛先を選択できます。 [ID番号],[名前],[電話番号]横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。 <b>ポイント</b> 電話帳の登録方法や登録件数については、以下を参照してください。 □ P.4-20 「電話帳を登録する」
3	[OK] ボタン	選択した内容を確認します。
4	[キャンセル] ボタン	操作をキャンセルします。

## ■ [ファイル送信] - [グループ] 画面



No.	項目名	説明
1	ID番号指定	選択するID番号を指定します。
2	グループ一覧	グループ一覧から宛先をクリックして選択します。 選択している宛先は背景の色が変わり、再びクリックすると選択を解除します。 [電話帳] 画面、[グループ] 画面、[番号入力] 画面、[履歴] 画面から合計8件まで宛先を選択できます。 [ID番号],[グループ名],[詳細]横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。 <b>ポイント</b> グループの登録方法や登録件数については、以下を参照してください。 □ P.4-24 「グループを登録する」
3	[OK] ボタン	選択した内容を確定します。
4	[キャンセル] ボタン	操作をキャンセルします。

## ■ [ファイル送信] - [番号入力] 画面

No.	項目名	説明		
1	宛先番号入力	宛先番号を半角数字、“#”、“*”で入力します。 <b>ポイント</b>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>宛先番号は32桁まで入力できます。</li> <li>[設定/登録]画面の「電話番号の2回入力」が“有効”の場合に、宛先番号の入力は[新規入力]と[再入力]の2回入力する必要があります。 宛先番号を新規入力した後、[入力]ボタンをクリックし、確認のため同じ宛先番号を入力してから、[入力]ボタンをクリックすると登録されます。</li> </ul>		
		<table border="1"> <tr> <td>[入力] ボタン</td> <td>入力した宛先番号を登録します。</td> </tr> <tr> <td>[クリア] ボタン</td> <td>入力欄に入力した宛先番号を消去します。</td> </tr> </table>	[入力] ボタン	入力した宛先番号を登録します。
[入力] ボタン	入力した宛先番号を登録します。			
[クリア] ボタン	入力欄に入力した宛先番号を消去します。			
2	入力確認一覧	入力した宛先番号の一覧が表示されます。		
3	[OK] ボタン	選択した内容を確定します。		
4	[キャンセル] ボタン	操作をキャンセルします。		

## □ [再入力] 画面

宛先番号の入力ミスによる誤送信を防止するため、[設定/登録]画面の[電話番号の2回入力]が“有効”の場合、宛先番号を新規入力した後、[入力]ボタンをクリックすると[番号再入力]画面が表示されます。入力欄に最初に入力した宛先番号と同じ番号を入力してください。

### ポイント

[再入力]画面の入力欄に何も入力しない状態で[クリア]ボタンをクリックした場合、[番号入力]画面に戻ります。

## ■ [ファイル送信] - [履歴] 画面



No.	項目名	説明
1	[送信履歴] / [受信履歴] ボタン	送信履歴と受信履歴を切り替えます。
2	履歴一覧	<p>履歴一覧から宛先をクリックして選択します。選択している宛先は背景の色が変わり、再びクリックすると選択を解除します。</p> <p>[電話帳] 画面, [グループ] 画面, [番号入力] 画面, [履歴] 画面から合計8件まで宛先を選択できます。</p> <p>[履歴番号] . [宛先] . [送信元] . [詳細] . [日時] 横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。</p> <p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受信履歴は、連続して同じ送信元から受信した場合、1つの履歴にまとめて記録します。</li> <li>履歴一覧は、送信履歴/受信履歴ともに、それぞれの履歴に残っている宛先から、重複していない宛先を最大8件まで表示します。</li> <li>受信履歴の [宛先] は、発信元の電話番号が電話帳に登録されている場合のみ表示されます。</li> <li>受信履歴の [詳細] は、ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、[送信元] に電話帳に登録されている名称が表示されます。</li> <li>送信履歴の [宛先] は、[番号入力] 画面で番号入力した項目の場合、電話帳の登録の有無に関係なく表示されません。</li> <li>送信履歴の [宛先] は、電話帳と同じ番号が複数登録されている場合、電話帳登録のID番号が一番小さい登録の名称が表示されます。</li> </ul>
3	[OK] ボタン	選択した内容を確認します。
4	[キャンセル] ボタン	操作をキャンセルします。

## 受信ファイル画面の説明

受信ファイルの画面について説明します。

### ポイント

- コンピュータから本商品にログイン (アクセス) する手順については、以下を参照してください。  
📖 P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」
- 受信ファイルの操作手順については、以下を参照してください。  
📖 P.2-17 「受信ファイルをダウンロードする」  
📖 P.2-24 「受信ファイルを削除する」

## ■ [受信ファイル] 画面



No.	項目名	説明
1	[受信一覧] ボタン	受信一覧を表示します。
2	[ファイル検索] ボタン	受信一覧からファイルを検索する画面が表示されます。
3	受信一覧	受信一覧からファイルを選択します。 [確認] 欄に、「未」マークが表示されている受信ファイルは、一度もアクセスしていないファイルです。 [確認], [管理番号], [日時], [送信元], [ファイル数], [サイズ] 横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• [送信元] は、ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、電話帳に登録されている名称が表示されます。</li><li>• 受信一覧は、受信中のファイルも表示します。表示される内容は、一覧を表示した時点での情報のため、受信が完了したときのファイル数と異なる場合があります。</li></ul>
4	[削除] ボタン	選択した受信項目を削除します。
5	[ファイル一覧] ボタン	選択した受信項目を確認する[ファイル一覧] 画面を表示します。



## ■ [受信ファイル] - [ファイル一覧] 画面



No.	項目名	説明
1	ファイル一覧	<p>選択したファイルの一覧からファイルを選択します。                      [ダウンロード] 欄に "未" マークが表示されているファイルは、一度もアクセスしていないファイルです。                      [ダウンロード] . [ファイル数] . [サイズ] 横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>ファイル一覧は、受信中のファイルも表示します。表示される内容は、一覧を表示した時点での情報のため、受信が完了したときのファイル数と異なる場合があります。</p>
2	[戻る] ボタン	[受信ファイル] 画面に戻ります。
3	[ファイル削除] ボタン	選択したファイルを削除します。
4	[ダウンロード] ボタン	選択したファイルをダウンロードします。

## ■ [ファイル検索] 画面

1

2

3

4

5

No.	項目名	説明
1	検索条件入力	受信したファイルを検索する条件を入力します。(32文字まで) 入力したキーワードが、ファイル名またはファイル属性に部分一致するファイルを検索します。
2	検索結果	検索条件に一致したファイル一覧からファイルを選択します。 [確認] 欄に、「未」マークが表示されている受信ファイルは、一度もアクセスしていないファイルです。 [確認]、[管理番号]、[日時]、[送信元]、[ファイル数]、[サイズ] 横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。 <b>ポイント</b> [送信元] は、ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、電話帳に登録されている名称が表示されます。
3	[検索結果クリア] ボタン	検索結果の一覧をクリアします。
4	[ファイル削除] ボタン	選択したファイルを削除します。
5	[ダウンロード] ボタン	選択したファイルをダウンロードします。

## 状況確認画面の説明

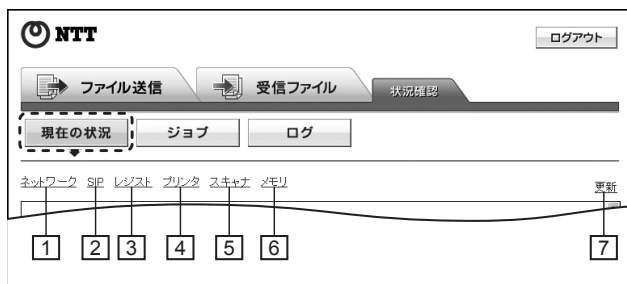
状況確認の画面について説明します。

### ポイント

- コンピュータから本商品にログイン (アクセス) する手順については、以下を参照してください。  
☞ P.2-3 「コンピュータのWebブラウザから本商品にログインする」
- 状況確認の操作手順については、以下を参照してください。  
☞ P.2-13 「コンピュータのWebブラウザから送受信の履歴を確認する」

## ■ [現在の状況] 画面

[現在の状況] 画面では、本商品の設定状況を確認することができます。



No.	項目名	説明	
1	ネットワーク	本商品のネットワークの設定状態を表示します。	
2	SIP	本商品のSIP関連の設定状態を表示します。	
3	レジスト	フレッツ光ネクスト網のSIPサーバとの通信状態を表示します。 G/W装置と正しく接続され、SIPサーバ通信できている状態であれば、[レジスト状況：済] と表示されます。 [レジスト状況：未] と表示される場合は、以下を参照してください。 ☞ P.6-7 「レジストできない」	
4	プリンタ	本商品にプリンタとして登録されている機器の設定状態を表示します。	
5	スキャナ	本商品にスキャナとして登録されている機器の設定状態を表示します。	
6	メモリ	送信データ領域	送信データの保存領域の全体容量と空き容量を表示します。(単位：MB)
		受信/印刷データ領域	受信データの保存領域の全体容量と空き容量を表示します。(単位：MB)
		一時保存領域	システム領域の空き容量を表示します。(単位：MB)
		ワーク領域	RAMの空き容量を表示します。(単位：KB)
7	更新	表示されている内容を更新します。	

## ■ [ジョブ] 画面

[ジョブ] 画面では、送信中と印刷中の処理状態について確認することができます。

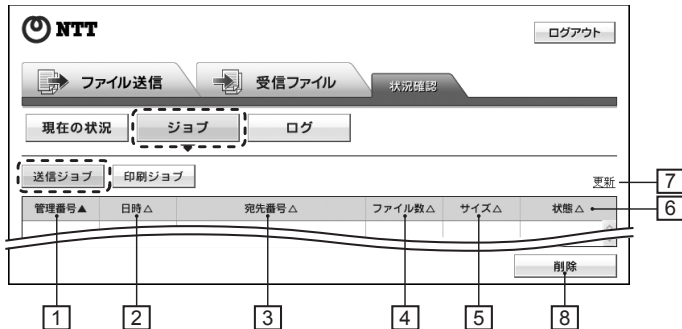
### ポイント

[ジョブ] 画面では、処理中の項目を表示します。処理が終了した項目は、[ログ] 画面に表示されます。

## □ [送信ジョブ]

ファイル送信を受け付けたとき、送信処理中の項目が表示されます。

各位項目横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。



No.	項目名	説明
1	管理番号	送信処理中の管理番号(4桁数字-**-2桁数字)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>4桁数字(受付番号:0001~9999)</li><li>** (ファイル番号:固定)</li><li>2桁数字(同報宛先連番:01~24)</li></ul>
2	日時	送信処理を受け付けた日時を表示します。
3	宛先番号	宛先番号を表示します。
4	ファイル数	ファイル数を表示します。
5	サイズ	ファイルサイズを表示します。
6	状態	状態を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるメッセージについては、以下を参照してください。 ☐ P6-16 「メッセージ」
7	更新	表示されている内容を更新します。
8	[削除] ボタン	送信処理中の項目を選択して[削除] ボタンをクリックすることで、送信ジョブを削除します。 <b>ポイント</b> リルート機能を利用している環境で、[状態] 欄に "G3送信待ち" または "G3送信中" と表示されている送信ジョブは削除できません。 <b>注意</b> 複数の宛先に送信しているデータの送信ジョブを削除する場合、削除するタイミングによって送信が完了している宛先と送信が完了していない宛先が存在する可能性があります。

## □ [印刷ジョブ]

印刷指定されたファイルを受信したとき、印刷処理中の項目が表示されます。

各位項目横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。



No.	項目名	説明
1	管理番号	印刷処理中の管理番号(4桁数字-**)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字(受付番号:0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号:固定)</li> </ul>
2	日時	印刷処理を受け付けた日時を表示します。
3	送信元番号	送信元番号を表示します。 <b>ポイント</b> ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、名称が表示されます。
4	ファイル名	ファイル名を表示します。
5	サイズ	ファイルサイズを表示します。
6	印刷ページ数	印刷ページ数は表示されません。
7	印刷状態	印刷状態を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるメッセージについては、以下を参照してください。 □ P.6-16 「メッセージ」
8	更新	表示されている内容を更新します。
9	[削除] ボタン	印刷処理中の項目を選択して[削除] ボタンをクリックすることで、印刷ジョブを削除します。

## ■ [ログ] 画面

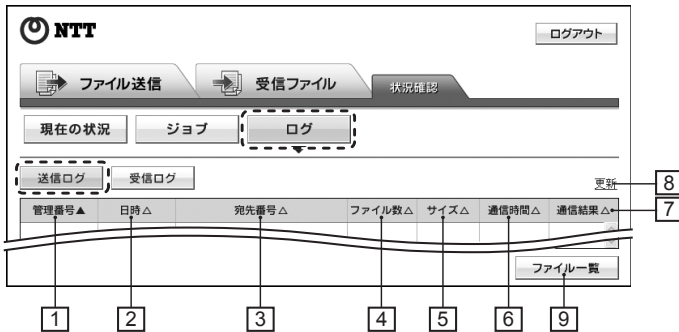
[ログ] 画面では、本商品で送受信の履歴を確認することができます。

### ポイント

- 送信ログ/受信ログは、それぞれ200件まで表示します。ログが200件を超えた場合、古いログから表示されなくなります。
- 削除されているファイルの表示期間は、[設定/登録] - [詳細設定] - [送受信データ自動削除] で設定されている期間まで表示されます。

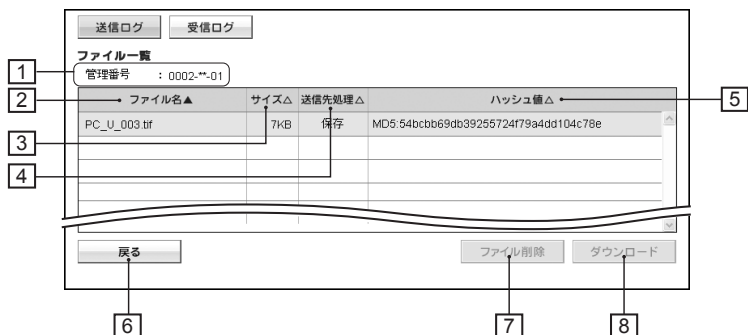
## □ [送信ログ]

各位項目横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。



No.	項目名	説明
1	管理番号	送信履歴の管理番号(4桁数字-**-2桁数字)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字(受付番号:0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号:固定)</li> <li>2桁数字(同報宛先連番:01~24)</li> </ul>
2	日時	送信を受け付けた日時を表示します。
3	宛先番号	宛先番号を表示します。
4	ファイル数	ファイル数を表示します。
5	サイズ	ファイルサイズを表示します。
6	通信時間	通信時間を表示します。 <b>ポイント</b> 表示される時間は、目安のため実際の通信時間と異なる場合があります。
7	通信結果	通信結果を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるエラーコードおよびメッセージについては、以下を参照してください。 ☞ P.6-12 「エラーコード」 ☞ P.6-16 「メッセージ」
8	更新	表示されている内容を更新します。
9	[ファイル一覧] ボタン	送信履歴の項目を選択して[ファイル一覧] ボタンをクリックすることで、送信履歴の詳細を表示します。

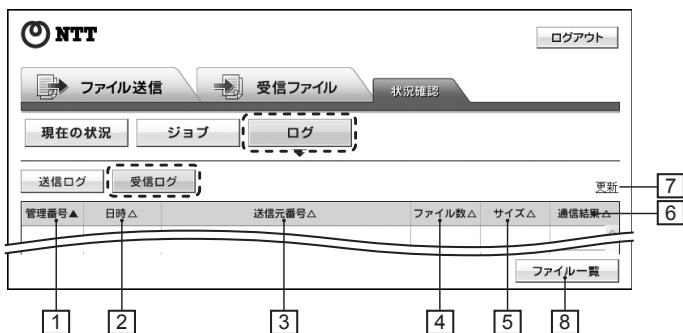
## [送信ログ] のファイル一覧画面



No.	項目名	説明
1	管理番号	送信履歴の管理番号(4桁数字-**-2桁数字)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字(受付番号:0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号:固定)</li> <li>2桁数字(同報宛先連番:01~24)</li> </ul>
2	ファイル名	送信したファイルのファイル名を表示します。
3	サイズ	送信したファイルのサイズを表示します。
4	送信先処理	送信したファイルの送信先処理を表示します。
5	ハッシュ値	送信したファイルのハッシュ値を表示します。
6	[戻る] ボタン	[送信ログ] 画面に戻ります。
7	[ファイル削除] ボタン	管理者権限でログインしている場合、消去されていないファイルであれば、送信ログから項目を選択してファイルを削除できます。
8	[ダウンロード] ボタン	管理者権限でログインしている場合、消去されていないファイルであれば、送信ログから項目を選択してファイルをダウンロードできます。

## □ [受信ログ]

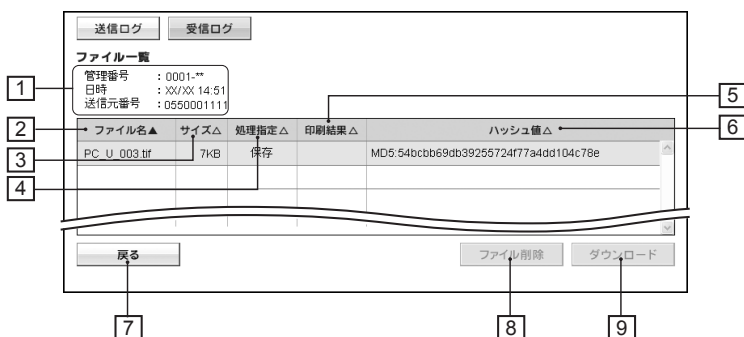
各位項目横の▼/▲マークをクリックするとそれぞれの項目で降順と昇順を切り替えることができます。



No.	項目名	説明
1	管理番号	受信履歴の管理番号(4桁数字-**)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字(受付番号:0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号:固定)</li> </ul>
2	日時	送信を受け付けた日時を表示します。
3	送信元番号	送信元番号を表示します。 <b>ポイント</b> ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、名称が表示されます。
4	ファイル数	ファイル数を表示します。
5	サイズ	ファイルサイズを表示します。
6	通信結果	通信結果を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるエラーコードおよびメッセージについては、以下を参照してください。 □ P.6-12 「エラーコード」 □ P.6-16 「メッセージ」
7	更新	表示されている内容を更新します。
8	[ファイル一覧] ボタン	受信履歴の項目を選択して[ファイル一覧] ボタンをクリックすることで、受信履歴の詳細を表示します。



## [受信ログ] のファイル一覧画面



No.	項目名	説明
1	ファイル情報	管理番号、日時、送信元番号を表示します。
2	ファイル名	受信したファイルのファイル名を表示します。
3	サイズ	受信したファイルのサイズを表示します。
4	処理指定	受信したファイルの処理を表示します。
5	印刷結果	印刷処理が指定されたファイルの印刷結果を表示します。
6	ハッシュ値	受信したファイルのハッシュ値を表示します。
7	[戻る] ボタン	[受信ログ] 画面に戻ります。
8	[ファイル削除] ボタン	管理者権限でログインしている場合、処理指定が保存になっているファイルで、消去されていないファイルであれば、受信ログから項目を選択してファイルを削除できます。
9	[ダウンロード] ボタン	管理者権限でログインしている場合、処理指定が保存になっているファイルで、消去されていないファイルであれば、受信ログから項目を選択してファイルをダウンロードできます。



## デジタル複合機から本商品を使う

概要 .....	3-2
EWB対応のデジタル複合機の紹介 .....	3-3
EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする .....	3-4
EWB対応のデジタル複合機からスキャンしたファイルを送信する .....	3-6
EWB対応のデジタル複合機から処理 (ジョブ) を確認 / 削除する .....	3-20
EWB対応のデジタル複合機から送受信の履歴を確認する .....	3-22
EWB対応のデジタル複合機の操作パネル画面説明 .....	3-24
デジタル複合機のスキャン機能を利用する (ワンステップ送信) .....	3-41
デジタル複合機から受信したファイルを印刷する .....	3-44

## 概要

本商品と同一のネットワークに接続されたデジタル複合機からスキャンしたファイルの送信、印刷設定されたファイルを自動的に印刷することができます。

送信の操作は、デジタル複合機がEWB (Embedded Web Browser) 対応していれば、操作パネルから宛先を指定して、スキャンしたファイルを送信する方法と、デジタル複合機がスキャンしたファイルをファイル送信 (SMB) できる機種であれば、本商品の送信先指定フォルダにデータを送信 (保存) することで、送信先指定フォルダごとに設定されている宛先に自動送信する方法があります。いずれの方法も、送信先で行う処理を [保存] / [印刷] / [印刷+保存] から設定することができます。

PostScript3に対応したデジタル複合機\*を設定しておくことにより、[印刷] または [印刷+保存] が設定されたファイルを受信した場合、自動的に印刷することができます。なお、[印刷] が設定されたデータでも、何らかの事情により印刷できなかった場合には、本商品に保存されます。

\* すべてのPostScript3に対応したデジタル複合機での印刷を保証するものではありません。

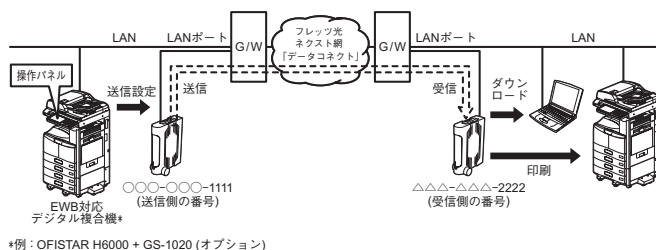
### ポイント

[保存] または [印刷+保存] が設定されたファイルを受信した場合、本商品に保存されますがデジタル複合機では操作できません。以下を参照して、コンピュータから操作してください。

☐ P.2-1 「コンピュータから本商品を使う」

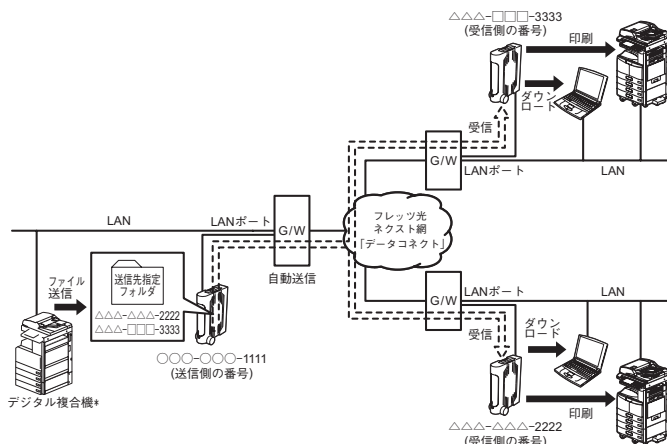
## ■ EWB対応のデジタル複合機の操作パネルを利用する

☐ P.3-6 「EWB対応のデジタル複合機からスキャンしたファイルを送信する」



## ■ 送信先指定フォルダを利用する

☐ P.3-41 「デジタル複合機のスキャン機能を利用する (ワンステップ送信)」



## EWB対応のデジタル複合機の紹介

EWB (Embedded Web Browser) 機能を利用すると、操作パネル上に本商品のWebページを表示し、コンピュータを介さず、スキャンしたファイルを、宛先を指定して送信することができます。  
ここでは、EWB対応のデジタル複合機について説明します。

### ■ 動作確認済みEWB対応のデジタル複合機

本商品で動作確認を行ったEWB対応のデジタル複合機は、以下のとおりです。

2010年3月末現在

機種名	OFISTAR H6000*
-----	----------------

\* OFISTAR H6000のEWB機能を利用するためには、「外部連携オプション<GS-1020>」が必要です。

#### ポイント

動作確認済みのEWB対応のデジタル複合機は、当社ホームページに掲載の「FN-1000 取扱説明書」に順次追加していく予定です。

### ■ OFISTAR H6000本体設定の変更する

OFISTAR H6000のEWB機能を利用するには、OFISTAR H6000の本体設定を変更する必要があります。OFISTAR H6000の設定は、Webベースの管理ユーティリティである [TopAccess] から行います。

設定方法の詳細については、以下を参照してください。

☞ P.4-44 「EWB対応デジタル複合機の設定 (OFISTAR H6000)」

### ■ OFISTAR H6000を本商品に登録する

OFISTAR H6000の情報を本商品に登録する必要があります。

設定方法の詳細については、以下を参照してください。

☞ P.4-51 「本商品の設定」

## EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする

EWB対応のデジタル複合機でスキャンしたファイルを送信する手順について、OFISTAR H6000を例に説明します。

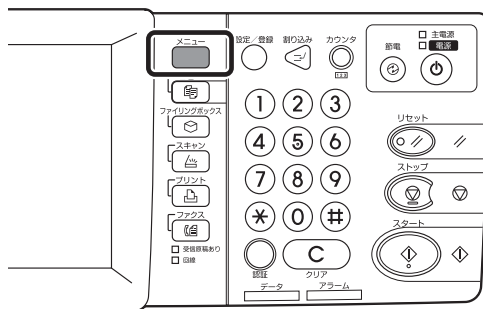
### ポイント

- OFISTAR H6000のEWB機能を利用するには、OFISTAR H6000で設定を行う必要があります。  
P.4-44 「EWB対応デジタル複合機の設定 (OFISTAR H6000)」
- OFISTAR H6000の情報を、本商品に設定する必要があります。  
P.4-51 「本商品の設定」
- 本商品は、電源をオンにしてからプログラムを起動し、接続されているネットワーク環境に対応した設定を行うため、ログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

### 注意

- 本商品に同時アクセス可能な構成は、EWB対応のデジタル複合機から1アクセスとコンピュータから1アクセスの合計2アクセスです。
- OFISTAR H6000の「節電モード」は、EWB (Embedded Web Browser) 機能を利用して本商品にアクセスしている状態では、節電モードへの移行時間が経過、もしくは操作パネルの[節電]ボタンを押しても「節電モード」に移りません。

- 1 OFISTAR H6000を起動します。
- 2 操作パネルの [メニュー] ボタンを押します。  
メニュー画面が表示されます。



### 3 画面右上の [EXTENSION] ボタンを押します。



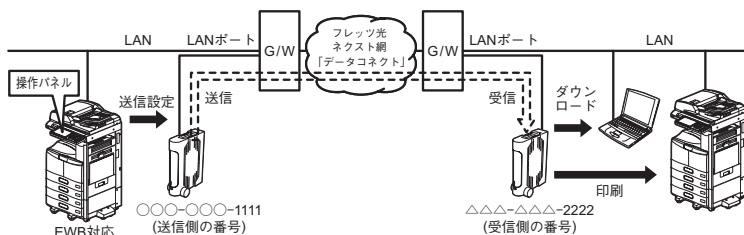
[ファイル送信] 画面が表示されます。



以上で、OFISTAR H6000の操作パネルから本商品にアクセスする手順説明は終了です。

## EWB対応のデジタル複合機からスキャンしたファイルを送信する

EWB対応のデジタル複合機でスキャンしたファイルを送信する手順について、OFISTAR H6000を例に説明します。



\*例：OFISTAR H6000 + GS-1020 (オプション)

### ポイント

- OFISTAR H6000から本商品にアクセスする手順については、以下を参照してください。  
📖 P.3-4 「EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする」
- EWB対応のデジタル複合機でスキャンしたファイルを送信した場合、送信先番号の機器が本商品の通信方法に対応していないとき、データ変換を行いG3ファクス送信するリルート機能があります。リルート機能の詳細については、以下を参照してください。  
📖 P.4-53 「リルート機能の設定」
- OFISTAR H6000からスキャンしたファイルは、マルチページTIFF形式のファイルとなります。



## ■ 簡単に送信する

登録されている読み込み設定で、原稿をスキャンして簡単に送信します。



読み込み設定を変更して送信する場合は、以下を参照してください。

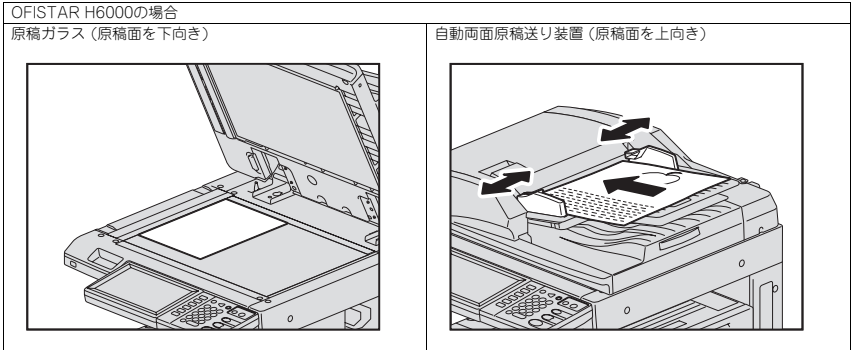
☞ P.3-12 「詳細な設定をして送信する」

### ポイント

送信先での受信可能枚数の目安については、以下を参照してください。

☞ P.7-22 「受信可能枚数の目安」

## 1 原稿をセットします。



## 2 [ファイル送信] 画面を開きます。

☞ P.3-4 「EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする」



### 3 送信先の宛先を選択します。

「電話帳」「グループ」「番号入力」「履歴」から送付先の宛先を選択します。

宛先は、「電話帳」「グループ」「番号入力」「履歴」から合計8件まで選択して登録することができます。選択されている宛先は、「宛先確認」ボタンで確認できます。

#### 「電話帳」

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

☞ P.3-24 「[電話帳] 画面」



#### 「グループ」

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

☞ P.3-26 「[グループ] 画面」



#### 「番号入力」

宛先番号を入力してから[宛先追加] ボタンを押します。入力確認のため、番号を再入力してから[宛先追加] ボタンを押します。

☞ P.3-27 「[番号入力] 画面」



#### ポイント

宛先番号の入力は、操作パネルの画面に表示されているボタンを押してください。デジタル複合機の操作パネルのテンキーは使用できません。

#### 「履歴」(着信履歴)

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

☞ P.3-29 「[履歴] 画面」



#### 「履歴」(発信履歴)

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

☞ P.3-29 「[履歴] 画面」



#### 注意

- 選択した宛先は、ファイル送信を実行するとクリアされます。
- 宛先を重複して選択した場合、送信時に重複がないように処理してから送信します。そのため、送信内容と送信ログの宛先件数が異なる場合があります。

## 4 ファイルの送信方法を選択します。

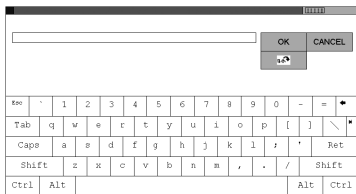
パスワード付きで送信する場合は、[PWD付送信] ボタンを押し、表示される画面でパスワードを設定してから、[送信] ボタンを押します。

パスワードを付けずに送信する場合は、[送信] ボタンを押します。

The image shows two screenshots of a device's control panel. The top screenshot is titled "宛先を選択してください" (Please select the recipient). It features a list of recipients with their phone numbers and names. The selected recipient is 001 住森 健太 (005 渡辺 亜樹). Below the list are buttons for "宛先クリア", "宛先: 1件", "宛先確認", "パスワード付送信", and "送信". An arrow points from the "パスワード付送信" button to the second screenshot. The second screenshot is titled "パスワードを入力してください" (Please enter the password). It has two input fields for "パスワード" and "パスワードの再確認", both showing asterisks. Below the fields are instructions: "・送信先で印刷はされません" and "・パスワードを送信先に連絡してください". At the bottom are "キャンセル" and "送信" buttons.

### ポイント

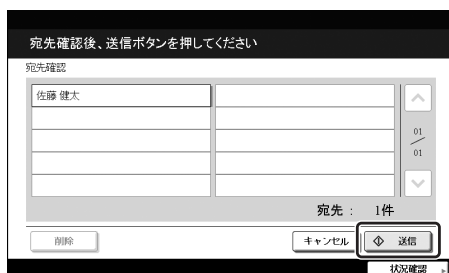
- ・ [パスワード] ボタンまたは [パスワードの再確認] ボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。パスワードを入力してから [OK] ボタンを押してください。



- ・ 設定できるパスワードは、半角英数字 (128バイト) となります。入力欄に表示されるパスワードの桁数は、実際のパスワードの桁数と異なる場合があります。
  - ・ [PWD付送信] を選択した場合、送信するファイルをパスワード付きのZIP形式で1つのファイルに圧縮します。ファイル名は送信するファイル一覧の先頭のファイル名に".zip"を付加したファイル名となります。
  - ・ [PWD付送信] を選択した場合、送信先での処理設定は自動的に [保存] に変更されます。
  - ・ 送信時に設定するパスワードは、メモをとるなどして忘れないようにご注意ください。
- また、設定したパスワードは、送信先に連絡していただくようお願いいたします。本商品には、送信時に設定したパスワードを確認する機能、および送信先にパスワードだけを連絡する機能はありません。

## 5 宛先確認画面で送信先を確認します。

送信先を確認し、[送信] ボタンを押します。



### ポイント

宛先から削除する場合は、削除する宛先を押し背景の色が変わったことを確認してから、[削除] ボタンを押します。

## 6 画面の指示に従って原稿をスキャンします。

原稿ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが終了するとメッセージ画面が表示されます。新しい原稿を読み込むときは、原稿をセットし直してから [スキャン] ボタンを押します。読み込みを終了するときは、[読み込み終了] ボタンを押します。

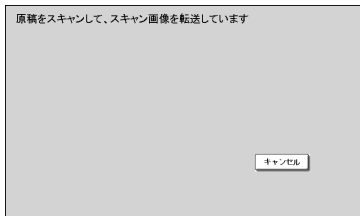
1枚目の読み込み終了時：



2枚目以降の読み込み終了時：



原稿の読み込み中は、以下の画面が表示されます。



自動両面原稿送り装置 (RADF) に原稿がセットされている場合自動的に読み込みを開始します。読み込みが完了すると次の処理に進みます。

#### ポイント

- 読み込みの設定は、[設定/登録] - [基本設定] 画面のスキャナ設定項目で設定されている内容で読み込みます。読み込みの設定を変更する場合には、[ファイル送信] 画面の [設定/スキャン] ボタンを押して、表示される画面で読み込み設定してください。
- 読み込み可能な原稿枚数は、読み込み設定によるファイルサイズの違いや本商品の [送受信データ保存先設定] で設定されている保存場所の空き容量により変わります。

[送受信データ保存先設定] の初期値は、本商品の内蔵記憶装置となっています。保存領域の空き容量は、コンピュータのWebブラウザからログインして、[現在の状況] 画面で確認することができます。

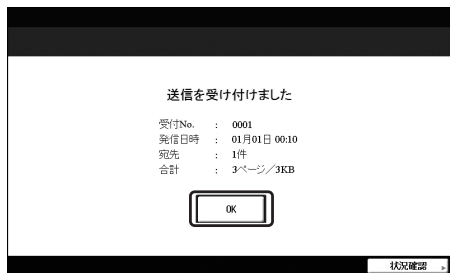
🔗 P.2-37 「[現在の状況] 画面」

- 送信データの保存領域を増やす場合には、[メンテナンス] 画面の [送受信データ保存先設定] で保存先を外部サーバに切り替えてください。

🔗 P.4-14 「[メンテナンス] 画面」

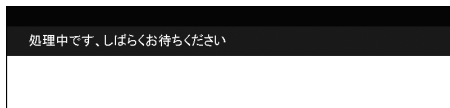
## 7 送信が受け付けられたことを確認します。

[OK] ボタンをクリックします。本商品は、送信処理を行います。



#### ポイント

送信処理中は以下の画面が表示されます。画面が消えるまでお待ちください。



以上で、宛先を指定してからスキャンする手順は終了です。

## ■ 詳細な設定をして送信する

原稿をスキャンする読み込み設定を変更して、複数の原稿を読み込んでから送信することができます。

### ポイント

送信先での受信可能枚数の目安については、以下を参照してください。

☞ P.7-22 「受信可能枚数の目安」

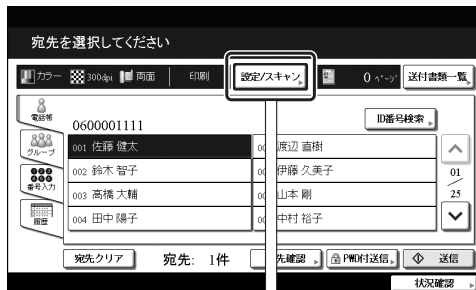
### 1 [ファイル送信] 画面を開きます。

☞ P.3-4 「EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする」



### 2 送信するファイルの読み込み設定を行います。

[設定/スキャン] ボタンを押し、表示される画面で読み込み設定を選択します。

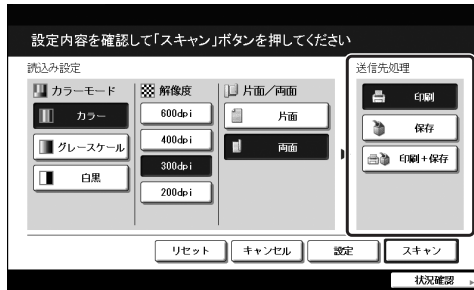


### ポイント

[両面] を選択して両面原稿を取り込んだ場合でも、[送信先処理] で [印刷] 設定しても片面印刷となります。

### 3 送付するファイルを送信先でどのように処理するか設定します。

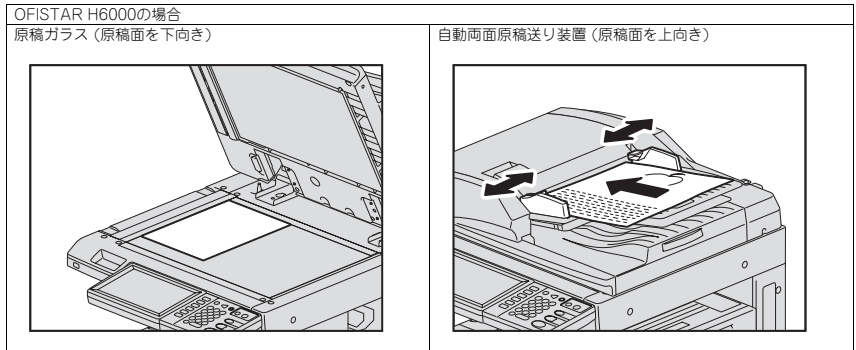
処理は読み込むファイルごとに、[保存] / [印刷] / [印刷 + 保存] から設定します。



#### ポイント

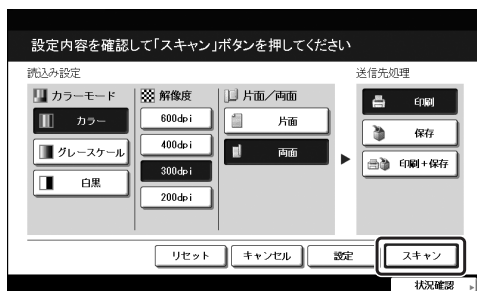
- [印刷] を選択した場合でも、送信先で印刷できない場合は、ファイルとして保存されます。
- パスワード付送信 ([PWD付送信] ボタン) する場合、ここでの設定に関わらず、自動的に [保存] に変更されます。

### 4 原稿をセットします。



## 5 原稿をスキャンします。

[スキャン] ボタンを押します。



原稿ガラスに原稿をセットした場合

読み込みが終了するとメッセージ画面が表示されます。新しい原稿を読み込むときは、原稿をセットし直してから [スキャン] ボタンを押します。読み込みを終了するときは、[読み込み終了] ボタンを押すと、[ファイル送信] 画面に戻ります。

1枚目の読み込み終了時：

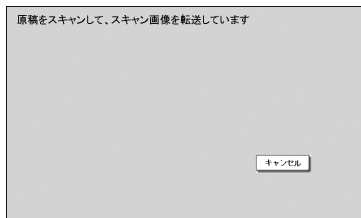


2枚目の読み込み終了時：





原稿の読み込み中は、以下の画面が表示されます。



自動両面原稿送り装置 (RADF) に原稿がセットされている場合自動的に読み込みを開始します。読み込みが終了すると、[ファイル送信] 画面に戻ります。

#### ポイント

- 原稿ガラスから原稿を読み込む場合は、必ず [スキャン] ボタンを押す前に原稿をセットしてください。  
[スキャン] ボタンを押すと原稿の読み込みを開始します。
- 読み込み可能な原稿枚数は、読み込み設定によるファイルサイズの違いや本商品の [送受信データ保存先設定] で設定されている保存場所の空き容量により変わります。  
[送受信データ保存先設定] の初期値は、本商品の内蔵記憶装置となっています。保存領域の空き容量は、コンピュータのWebブラウザからログインして、[現在の状況] 画面で確認することができます。  
☞ P.2-37 「[現在の状況] 画面」
- 送信データの保存領域を増やす場合には、[メンテナンス] 画面の [送受信データ保存先設定] で保存先を外部サーバに切り替えてください。  
☞ P.4-14 「[メンテナンス] 画面」

## 6 更に原稿をスキャンしたい場合は、手順2～手順5を繰り返します。

#### ポイント

送信可能なファイル数は8件です。9件目の原稿をスキャンしようするとメッセージが表示されます。



## 7 送信するファイルを確認します。

[送付書類一覧] ボタンを押し、[送付書類一覧] 画面で送付するファイルの一覧を確認します。  
[送付書類一覧] 画面では、送付先での処理を変更することもできます。  
確認が完了したら、[閉じる] ボタンを押します。

宛先を選択してください

カラー 300dpi 両面 印刷 設定/スキャン 3 送付書類一覧

電話番号 ID番号検索

001 佐藤 健太	005 渡辺 直樹
002 鈴木 智子	006 伊藤 久美子
003 高橋 久輔	007 山本 剛
004 田中 陽子	008 中村 裕子

宛先クリア 宛先: 0件 宛先確認 Pモード送信 送信 状況確認

[送付書類一覧] 画面  
送付する書類の一覧を確認します。

送付書類を確認してください

送信書類一覧

ファイル名	ページ	サイズ	日時	印刷	保存
doc1001010001-xxxxx1	1	1KB	01/01 00:01	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
doc1001010002-xxxxx2	1	1KB	01/01 00:02	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
doc1001010003-xxxxx3	1	1KB	01/01 00:03	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

合計: 3ページ/3KB

削除 閉じる 状況確認

### ポイント

[印刷] または [保存] チェックボックスで、送信先処理を変更することができます。

## 8 送信先の宛先を選択します。

「電話帳」「グループ」「番号入力」「履歴」から送付先の宛先を選択します。

宛先は、「電話帳」「グループ」「番号入力」「履歴」から合計8件まで選択して登録することができます。

### 「電話帳」

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。

選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

□ P.3-24 「電話帳」画面



### 「グループ」

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。

選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

□ P.3-26 「グループ」画面



### 「番号入力」

宛先番号を入力してから[宛先追加] ボタンを押します。

入力確認のため、番号を再入力してから[宛先追加] ボタンを押します。

□ P.3-27 「番号入力」画面



### ポイント

宛先番号の入力は、操作パネルの画面に表示されているボタンを押してください。デジタル複合機の操作パネルのテンキーは使用できません。

### 「履歴」(着信履歴)

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。

選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

□ P.3-29 「履歴」画面



### 「履歴」(発信履歴)

宛先を押し背景の色が変わったことを確認します。

選択した宛先を再び押すと選択を解除します。

□ P.3-29 「履歴」画面



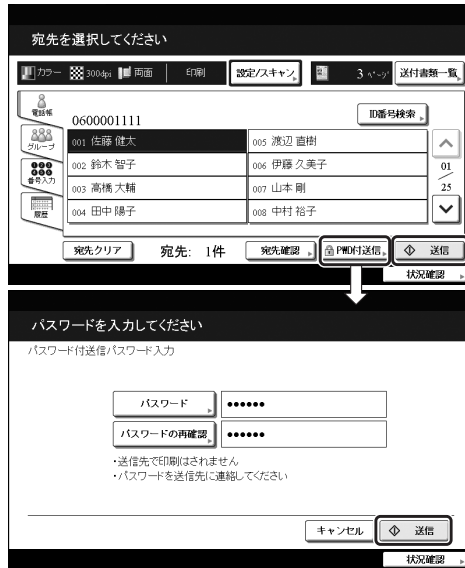
### 注意

- 選択した宛先は、ファイル送信を実行するとクリアされます。
- 宛先を重複して選択した場合、送信時に重複がないように処理してから送信します。そのため、送信内容と送信ログの宛先件数が異なる場合があります。

## 9 スキャンしたファイルの送信方法を選択します。

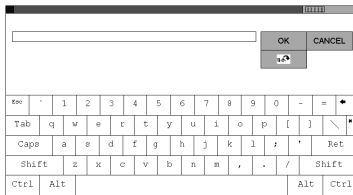
パスワード付きで送信する場合は、[PWD付送信] ボタンを押し、表示される画面でパスワードを設定してから、[送信] ボタンを押します。

パスワードを付けないで送信する場合は、[送信] ボタンを押します。



### ポイント

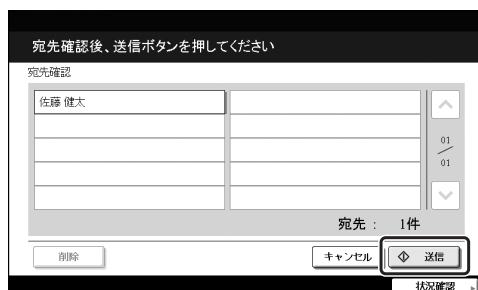
- [パスワード] ボタンまたは [パスワードの再確認] ボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。パスワードを入力してから [OK] ボタンを押してください。



- 設定できるパスワードは、半角英数字 (128バイト) となります。入力欄に表示されるパスワードの桁数は、実際のパスワードの桁数と異なる場合があります。
- [PWD付送信] を選択した場合、送信するファイルをパスワード付きのZIP形式で1つのファイルに圧縮します。ファイル名は送信するファイル一覧の先頭のファイル名に".zip"を付加したファイル名となります。
- [PWD付送信] を選択した場合、送信先での処理設定は自動的に [保存] に変更されます。
- 送信時に設定するパスワードは、メモをとるなどして忘れないようにご注意ください。また、設定したパスワードは、送信先に連絡していただくようお願いいたします。本商品には、送信時に設定したパスワードを確認する機能、および送信先にパスワードだけを連絡する機能はありません。

## 10 宛先確認画面で送信先を確認します。

送信先を確認し、[送信] ボタンを押します。

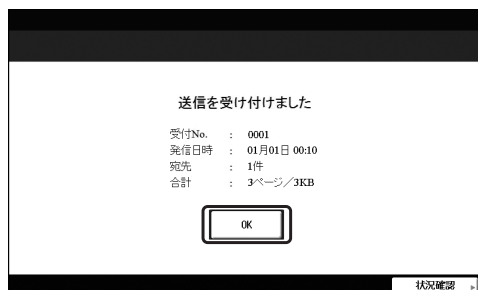


### ポイント

宛先から削除する場合は、削除する宛先を押して背景の色が変わったことを確認してから、[削除] ボタンを押します。


## 11 送信が受け付けられたことを確認します。

[OK] ボタンをクリックします。本商品は、送信処理を行います。



### ポイント

送信処理中は以下の画面が表示されます。画面が消えるまでお待ちください。



以上で、スキャンした複数のファイルをまとめて送信する手順説明は終了です。

# EWB対応のデジタル複合機から処理 (ジョブ) を確認 / 削除する

本商品の送信中と印刷中の処理状態を確認する手順と、それぞれの処理を削除する手順を説明します。

## ポイント

OFISTAR H6000から本商品にアクセス する手順については、以下を参照してください。

☞ P.3-4 「EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする」

## 1 [状況確認] 画面を開きます。

操作パネル右下の[状況確認] ボタンをクリックします。



## 2 [ジョブ] 画面を開きます。

[ジョブ] タブをクリックします。



## ポイント

[ジョブ] 画面では、本商品で処理中の項目を表示します。処理が終了した項目は、[ログ] 画面に表示されます。

## 3 [送信ジョブ] または [印刷ジョブ] 画面を開きます。

表示する処理 (ジョブ) のボタンをクリックします。

送信中の処理状態を表示します。



印刷中の処理状態を表示します。



#### ポイント

- 表示項目の詳細については、以下を参照してください。  
 □ P.3-37 「[ジョブ] 画面」
- [通信結果] 欄に表示されているエラーコードやメッセージについては、以下を参照してください。  
 □ P.6-12 「エラーコード」  
 □ P.6-16 「メッセージ」
- [印刷ジョブ] 画面の印刷状況で“処理中”と表示されている場合、印刷ページ数欄に印刷ページは表示されません。

- 4** ジョブを削除する場合は、削除する項目を選択して [削除] ボタンを押します。  
画面は、[印刷ジョブ] の例です。



以上で、EWB対応のデジタル複合機から送信中と印刷中の処理状態を確認する手順説明は終了です。

# EWB対応のデジタル複合機から送受信の履歴を確認する

本商品の送受信履歴の確認する手順について説明します。

## ポイント

OFISTAR H6000から本商品にアクセス する手順については、以下を参照してください。

☞ P.3-4 「EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする」

## 1 [状況確認] 画面を開きます。

操作パネル右下の[状況確認] ボタンをクリックします。



## 2 [ログ] 画面を開きます。

[ログ] タブをクリックします。



## 3 [送信ログ] または [受信ログ] 画面を開きます。

表示するログのボタンをクリックします。

送信履歴を表示します。





送信履歴を表示します。



**ポイント**

- 表示項目の詳細については、以下を参照してください。
  - P.3-39 「[ログ] 画面」
- [通信結果] 欄に表示されているエラーコードやメッセージについては、以下を参照してください。
  - P.6-12 「エラーコード」
  - P.6-16 「メッセージ」

以上で、EWB対応のデジタル複合機から送受信の履歴を確認する手順説明は終了です。

# EWB対応のデジタル複合機の操作パネル画面説明

## ポイント

- EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする手順については、以下を参照してください。
  - P.3-4 「EWB対応のデジタル複合機から本商品にアクセスする」
- スキャンしたファイルを送信する操作手順については、以下を参照してください。
  - P.3-6 「EWB対応のデジタル複合機からスキャンしたファイルを送信する」

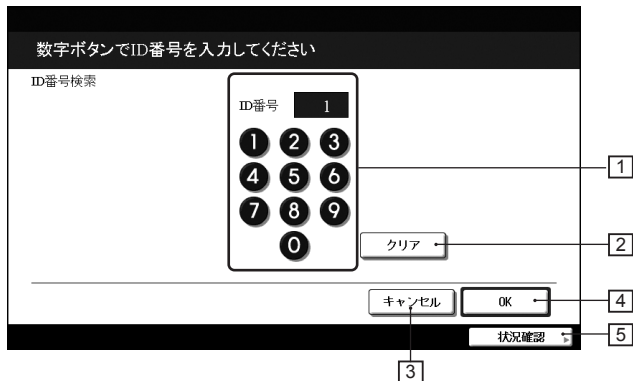
## ■ [電話帳] 画面



No.	項目名	説明
1	設定/スキャン	書類を読み込む（スキャン）設定内容を表示します。 設定を変更する場合は、[設定/スキャン] ボタンを押します。 [設定/スキャン] ボタン   [設定/スキャン] 画面を表示します。
2	送付書類	読み込み済みの送付書類の枚数を表示します。 [送付書類一覧] ボタン   [送付書類一覧] 画面を表示します。
3	電話帳一覧	電話帳一覧から宛先を押して選択します。 選択している宛先は背景の色が変わり、再びクリックすると選択を解除します。 [電話帳] 画面、[グループ] 画面、[番号入力] 画面、[履歴] 画面から合計8件まで宛先を選択できます。 <b>ポイント</b> 電話帳の登録方法や登録件数については、以下を参照してください。 P.4-20 「電話帳を登録する」 [ID番号検索] ボタン   [ID番号検索] 画面を表示します。
4	[宛先クリア] ボタン	選択した宛先をすべてクリアします。
5	[宛先確認] ボタン	選択した宛先を一覧で確認できる画面を表示します。
6	[PWND付送信] ボタン	パスワード付送信を行います。[パスワード付送信] 画面で送信パスワードを設定します。 送信書類が存在しない場合は、パスワード入力後、送付書類の読み込みを行います。 送信書類が存在する場合は、パスワード入力後、送付書類を送信します。
7	[送信] ボタン	送信書類が存在しない場合は、送付書類の読み込みを行います。 送信書類が存在する場合は、送付書類を送信します。
8	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。

## □ [ID番号検索] 画面

登録されている電話帳からID番号を選択します。



No.	項目名	説明
1	番号入力	ID番号を入力します。
2	[クリア] ボタン	入力したID番号をクリアします。
3	[キャンセル] ボタン	ID番号検索を中止します。
4	[OK] ボタン	入力されたID番号で検索します。
5	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。

## ■ [グループ] 画面



No.	項目名	説明
1	設定/スキャン	書類を読み込む（スキャン）設定内容を表示します。 設定を変更する場合は、[設定/スキャン] ボタンを押します。 [設定/スキャン] ボタン   [設定/スキャン] 画面を表示します。
2	送付書類	読み込み済みの送付書類の枚数を表示します。 [送付書類一覧] ボタン   [送付書類一覧] 画面を表示します。
3	グループ一覧	グループ一覧から宛先を押して選択します。 選択している宛先は背景の色が変わり、再びクリックすると選択を解除します。 [電話帳] 画面、[グループ] 画面、[番号入力] 画面、[履歴] 画面から合計8件まで宛先を選択できます。 <b>ポイント</b> グループの登録方法や登録件数については、以下を参照してください。 P.4-24 「グループを登録する」
4	[宛先クリア] ボタン	選択した宛先をすべてクリアします。
5	[宛先確認] ボタン	選択した宛先を一覧で確認できる画面を表示します。
6	[P.W.D付送信] ボタン	パスワード付送信を行います。[パスワード付送信] 画面で送信パスワードを設定します。 送付書類が存在しない場合は、パスワード入力後、送付書類の読み込みを行います。 送付書類が存在する場合は、パスワード入力後、送付書類を送信します。
7	[送信] ボタン	送付書類が存在しない場合は、送付書類の読み込みを行います。 送付書類が存在する場合は、送付書類を送信します。
8	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。

## ■ [番号入力] 画面



No.	項目名	説明						
1	[設定/スキャン] ボタン	書類を読み込む（スキャン）設定内容を表示します。 設定を変更する場合は、[設定/スキャン] ボタンを押します。 [設定/スキャン] ボタン   [設定/スキャン] 画面を表示します。						
2	[送付書類一覧] ボタン	読み込み済みの送付書類の枚数を表示します。 [送付書類一覧] ボタン   [送付書類一覧] 画面を表示します。						
3	[宛先番号入力]	宛先番号を入力します。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル複合機の操作パネルのテンキーは使用できません。</li> <li>宛先番号は32桁まで入力できます。</li> <li>[設定/登録] 画面の「電話番号の2回入力」が「有効」の場合に、宛先番号の入力は [新規入力] と [再入力] の2回入力する必要があります。 宛先番号を新規入力した後、[宛先追加] ボタンをクリックし、確認のため同じ宛先番号を入力してから、[宛先追加] ボタンをクリックすると登録されます。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td>[バックスペース] ボタン</td> <td>一文字消去して、入力位置が戻ります。</td> </tr> <tr> <td>[クリア] ボタン</td> <td>入力欄に入力した宛先番号を消去します。</td> </tr> <tr> <td>[宛先追加] ボタン</td> <td>入力した番号を宛先に追加します。</td> </tr> </table>	[バックスペース] ボタン	一文字消去して、入力位置が戻ります。	[クリア] ボタン	入力欄に入力した宛先番号を消去します。	[宛先追加] ボタン	入力した番号を宛先に追加します。
[バックスペース] ボタン	一文字消去して、入力位置が戻ります。							
[クリア] ボタン	入力欄に入力した宛先番号を消去します。							
[宛先追加] ボタン	入力した番号を宛先に追加します。							
4	[宛先クリア] ボタン	入力追加した宛先をすべてクリアします。						
5	[宛先確認] ボタン	選択した宛先を一覧で確認できる画面を表示します。						
6	[P.W.D付送信] ボタン	パスワード付送信を行います。[パスワード付送信] 画面で送信パスワードを設定します。 送信書類が存在しない場合は、パスワード入力後、送付書類の読み込みを行います。 送信書類が存在する場合は、パスワード入力後、送付書類を送信します。						
7	[送信] ボタン	送信書類が存在しない場合は、送付書類の読み込みを行います。 送信書類が存在する場合は、送付書類を送信します。						
8	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。						

## □ [再入力] 画面

宛先番号の入力ミスによる誤送信を防止するため、[設定/登録] 画面の [電話番号の2回入力] が "有効" の場合、宛先番号を新規入力した後、[宛先追加] ボタンをクリックすると [番号再入力] 画面が表示されます。入力欄に最初に入力した宛先番号と同じ番号を入力してください。

### ポイント

[再入力] 画面の入力欄に何も入力しない状態で [クリア] ボタンを押した場合、[番号入力] 画面に戻ります。

## ■ [履歴] 画面



No.	項目名	説明
1	設定/スキャン	書類を読み込む（スキャン）設定内容を表示します。 設定を変更する場合は、[設定/スキャン] ボタンを押します。 [設定/スキャン] ボタン [設定/スキャン] 画面を表示します。
2	送付書類	読み込み済みの送付書類の枚数を表示します。 [送付書類一覧] ボタン [送付書類一覧] 画面を表示します。
3	履歴一覧	履歴一覧から宛先を押して選択します。 選択している宛先は背景の色が変わり、再びクリックすると選択を解除します。 [電話帳] 画面、[グループ] 画面、[番号入力] 画面、[履歴] 画面から合計8件まで宛先を選択できます。 [着信履歴] ボタン 着信履歴を最大8件表示します。 [発信履歴] ボタン 発信履歴を最大8件表示します。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>EWB対応のデジタル複合機から確認できる着信履歴/受信履歴は、それぞれ8件まで表示します。履歴が8件を超えた場合、古い履歴から表示されなくなります。</li> <li>着信履歴は、連続して同じ発信元から着信した場合、1つの履歴にまとめて記録します。</li> <li>履歴一覧は、発信履歴/着信履歴ともに、それぞれの履歴に残っている宛先から、重複していない宛先を最大8件まで表示します。</li> <li>着信履歴の [送信元] は、ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、電話帳に登録されている名称が表示されます。</li> </ul>
4	[宛先クリア] ボタン	選択した宛先をすべてクリアします。
5	[宛先確認] ボタン	選択した宛先を一覧で確認できる画面を表示します。
6	[P.W.D付送信] ボタン	パスワード付送信を行います。[パスワード付送信] 画面で送信パスワードを設定します。 送信書類が存在しない場合は、パスワード入力後、送付書類の読み込みを行います。 送信書類が存在する場合は、パスワード入力後、送付書類を送信します。
7	[送信] ボタン	送信書類が存在しない場合は、送付書類の読み込みを行います。 送信書類が存在する場合は、送付書類を送信します。
8	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。

## ■ [設定/スキャン] 画面



No.	項目名	説明
1	読み込み設定	書類を読み込む設定を選択します。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [設定/登録] - [基本設定] 画面のスキャナ設定項目で設定されている内容が初期値をして表示されます。</li> <li>・ [設定/登録] - [基本設定] 画面のスキャナ設定項目で [RADF装置] の設定を無効にしている場合、両面原稿の読み込みはできません。</li> </ul>
2	送信先処理	送付するファイルを送信先でどのように処理するか選択します。 <b>ポイント</b> [設定/登録] - [基本設定] 画面のスキャナ設定項目で設定されている内容が初期値をして表示されます。
		保存   送信先のFN-1000に保存します。
		印刷   送信先で指定されている機器に印刷します。
		印刷+保存   保存と印刷の両方を行います。
		<b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [印刷] を選択した場合でも、送信先で印刷できない場合は、ファイルとして保存されます。</li> <li>・ [PWD付送信] 画面でパスワードを設定した場合、ここでの設定に関わらず、自動的に [保存] に変更されます。</li> </ul>
3	[リセット] ボタン	選択した設定をすべてクリアします。
4	[キャンセル] ボタン	設定をキャンセルして、[宛先選択] 画面に戻ります。
5	[設定] ボタン	読み込む書類の設定を登録します。読み込む書類ごと設定する必要があります。
6	[スキャン] ボタン	選択した設定でスキャンします。
7	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。



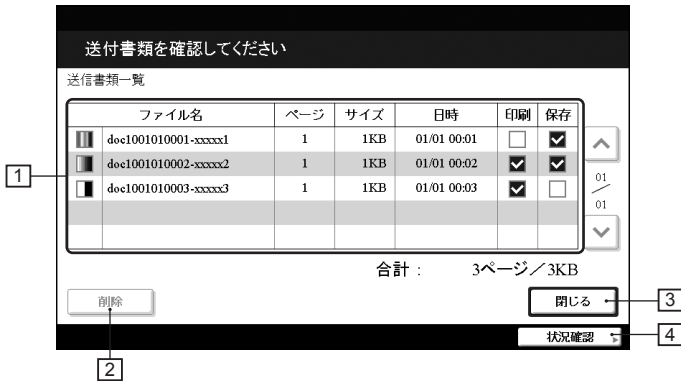
## ■ [読み込み (原稿ガラス)] 画面

〔設定/スキャン〕画面で〔スキャン〕ボタンを押した場合で、自動両面原稿送り装置（RADF）に原稿がセットされていないとき、送信書類が存在しない状態で各画面の〔送信〕ボタンを押した場合で、自動両面原稿送り装置（RADF）に原稿がセットされていないときに表示されます。



No.	項目名	説明
1	読み込み情報	原稿の読み込み状況を表示します。
2	〔キャンセル〕ボタン	読み込みをキャンセルして、〔ファイル送信〕画面に戻ります。 すでに読み込んだ原稿もキャンセルされます。
3	〔読み込み終了〕ボタン	すべての原稿の読み込みが完了した場合に押します。
4	〔スキャン〕ボタン	原稿をガラス面に置き、読み込み準備ができた時点で押し、継続して原稿をスキャンします。
5	〔状況確認〕ボタン	〔状況確認〕画面を表示します。

## ■ [送付書類一覧] 画面



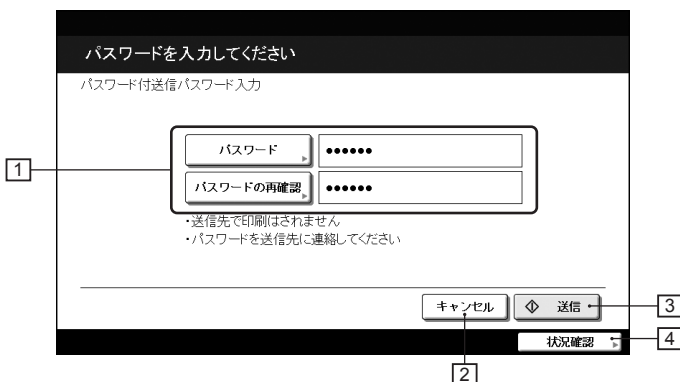
No.	項目名	説明						
1	送付書類一覧	<p>送付するファイル一覧の確認と送信先処理の設定を変更することができます。</p> <p>ファイル名                      スキャンしたファイルのファイル名を表示します。ファイル名は自動的に命名されます。                      ファイル名: DOCyymmddhhmm-受付番号 (4桁: 0001~9999) ファイル連番 (2桁: 01~08) .tif                      [yymmddhhmm] は、年 (西暦の下2桁) +月 (01~12) +日 (01~31) +時 (0~23) +分 (0~59) となります。                      ファイル名の左側のアイコンは、原稿を読み込んだ際のカラーモードを表示しています。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>カラー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グレースケール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>白黒</td> </tr> </table> <p>ページ                      ファイルのページ数を表示します。</p> <p>サイズ                      ファイルサイズを表示します。  <b>ポイント</b>                      ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。</p> <p>日時                      原稿をスキャンした日時を表示します。</p> <p>送信先処理                      送信先処理の設定を変更することができます。                      ・[印刷] のチェックを外したときは、[保存] にチェックが付く                      ・[保存] のチェックを外したときは、[印刷] にチェックが付く</p>		カラー		グレースケール		白黒
	カラー							
	グレースケール							
	白黒							
2	[削除] ボタン	送付書類の一覧から選択した書類を削除します。						
3	[閉じる] ボタン	[送付書類一覧] 画面を閉じます。						
4	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。						

## ■ [宛先確認] 画面



No.	項目名	説明
1	宛先確認一覧	送付する宛先の一覧を確認できます。
2	[削除] ボタン	宛先確認一覧から選択した宛先を削除できます。
3	[閉じる] ボタン	[宛先確認] 画面を閉じます。
4	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。

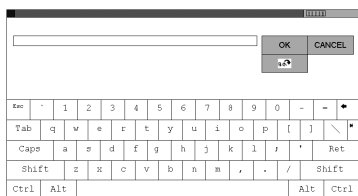
## ■ [パスワード付送信] 画面



No.	項目名	説明
1	パスワード入力	<p>[パスワード] ボタンまたは [パスワードの再確認] ボタンを押して表示される画面で、パスワード付送信のためのパスワードを入力し、[OK] ボタンを押します。</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>設定できるパスワードは、半角英数字 (128バイト) となります。入力欄に表示されるパスワードの桁数は、実際のパスワードの桁数と異なる場合があります。</p>
2	[キャンセル] ボタン	[ファイル送信] 画面に戻ります。
3	[送信] ボタン	<p>選択された宛先に、[設定/スキャン]の設定で読み込み、[送付書類一覧]で選択した送付書類 (スキャンしたファイル) を送信します。</p> <p>送付書類が存在しない場合は、[読み込み (原稿ガラス)] 画面に遷移して、送付書類の読み込みを行います。</p>
4	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。

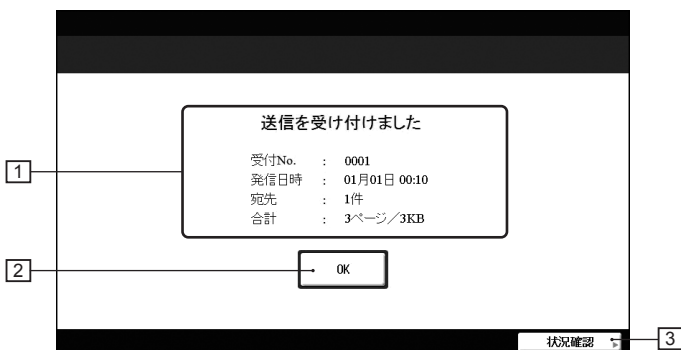
### ポイント

- [パスワード] ボタンまたは [パスワードの再確認] ボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。パスワードを入力してから [OK] ボタンを押してください。



- [PWORD付送信] を選択した場合、送信するファイルをパスワード付きのZIP形式で1つのファイルに圧縮します。ファイル名は送信するファイル一覧の先頭のファイル名に".zip"を付加したファイル名となります。
  - [PWORD付送信] を選択した場合、送信先での処理設定は自動的に [保存] に変更されます。
  - 送信時に設定するパスワードは、メモをとるなどして忘れないようご注意ください。
- また、設定したパスワードは、送信先に連絡していただくようお願いいたします。本商品には、送信時に設定したパスワードを確認する機能、および送信先にパスワードだけを連絡する機能はありません。

## ■ [送信受け付け] 画面

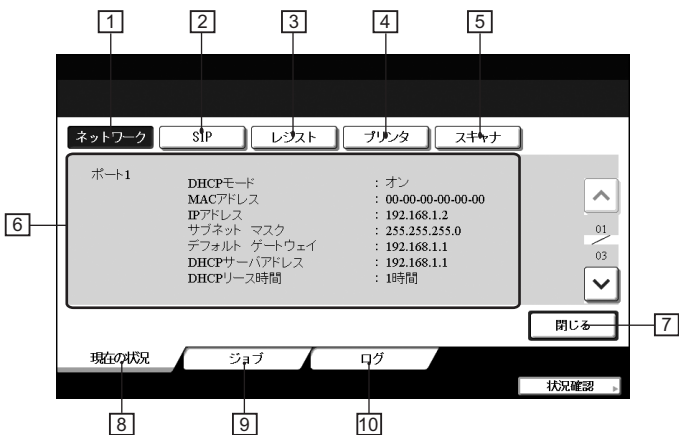


No.	項目名	説明
1	送信受け付け画面	送信された内容を表示します。 <b>ポイント</b> ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。
2	[OK] ボタン	[送信受け付け] 画面を閉じます。
3	[状況確認] ボタン	[状況確認] 画面を表示します。

## ■ 状況確認画面

### □ [現在の状況] 画面

[現在の状況] 画面では、本商品の設定状況を確認することができます。



No.	項目名	説明
1	ネットワーク	本商品のネットワークの設定状態を表示します。
2	SIP	本商品のSIP関連の設定状態を表示します。
3	レジスト	フレックス光ネクスト網のSIPサーバとの通信状態を表示します。 G/W装置と正しく接続され、SIPサーバ通信できている状態であれば、[レジスト状況：済]と表示されます。 [レジスト状況：未]と表示される場合は、以下を参照してください。 ☞ P.6-7 「レジストできない」
4	プリンタ	本商品にプリンタとして登録されている機器の設定状態を表示します。
5	スキャナ	本商品にスキャナとして登録されている機器の設定状態を表示します。
6	状況表示	選択されている項目の状況を表示します。
7	[閉じる] ボタン	[現在の状況] 画面を閉じます。
8	[現在の状況] 画面	[現在の状況] 画面を表示します。(表示している画面です。)
9	[ジョブ] 画面	[ジョブ] 画面を表示します。
10	[ログ] 画面	[ログ] 画面を表示します。

## □ [ジョブ] 画面

[ジョブ] 画面では、本商品の送信中と印刷中の処理状態を確認することができます。

### ポイント

[ジョブ] 画面では、本商品で処理中の項目を表示します。処理が終了した項目は、[ログ] 画面に表示されます。

## [送信ジョブ]

送信中の処理状態を表示します。



No.	項目名	説明												
1	[送信ジョブ]	送信中の処理を表示します。												
2	[印刷ジョブ]	印刷中の処理を表示します。												
3	送信ジョブ表示	<table border="1"> <tr> <td>管理番号</td> <td>送信処理中の管理番号(4桁数字-**-2桁数字)を表示します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字 (受付番号: 0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号: 固定)</li> <li>2桁数字 (同報宛先連番: 01~24)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>日時</td> <td>送信処理を受け付けた日時を表示します。</td> </tr> <tr> <td>宛先番号</td> <td>宛先番号を表示します。</td> </tr> <tr> <td>ファイル数</td> <td>ファイル数を表示します。</td> </tr> <tr> <td>サイズ</td> <td>ファイルサイズを表示します。  <b>ポイント</b>                      ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。                 </td> </tr> <tr> <td>状態</td> <td>状態を表示します。  <b>ポイント</b>                      表示されるメッセージについては、以下を参照してください。                      □ P.6-16 「メッセージ」                 </td> </tr> </table>	管理番号	送信処理中の管理番号(4桁数字-**-2桁数字)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字 (受付番号: 0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号: 固定)</li> <li>2桁数字 (同報宛先連番: 01~24)</li> </ul>	日時	送信処理を受け付けた日時を表示します。	宛先番号	宛先番号を表示します。	ファイル数	ファイル数を表示します。	サイズ	ファイルサイズを表示します。 <b>ポイント</b> ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。	状態	状態を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるメッセージについては、以下を参照してください。 □ P.6-16 「メッセージ」
管理番号	送信処理中の管理番号(4桁数字-**-2桁数字)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字 (受付番号: 0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号: 固定)</li> <li>2桁数字 (同報宛先連番: 01~24)</li> </ul>													
日時	送信処理を受け付けた日時を表示します。													
宛先番号	宛先番号を表示します。													
ファイル数	ファイル数を表示します。													
サイズ	ファイルサイズを表示します。 <b>ポイント</b> ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。													
状態	状態を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるメッセージについては、以下を参照してください。 □ P.6-16 「メッセージ」													
4	[削除] ボタン	送信処理中の項目を選択して[削除] ボタンをクリックすることで、送信ジョブを削除します。 <b>注意</b> 複数の宛先に送信しているデータの送信ジョブを削除する場合、削除するタイミングによって送信が完了している宛先と送信が完了していない宛先が存在する可能性があります。												
5	[閉じる] ボタン	[現在の状況] 画面を閉じます。												
6	[現在の状況] 画面	[現在の状況] 画面を表示します。(表示している画面です。)												
7	[ジョブ] 画面	[ジョブ] 画面を表示します。												
8	[ログ] 画面	[ログ] 画面を表示します。												

## [印刷ジョブ]

印刷中の処理状態を表示します。



No.	項目名	説明	
1	[送信ジョブ]	送信中の処理を表示します。	
2	[印刷ジョブ]	印刷中の処理を表示します。	
3	印刷ジョブ表示	管理番号	印刷処理中の管理番号(4桁数字-**)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 4桁数字(受付番号:0001~9999)</li> <li>• ** (ファイル番号:固定)</li> </ul>
		日時	印刷処理を受け付けた日時を表示します。
		送信元番号	送信元番号を表示します。 <b>ポイント</b> ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、名称が表示されます。
		ファイル名	ファイル名を表示します。
		サイズ	ファイルサイズを表示します。 <b>ポイント</b> ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。
		印刷ページ数	印刷中のページ数を表示します。 <b>ポイント</b> [印刷状況]で"処理中"と表示されている場合、[印刷ページ数]欄に印刷ページは表示されません。
		印刷状態	印刷状態を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるメッセージについては、以下を参照してください。 □ P.6-16 「メッセージ」
4	[削除] ボタン	印刷処理中の項目を選択して[削除] ボタンをクリックすることで、印刷ジョブを削除します。	
5	[閉じる] ボタン	[現在の状況] 画面を閉じます。	
6	[現在の状況] 画面	[現在の状況] 画面を表示します。(表示している画面です。)	
7	[ジョブ] 画面	[ジョブ] 画面を表示します。	
8	[ログ] 画面	[ログ] 画面を表示します。	



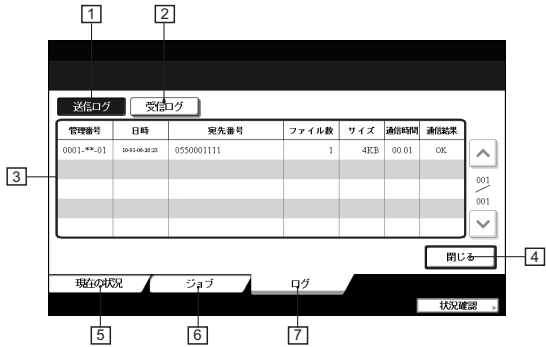
## □ [ログ] 画面

[ログ] 画面では、本商品で送受信の履歴を確認することができます。

### ポイント

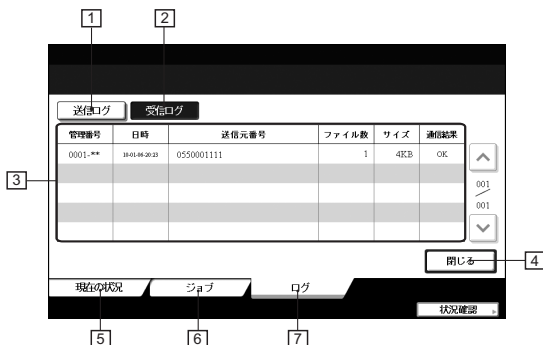
送信ログ/受信ログは、それぞれ200件まで表示します。ログが200件を超えた場合、古いログから表示されなくなります。

## [送信ログ]



No.	項目名	説明	
1	[送信ジョブ]	送信中の処理を表示します。	
2	[印刷ジョブ]	印刷中の処理を表示します。	
3	送信ログ表示	管理番号	送信履歴の管理番号(4桁数字-**-2桁数字)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字 (受付番号: 0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号: 固定)</li> <li>2桁数字 (同報宛先連番: 01~24)</li> </ul>
		日時	送信を受け付けた日時を表示します。
		宛先番号	宛先番号を表示します。
		ファイル数	ファイル数を表示します。
		サイズ	ファイルサイズを表示します。 <b>ポイント</b> ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。
		通信時間	通信時間を表示します。 <b>ポイント</b> 表示される時間は、目安のため実際の通信時間と異なる場合があります。
		通信結果	通信結果を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるエラーコードおよびメッセージについては、以下を参照してください。 ☞ P.6-12 「エラーコード」 ☞ P.6-16 「メッセージ」
4	[閉じる] ボタン	[現在の状況] 画面を閉じます。	
5	[現在の状況] 画面	[現在の状況] 画面を表示します。(表示している画面です。)	
6	[ジョブ] 画面	[ジョブ] 画面を表示します。	
7	[ログ] 画面	[ログ] 画面を表示します。	

## [受信ログ]

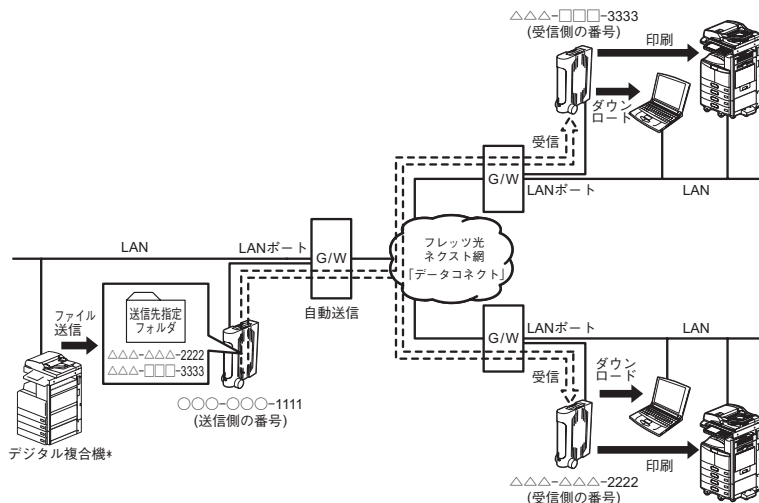


No.	項目名	説明	
1	[送信ジョブ]	送信中の処理を表示します。	
2	[印刷ジョブ]	印刷中の処理を表示します。	
3	受信ログ表示	管理番号	
		受信履歴の管理番号(4桁数字・**)を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>4桁数字 (受付番号: 0001~9999)</li> <li>** (ファイル番号: 固定)</li> </ul>	
		日時	送信を受け付けた日時を表示します。
		送信元番号	送信元番号を表示します。 <b>ポイント</b> ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみ、電話番号が表示されます。なお、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合には、名称が表示されます。
		ファイル数	ファイル数を表示します。
		サイズ	ファイルサイズを表示します。 <b>ポイント</b> ファイルサイズが1KB未満の場合、サイズは0KBと表示されます。
	通信結果	通信結果を表示します。 <b>ポイント</b> 表示されるエラーコードおよびメッセージについては、以下を参照してください。 ☞ P.6-12 「エラーコード」 ☞ P.6-16 「メッセージ」	
4	[閉じる] ボタン	[現在の状況] 画面を閉じます。	
5	[現在の状況] 画面	[現在の状況] 画面を表示します。(表示している画面です。)	
6	[ジョブ] 画面	[ジョブ] 画面を表示します。	
7	[ログ] 画面	[ログ] 画面を表示します。	

## デジタル複合機のスキャン機能を利用する（ワンステップ送信）

デジタル複合機のスキャン機能を利用する場合は、本商品に送信先指定フォルダを作成/設定します。本商品は、送信先指定フォルダに保存されたファイルを定期的に確認して、送信先指定フォルダに設定されている宛先に自動送信します。本商品では、この機能をワンステップ送信と呼びます。

ワンステップ送信の操作は、デジタル複合機の操作パネルから行います。



\*ネットワーク上のフォルダにスキャンデータをファイル送信(SMB)できる機種のみ

### ■ 送信ファイル条件

- マルチページTIFF（推奨）

#### 注意

シングルページTIFFの設定で複数ページを取り込んだ場合、サブフォルダを作成して保存するデジタル複合機があります。ワンステップ送信では、サブフォルダをZIP圧縮して送信するため、送信先処理で [印刷] に設定されていても、[保存] されます。

### ■ 本商品の設定

ワンステップ送信するためには、本商品にデジタル複合機からアクセスできる送信先指定フォルダの作成や、アクセスするデジタル複合機のIPアドレス、送信先番号などの登録設定を行う必要があります。送信先指定フォルダの作成や登録設定などは、[登録/設定] 画面から行います。

☑ P.4-60 「ワンステップ送信の設定」

### ■ 設定項目の確認

デジタル複合機から本商品の送信先指定フォルダにアクセスするために設定項目を確認します。

確認した設定項目は、デジタル複合機からスキャンしたファイルを転送（保存）するときに必要となります。上記の設定項目の確認方法は、以下を参照してください。

☑ P.4-63 「デジタル複合機で設定する」

## ■ 対象デジタル複合機

スキャンしたTIFF形式ファイルを [SMB] プロトコルで、本商品の送信先指定フォルダに転送（保存）できる機種が対象となります。

詳細については、デジタル複合機の取扱説明書で、スキャンしたファイルをネットワークフォルダに保存する手順を参照してください。

### ポイント

OFISTAR H6000の操作パネルからワンステップ送信する手順は、以下を参照してください。

☞ P.4-64 「OFISTAR H6000の操作パネルから操作する」

## ■ デジタル複合機からワンステップ送信する

IPアドレスを指定したデジタル複合機から本商品の送信先指定フォルダにスキャンしたファイルを転送（保存）します。

### ポイント

スキャンしたファイルを転送（保存）する手順は、各社のデジタル複合機によって異なります。詳細な操作手順については、デジタル複合機に添付されている取扱説明書を参照してください。

以下の手順は、操作手順のポイントを記載してあります。

- 1 デジタル複合機に原稿をセットします。
- 2 スキャンしたファイルの転送先（保存先）を本商品の送信先指定フォルダにします。

- 1) プロトコルを設定します。  
スキャンしたファイルの転送プロトコルを [SMB] に設定します。
- 2) 転送先（保存先）を設定します。  
本商品の[サーバ名]または[本商品のIPアドレス]と[フォルダ名]を設定します。

### ポイント

- 設定方法は、お使いのデジタル複合機によって異なります。詳細については、デジタル複合機に添付されている取扱説明書を参照してください。
- ネットワークパスとして入力する場合は、下記を参考に入力してください。

入力順	サーバ名の場合	¥¥本商品の[サーバ名]\¥share¥フォルダ名
	IPアドレスの場合	¥¥本商品のIPアドレス¥share¥フォルダ名
	サーバ名の場合	\\サーバ名\share\フォルダ名
	IPアドレスの場合	\\本商品のIPアドレス\share\フォルダ名

### 例

例	本商品のサーバ名またはIPアドレス	サーバ名：FN-1000 IPアドレス：192.168.1.2
	固定	share <固定>
	フォルダ名	01_office01
上記の例のネットワークパス入力順		
	サーバ名の入力	¥¥FN-1000¥share¥01_office01
	IPアドレスの入力	¥¥192.168.1.2¥share¥01_office01
	サーバ名の入力	\\FN-1000\share\01_office01
	IPアドレスの入力	\\192.168.1.2\share\01_office01

- 本商品の[サーバ名]と[フォルダ名]は、「ワンステップ送信の設定」で設定したサーバ名とフォルダ名を使用します。

☞ P.4-60 「ワンステップ送信の設定」

- 3 原稿をスキャンします。

スキャンしたファイルが送信先指定フォルダに転送（保存）されます。

## 4 送信先指定フォルダの設定に従って、ファイルを宛先に送信します。

### ポイント

- デジタル複合機でファイル名を付けられる場合、次の文字が使用されたファイル名は送信できません。  
使用禁止文字列：¥ / : \* ? " < > |
- 送信先指定フォルダに、パスワード付送信が設定されている場合、送信するファイルをパスワード付きのZIP形式で1つのファイルに圧縮します。ファイル名は送信するファイル一覧の先頭のファイル名に".zip"を付加したファイル名となります。
- 設定されているパスワードは、送信先に連絡していただくようお願いいたします。本商品には、送信先指定フォルダに設定されているパスワードだけを連絡する機能はありません。  
送信先指定フォルダのパスワードは、[ワンステップ送信設定]で確認できます。  
📖 P.4-60 「ワンステップ送信の設定」
- 送信先指定フォルダに転送(保存)されたファイルは、本商品が処理できる順にファイルを送信します。送信の順序を指定することはできません。
- 読み込み可能な原稿枚数は、読み込み設定によるファイルサイズの違いや本商品の [送受信データ保存先設定] で設定されている保存場所の空き容量により変わります。  
[送受信データ保存先設定] の初期値は、本商品の内蔵記憶装置となっています。保存領域の空き容量は、コンピュータのWebブラウザからログインして [現在の状況] 画面で確認することができます。  
📖 P.2-37 「現在の状況」画面」

以上で、デジタル複合機からワンステップ送信する手順は終了です。

## デジタル複合機から受信したファイルを印刷する

本商品と同一のネットワークに接続されたPostScript3に対応したデジタル複合機\*をプリンタとして設定しておくことで、送信先処理で[印刷]または[印刷+保存]が設定されたファイルを本商品が受信した場合、設定したデジタル複合機から自動的に印刷することができます。

\* すべてのPostScript3に対応したデジタル複合機での印刷を保証するものではありません。

### ■ 印刷するためのファイル条件

送信先処理で[印刷]または[印刷+保存]が設定されたファイルで、次の条件を満たしているファイルを印刷します。

ファイルサイズ	受信データの保存領域に、ファイルの20倍の空き容量が確保できること* * 印刷データの展開用として使用するため、受信したファイルの20倍の空き容量が受信データの保存領域に必要です。	
ファイル形式	• マルチページTIFF (推奨) • シングルページTIFF <b>注意</b> シングルページTIFFの設定で複数ページを取り込んだ場合、サブフォルダを作成して保存するデジタル複合機があります。ワンステップ送信では、サブフォルダをZIP圧縮して送信するため、送信先処理で[印刷]に設定されていても、[保存]されます。	
圧縮形式	カラー	JPEG-Tech Note2 (compression field=7) (OLD-JPEG (compression field=6)を除く)
	グレースケール	JPEG-Tech Note2 (compression field=7) (OLD-JPEG(compression field=6)を除く)
	モノクロ	MMR (G4) <b>注意</b> OLD-JPEGの圧縮形式によっては印刷できない場合があります。
解像度	• 600 × 600 (dpi) • 400 × 400 (dpi) • 300 × 300 (dpi) • 200 × 200 (dpi)	

#### ポイント

- 送信先処理で印刷設定されたファイルで、条件を満たさないファイルは受信フォルダに保存されます。
- 受信データの保存領域の容量は、本商品の[送受信データ保存先設定]で設定されている保存場所の空き容量により変わります。[送受信データ保存先設定]の初期値は、本商品の内蔵記憶装置となっています。保存領域の空き容量は、コンピュータのWebブラウザからログインして、[現在の状況]画面で確認することができます。  
[P.2-37](#) 「現在の状況」画面
- 受信データの保存領域を増やす場合には、[メンテナンス]画面の[送受信データ保存先設定]で保存先を外部サーバに切り替えてください。  
[P.4-14](#) 「メンテナンス」画面

### ■ 本商品の設定

PostScript3に対応したデジタル複合機をプリンタとして設定する必要があります。設定は、[登録/設定]画面から行います。

[P.4-18](#) 「印刷設定」

## コンピュータから設定する

管理者権限でログインする .....	4-2
[設定/登録] 画面 .....	4-3
[設定/登録] (管理者用) 画面 .....	4-4
設定/登録の画面説明 .....	4-5
印刷設定 .....	4-18
電話帳の登録 .....	4-20
電話帳のエクスポート / インポート .....	4-31
メール通知設定 .....	4-36
ルーティング設定 .....	4-40
EWB対応デジタル複合機の使用設定 .....	4-44
リポート機能の設定 .....	4-53
ワンステップ送信の設定 .....	4-60
ワンステップ送信のフォルダ設定のエクスポート / インポート .....	4-71
送受信データ保存先の切り替え .....	4-76
送受信履歴 (ログ) からファイルを削除 / ダウンロードする .....	4-78
設定値の保存 / 復元 .....	4-82
初期化 .....	4-87

## 管理者権限でログインする

本商品の設定/登録を行うには、コンピュータのWebブラウザを用いて本商品に管理者権限でログイン（アクセス）する必要があります。ここでは、管理者権限で本商品にログインする手順について説明します。

コンピュータから本商品を利用する場合の動作環境は下記のとおりです。

OS	Webブラウザ
Windows 7	Internet Explorer 8.0以上
Windows Vista (SP2)	Internet Explorer 7.0以上
Windows XP (SP2)/(SP3)	Internet Explorer 6.0 (SP2) 以上
Windows	Firefox 3.5.x 以上
Linux	Firefox 3.5.x 以上

### 注意

操作を5分間行わないと自動的にログアウトします。この時間設定は変更できません。

### ポイント

- 本書の説明では、Windows XP (SP2) のInternet Explorer 7.0の画面を使用します。使用するOSのバージョンやWebブラウザによって画面レイアウトやボタン名称が異なる場合があります。
- Webブラウザの設定で「JavaScript」を有効にしてください。  
☞ P.7-11 「WebブラウザのJavaScript 設定」
- Webブラウザにポップアップブロックが表示される場合は、以下を参照して機能を解除してください。  
☞ P.7-14 「Webブラウザのポップアップブロックを解除する」
- 本商品は、電源をオンしてからプログラムを起動し、接続されているネットワーク環境に対応した設定を行うため、ログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

## 1 Web ブラウザを起動して、「http:// [IPアドレス] /index\_admin.html」と入力します。

本商品のIPアドレスを入力します。

IPアドレスが192.168.1.2の場合：http://192.168.1.2/index\_admin.html

### 注意

- 本商品のIPアドレスの確認方法は、以下を参照してください。  
☞ P.1-10 「IPアドレスの確認」
- 本商品に同時アクセス可能な構成は、コンピュータから1アクセスとEWB対応のデジタル複合機から1アクセスの合計2アクセスです。

## 2 ログインパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。

初期パスワードは、小文字で admin です。パスワードは大文字・小文字を判別します。



ほかの管理者がログインしている場合、メッセージ画面が表示されます。

☞ P.6-10 「ログイン時のメッセージ画面 / 認証エラー時のメッセージ画面」

以上で、コンピュータから本商品に管理者権限でログインする手順説明は終了です。



## [設定/登録] 画面

本商品の設定/登録は、[設定/登録] 画面で行います。設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。  
[設定/登録] 画面には、設定する内容により、2つの画面に分かれています。ここでは、[基本設定]、[詳細設定]、[登録]を行う [設定/登録] 画面について説明します。  
[メンテナンス]、[ログ] については、[設定/登録] (管理者用) 画面を参照してください。  
□ P.4-4 「[設定/登録] (管理者用) 画面」

### ポイント

コンピュータから本商品に管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。  
□ P.4-2 「管理者権限でログインする」

## 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[基本設定]、[詳細設定]、[登録] は、[設定/登録] タブをクリックします。



## 2 設定/登録する項目を開きます。

[基本設定]、[詳細設定]、[登録]



それぞれの画面で設定を行います。

## [設定/登録] (管理者用) 画面

本商品の設定/登録は、[設定/登録] 画面で行います。設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。  
[設定/登録] 画面には、設定する内容により、2つの画面に分かれています。ここでは、[メンテナンス]、[ログ] を行う  
[設定/登録] (管理者用) 画面について説明します。  
[基本設定]、[詳細設定]、[登録] については、[設定/登録] 画面を参照してください。  
□ P.4-3 「[設定/登録] 画面」

### ポイント

コンピュータから本商品に管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。  
□ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[メンテナンス]、[ログ] は、[管理者用] ボタンをクリックします。



### 2 設定/登録する項目を開きます。

[メンテナンス]、[ログ]



それぞれの画面で設定を行います。

# 設定/登録の画面説明

## ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。

☐ P.4-2 「管理者権限でログインする」

## ■ [基本設定] 画面

各項目の設定を登録する場合は、[適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動してください。

設定項目の入力値が誤っていたり、入力漏れがある場合、入力欄が赤く表示されます。

項目名	設定値 (初期値: 下線) <空欄: 初期値なし>	説明
ネットワーク設定		<b>注意</b> IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、ネットワークアドレス、DNSサーバのアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けなくても構いません。(例: "001" や "01" のように数字の前に0が付いた数値は入力できないため、"1" と入力します。)
LAN1		LAN1ポートのネットワーク設定
DHCPクライアント	オン/オフ	G/W装置のDHCPサーバから割り振られるIPアドレスを取得するか設定します。オフにするとIPアドレスを手動で設定する必要があります。また、LAN1の [DHCPクライアント] を"オフ"にした場合は、[SIP設定] 項目を手動で設定する必要があります。
IPアドレス		[DHCPクライアント] を"オフ"にしている場合に、本商品のLAN1ポートのIPアドレスを設定します。 <入力例: 192.168.1.2>
サブネットマスク		[DHCPクライアント] を"オフ"にしている場合に、本商品のLAN1ポートのサブネットマスクを設定します。 <入力例: 255.255.255.0>
デフォルトゲートウェイ		[DHCPクライアント] を"オフ"にしている場合に、本商品のLAN1ポートのデフォルトゲートウェイとしてG/W装置のIPアドレスを設定します。 <入力例: 192.168.1.1>
LAN2		LAN2ポートのネットワーク設定 LAN2ポートを使用する場合に設定が必要です。
DHCPクライアント	オン/オフ	既存のネットワーク環境にあるDHCPサーバから割り振られるIPアドレスを取得する場合は、"オン"にします。
IPアドレス	(初期値: 192.168.100.100)	本商品のLAN2ポートのIPアドレスを設定します。 [DHCPクライアント] を"オン"にしている場合は、設定不要です。
サブネットマスク	(初期値: 255.255.255.0)	本商品のLAN2ポートのサブネットマスクを設定します。 [DHCPクライアント] を"オン"にしている場合は、設定不要です。
ルーティング		本商品と異なるセグメントの機器と通信するためのルーティング・テーブルを設定します。ルーティングの設定が必要ない場合は、設定不要です。 ルーティングについては、以下を参照してください。 ☐ P.4-40 「ルーティング設定」
ネットワークアドレス - 1		接続するネットワークのアドレスを設定します。 <入力例: 210.173.163.178>
サブネットマスク - 1		接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。 <入力例: 255.255.255.0>
ゲートウェイアドレス - 1		接続するネットワークのゲートウェイのIPアドレスを設定します。 <入力例: 192.168.1.50>
ネットワークアドレス - 2		2つ目のルーティング・テーブルを設定します。
サブネットマスク - 2		
ゲートウェイアドレス - 2		

4  
コンピュータから設定する

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
DNSサーバ		ファームウェアのアップデートのために、DNSサーバアドレスを設定します。
アドレス		G/W装置に登録されているDNSサーバアドレスと同じアドレスを設定します。 <入力例：221.184.25.26>
SIP設定		<p><b>ポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [SIP設定] 項目を設定するためには、G/W装置の設定を確認する必要があります。確認方法は、G/W装置の取扱説明書を参照してください。</li> <li>• [SIP設定] 項目を手動設定した場合は、DHCPで自動取得する設定値より優先されます。</li> <li>• SIPサーバアドレスや内線番号を入力するときは、数字の前に0を付けないでください。 (例："01" (アドレスの場合は"001"など)のように数字の前に0が付いた数値は入力できないため、"1"と入力します。)</li> </ul>
SIPサーバアドレス		LAN1ポートの[DHCPクライアント]を"オフ"にしている場合に設定する必要があります。 G/W装置で設定されているSIPサーバアドレスを確認して設定します。<入力例：192.168.1.2>
SIPサーバポート番号	1~65535 (初期値：5060)	LAN1ポートの[DHCPクライアント]を"オフ"にしている場合に設定する必要があります。 G/W装置で設定されているSIPサーバポートを確認して設定します。
SIPドメイン	<半角英数カナ記号：128バイト>	LAN1ポートの[DHCPクライアント]を"オフ"にしている場合に設定する必要があります。 G/W装置で設定されている内線REGISTERドメインを確認して設定します。 <入力例：ntt-west.ne.jp>
内線番号	2桁以下 <1-99>	LAN1ポートの[DHCPクライアント]を"オフ"にしている場合に設定する必要があります。 G/W装置で本商品の内線番号を登録してから、登録した内線番号と同じ番号を入力します。  <b>注意</b> 内線番号は必ずG/W装置の設定と合わせてください。他機器で使用している内線番号を本商品に設定すると他機器の通信通話ができなくなる可能性があります。
通知番号	発信番号 - 電話番号1 発信番号 - 電話番号2 発信番号 - 電話番号3 発信番号 - 電話番号4 発信番号 - 電話番号5 ユーザ設定 <0-9,*,#: 16桁以下>	[番号通知]が"通知"の場合に、送信時に通知する番号をラジオボタンで選択します。 G/W装置で通信が可能になると、登録されている番号が表示されます。 "ユーザ設定"では、通知する電話番号を入力します。
発信リトライ回数	0~15回 (初期値：3回)	発信に失敗したときに、再発信(リトライ)する回数を設定します。0回にした場合、再発信を行いません。
発信リトライ間隔	1~5分 (初期値：3分)	再発信(リトライ)する間隔を設定します。
番号通知	通知/非通知/非設定	送信時に番号を通知するかを設定します。  <b>ポイント</b> 送信時の番号通知は、G/W装置の設定も確認してください。
ユーザID		G/W装置とのダイジェスト認証を行う場合に、G/W装置で設定されているユーザIDとパスワードを入力します。
パスワード		

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
印刷設定		送信時に印刷指定されたファイルを受信したときにプリンタとして使用する機器を設定します。 <b>ポイント</b> 印刷設定を行わない場合、送信時に[印刷]設定されたファイルを受信しても、ファイルとして保存されます。
IPアドレス		プリンタとして使用する機器のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.100> <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷設定 (プリンタ) を利用しない場合は、[IPアドレス] を空欄にしてください</li> <li>IPアドレスを入力するときは、数字の前に 0 を付けないでください。 (例：“001” や “01” のように数字の前に 0 が付いた数値は入力できないため、“1” と入力します。)</li> </ul>
A3用紙	有効/無効	印刷に使用可能な用紙サイズを設定します。
A4用紙	有効/無効	
B4用紙	有効/無効	
B5用紙	有効/無効	
スキャナ設定		
IPアドレス		EWB対応デジタル複合機 <DPWS対応スキャナ>のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.100> <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スキャナを利用しない場合は、[IPアドレス] を空欄にしてください</li> <li>IPアドレスを入力するときは、数字の前に 0 を付けないでください。 (例：“001” や “01” のように数字の前に 0 が付いた数値は入力できないため、“1” と入力します。)</li> </ul>
カラーモード	白黒/ <u>カラー</u> /グレースケール	EWB対応デジタル複合機からスキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示されるカラーモードの初期値を設定します。
解像度	600/400/ <u>300</u> /200 (dpi)	EWB対応デジタル複合機からスキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示される解像度の初期値を設定します。
RADF装着	有/無	EWB対応デジタル複合機からスキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示される自動両面原稿送り装置の初期値を設定します。 “無”を設定すると、両面の原稿の読み込みには、[設定/スキャン] 画面の設定が必要になります。
送信先処理	<u>印刷</u> /保存/印刷+保存	EWB対応デジタル複合機からスキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示される送信先処理の初期値を設定します。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
パスワード設定		<b>注意</b> パスワードは、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
ユーザパスワード		
パスワード	<半角英数：128バイト> (初期値：user)	本商品にアクセスするユーザのパスワードを設定します。 <b>ポイント</b> パスワード入力欄には、128バイトまで入力できます。入力欄に表示されるパスワードの桁数は、実際のパスワードの桁数と異なる場合があります。
パスワードの確認入力	<半角英数>	確認のため、パスワードを入力します。
管理者パスワード		
パスワード	<半角英数：128バイト> (初期値：admin)	本商品にアクセスする管理者のパスワードを設定します。 <b>ポイント</b> パスワード入力欄には、128バイトまで入力できます。入力欄に表示されるパスワードの桁数は、実際のパスワードの桁数と異なる場合があります。
パスワードの確認入力	<半角英数>	確認のため、パスワードを入力します。

## ■ [詳細設定] 画面

各項目の設定を登録する場合は、[適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動してください。  
設定項目の入力値が誤っていたり、入力漏れがある場合、入力欄が赤く表示されます。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
ルータ先設定		送信先番号の機器が本商品の通信方式に対応していない場合、送信データが条件を満たして、T.37オフランプゲートウェイ対応デジタル複合機を指定されていれば、データ変換を行いG3ファクス送信します。
T.37オフランプ	有効/無効	データ変換を行う場合は、“有効”に設定します。
ポート番号	1~65535 (初期値：25)	T.37オフランプゲートウェイ対応デジタル複合機のポート番号を入力します。通常“25”を利用しますが、ネットワーク環境により異なる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
メールアドレス	<512バイト> (初期値：fn-1000@local)	T.37オフランプゲートウェイ機能はSMTPサーバを利用するため、メールの送信元を入力します。 [メールアドレス]@メールサーバ名.ドメイン <入力例：fn-1000@local>
件名	<512バイト> (初期値：fax-send)	T.37オフランプゲートウェイ機能はSMTPサーバを利用するため、メールの件名(任意)を入力します。 <入力例：fax-send>
本文	<512バイト> (初期値：This is a test mail.)	T.37オフランプゲートウェイ機能はSMTPサーバを利用するため、メールの本文(任意)を入力します。 <入力例：This is a test mail.>
MFPアドレス	<512バイト>	データ変換を行うT.37オフランプゲートウェイ対応デジタル複合機のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.200>  <b>注意</b> MFPアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けないでください。 (例：“001”や“01”のように数字の前に0が付いた数値は入力できないため、“1”と入力します。)
タイムアウト	0~99999 (初期値：1000 秒)	データ変換を行うT.37オフランプゲートウェイ対応デジタル複合機の応答待ちの時間を設定します。
リトライ間隔	0~99999 (初期値：1000 秒)	リトライ間隔を設定します。
リトライ回数	0~99999 (初期値：3回)	リトライ回数を設定します。
ドメイン名	<64バイト> (初期値：@local)	T.37オフランプゲートウェイ対応デジタル複合機が所属するドメイン名を設定します。 <入力例：@local>
発信制限		
発信規制番号	<0-9,*,#>	発信を規制する番号を“.”(カンマ)区切りで入力します。“*”をワイルドカードとして登録することはできません。規制する電話番号がすべて10桁の場合は11件、11桁の電話番号が1件以上含まれ、残りが10桁の場合は10件まで登録することができます。 <入力例：0000001111,0000001112,0000002222>  <b>注意</b> 入力されている番号と完全一致した場合のみ発信を制限します。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
受信制限		
電話帳登録番号から受信		
最大受信サイズ	0~2000 (MB) (初期値：200 MB)	電話帳に登録されている番号からの受信制限を設定します。 最大受信サイズを超えたファイルは受信しません。 最大印刷枚数は、1ファイルあたりの枚数です。枚数を超えたファイルの印刷は行いません。 設定値を0に設定した場合、受信または印刷を行いません。
強制白黒印刷	有効/無効	
最大印刷枚数	0~999 (枚) (初期値：999 枚)	
未登録番号から受信		
最大受信サイズ	0~2000 (MB) (初期値：200 MB)	未登録番号からの受信制限を設定します。 最大受信サイズを超えたファイルは受信しません。 最大印刷枚数は、1ファイルあたりの枚数です。枚数を超えたファイルの印刷は行いません。 設定値を0に設定した場合、受信または印刷を行いません。
強制白黒印刷	有効/無効	
最大印刷枚数	0~999 (枚) (初期値：999 枚)	
着信拒否番号登録	<0-9,*,#>	受信を規制する番号を", " (カンマ) 区切りで入力します。 32件 (電話番号が10桁または11桁の場合) まで登録することができます。 "*"をワイルドカードとして登録することはできません。 入力例：0000008888,0000008899,0000009988 <b>注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>着信拒否を有効にするため、本商品には専用の着信番号を割り当てて使用することをお勧めします。</li> <li>本商品と同一の着信番号でアナログ機器を使用する場合は、着信拒否番号を設定できるアナログ機器のときは、本項目に設定する番号と同一の番号を着信拒否番号として設定してください。</li> </ul>
非通知着信拒否	有効/無効	番号非通知の着信を拒否する設定をします。 <b>注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>着信拒否を有効にするため、本商品には専用の着信番号を割り当てて使用することをお勧めします。</li> <li>本商品と同一の着信番号でアナログ機器を使用する場合は、番号非通知の着信を拒否することができるアナログ機器のときは、番号非通知の着信を拒否する設定にしてください。</li> </ul>
送受信設定		
誤送信防止		
電話番号の2回入力	有効/無効	入力ミスによる誤送信を防止するため、宛先番号を2回入力して送信先番号の確認を行います。
PWD付送信	有効/無効	パスワード付き送信を選択する項目の初期値を設定します。
ハッシュ計算方式		
MD5/SHA1	MD5/SHA1	認証に用いるハッシュ関数のアルゴリズムを設定します。
送受信データ自動削除		
送信済み	0~2000日 (初期値：1日)	送信済みのデータを自動的に削除する日数を設定します。 0日に設定した場合、1時間以内に削除します。
未送信データ	1~2000日 (初期値：30日)	
未確認ファイル受信データ	1~2000日 (初期値：90日)	データを自動的に削除する日数を設定します。
確認済ファイル受信データ	1~2000日 (初期値：30日)	
印刷済データ	1~2000日 (初期値：1日)	



項目名	設定値 (初期値: 下線) <空欄: 初期値なし>	説明
メール通知		データ受信時や以下の異常発生時にメールで通知します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタ接続エラー</li> <li>スキャナ (DPWS) 接続エラー</li> <li>メモリ (送信データ/受信データ) 残量不足</li> <li>外部サーバ接続エラー</li> <li>ネットワーク接続エラー</li> <li>システム起動エラー (一部)</li> <li>MACアドレス不正 (セキュリティ関連)</li> </ul>
SMTPクライアント設定		
SMTPサーバアドレス	<512バイト>	SMTPサーバ名またはSMTPサーバのIPアドレスを設定します。  OCNのSMTPサーバ名を設定する場合、smtp.vcの後にメールアドレスの@の右側部分を入力します。 <入力例: smtp.vcxxxx.ocn.ne.jp>  <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>SMTPサーバ名で設定する場合は、[ネットワーク設定]の [DNS サーバ] を設定する必要があります。</li> <li>DNSサーバを利用できない場合は、SMTPサーバのIPアドレスを入力してください。</li> <li>デフォルトゲートウェイとは異なるゲートウェイ側にSMTPサーバが存在する場合、[ネットワーク設定]の [ルーティング設定] でルーティングの設定を行う必要があります。</li> </ul>
SMTP AUTHログイン名		SMTPサーバにログインするためのユーザ名を設定します。  <b>注意</b>  SMTPサーバにログインするときが必要となります。
SMTP AUTHパスワード		SMTPサーバにログインするためにパスワードが必要な場合は、パスワードを設定します。
ポート番号	1~65535 (初期値: 587)	SMTPサーバのポート番号を入力します。SMTP AUTHの場合、通常"587"を利用しますが、ネットワーク環境により異なる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 <入力例: 587>
認証	SMTP(認証無し) / <u>SMTP_AUTH</u>	SMTPサーバにログインするときの認証を設定します。
着信通知設定		
通知先メールアドレス		通知するユーザのメールアドレスを入力します。 <[メールアドレス]@メールサーバ名.ドメイン>
障害発生時のメール通知	1回/日 / する / <u>しない</u>	障害発生時にメール通知するか設定します。 "1回/日"に設定した場合、1日に1回だけ障害発生内容を通知します。
ファイル受信時のメール通知	する / <u>しない</u>	ファイル受信時にメール通知するか設定します。
送信エラー発生時のメール通知	する / <u>しない</u>	送信エラー発生時にメール通知するか設定します。

---

## ■ [登録] 画面

### [電話帳] 画面

電話帳に登録されている内容を確認できます。電話帳の登録手順は、以下を参照してください。

📄 P.4-20 「電話帳を登録する」

### [グループ] 画面

グループに登録されている内容を確認できます。グループの登録手順は、以下を参照してください。

📄 P.4-24 「グループを登録する」

## □ [ワンステップ送信設定] 画面

各項目の設定を登録する場合は、[適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動してください。  
設定項目の入力値が誤っていたり、入力漏れがある場合、入力欄が赤く表示されます。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
共有フォルダ設定		
サーバ名	<半角英数：15 バイト> (初期値：FN-1000)	本商品をワークグループまたはドメインに登録するための名称 (サーバ名) を設定します。  <b>ポイント</b> 15バイトを超えるサーバ名は、ネットワーク環境により正しく送受信できなくなる場合があります。
ワークグループ名	<半角英数：15 バイト> (初期値：Workgroup)	本商品が所属するワークグループ名、またはドメイン名を設定します。
IPアドレス		フォルダにアクセスするデジタル複合機のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.200>  <b>ポイント</b> IPアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けないでください。 (例："001"や"01"のように数字の前に0が付いた数値は入力できないため、"1"と入力します。)
#1フォルダ設定		
フォルダ名	01_xxxxxxxx <32バイト>	ワンステップ送信に使用するフォルダの名称を設定します。 フォルダ名は、最初の3バイト (半角数字2文字 + アンダーバー) に続くフォルダ名 (最大32バイト) を入力欄に入力します。最初の3バイトの数字部分は、設定するフォルダごとに異なります。 入力欄に"office01"を設定した場合、フォルダ名は"01_office01"となります。  <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>OSで禁止されている文字数や文字 ¥ / : * ? " &lt; &gt;   など をフォルダ名に設定できません。</li> <li>32バイトを超えるフォルダ名は、ネットワーク環境により正しく送受信できなくなる場合があります。</li> </ul>
電話番号1	<0-9,*,#: 16桁以下>	フォルダに保存されたデータを自動的に送信する宛先番号を設定します。宛先番号は、1つのフォルダに対して8件まで登録することができます。
電話番号2		
電話番号3		
電話番号4		
電話番号5		
電話番号6		
電話番号7		
電話番号8		
送信先処理の指定	印刷/保存/印刷+保存	送信先処理を指定します。
パスワード	<半角英数記号：128バイト>	ワンステップ送信するときに、パスワード付で送信する場合に設定します。  <b>ポイント</b> 設定したパスワードは、送信先に連絡してください。本商品には、送信先指定フォルダに設定されているパスワードだけを送信先に連絡する機能はありません。
#2 ~ #20フォルダ設定 <設定項目は「#1フォルダ設定」と同じ>		

## ■ [メンテナンス] 画面

各項目の設定を登録する場合は、[適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動してください。  
設定項目の入力値が誤っていたり、入力漏れがある場合、入力欄が赤く表示されます。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
送受信データ保存先設定		
保存場所切り替え		
保存場所	BOX内部CF/外部サーバ	送受信データを保存するフォルダの切り替えを行います。切り替えを行うと、使用しているフォルダに保存されているデータも切り替え先にコピーします。 <b>注意</b> 外部サーバからBOX内部CFに保存場所を切り替えた場合、外部サーバ内のファイルがBOX内部CFの容量より大きい場合など、コピーできない場合があります。
外部サーバ設定		
送受信データを保存する外部サーバを設定します。		
サーバ名	<半角英数：15 バイト>	フォルダを登録するサーバのIPアドレスを設定します。DNSサーバを利用できる場合は、外部サーバのサーバ名を入力します。 <IPアドレスの入力例：192.168.1.250> <サーバ名の入力例：host01> <b>ポイント</b> 15バイトを超えるサーバ名は、ネットワーク環境により正しく送受信できなくなる場合があります。
共有フォルダ名	<半角英数：15 バイト>	外部サーバの共有フォルダ名を設定します。 <入力例：data> <b>ポイント</b> 15バイトを超えるフォルダ名は、ネットワーク環境により正しく送受信できなくなる場合があります。
ユーザ名		外部サーバにアクセスできるユーザ名とパスワードを入力します。
パスワード	<半角英数記号：128バイト>	
パスワードの確認入力	<半角英数記号：128バイト>	
電話帳管理		
電話帳登録件数	<表示のみ>	登録されている電話帳の件数を表示します。
グループ登録件数	<表示のみ>	登録されているグループの件数を表示します。
[電話帳インポート] ボタン [電話帳のエクスポート] ボタン		電話帳とグループの情報をエクスポートまたはインポートします。 インポートの場合は、[参照] ボタンをクリックして保存されている電話帳のファイルを選択します。 <b>注意</b> 電話帳をインポートすると、すでに登録されている電話帳を上書きします。インポートする前に、上書きしても問題ないか確認してから作業を行ってください。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本商品からエクスポートまたはインポートできる電話帳は、[種別]、[ID]、[表示名]、[名称]、[電話番号/ID]をカンマで区切ったCSV形式のファイルとなります。</li> <li>電話帳を新規作成する場合は、エクスポートしたファイルを用いて、[メモ帳]などのテキストエディタで編集すると便利です。</li> </ul>

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
[ワンステップ送信設定インポート] ボタン [ワンステップ送信設定エクスポート] ボタン		ワンステップ送信の設定情報をエクスポートまたはインポートします。 インポートの場合は、[参照] ボタンをクリックして保存されているワンステップ送信設定のファイルを選択します。 <b>注意</b> ワンステップ送信のフォルダ設定をインポートすると、すでに登録されているワンステップ送信のフォルダ設定を上書きします。インポートする前に、上書きしても問題ないか確認してから作業を行ってください。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本商品からエクスポートまたはインポートできるワンステップ送信のフォルダ設定は、[設定番号]、[フォルダ名]、[モード]、[パスワード]、[電話番号1]、[電話番号2]、[電話番号3]、[電話番号4]、[電話番号5]、[電話番号6]、[電話番号7]、[電話番号8]をカンマで区切ったCSV形式のファイルとなります。</li> <li>ワンステップ送信のフォルダ設定を新規作成する場合は、エクスポートしたファイルを用いて、[メモ帳]などのテキストエディタで編集すると便利です。</li> </ul>
設定情報の保存と復元		
[設定情報の復元]ボタン		保存されている設定情報を復元します。 復元する場合は、[参照] ボタンをクリックして保存されている設定情報のファイルを選択します。
[設定情報の保存]ボタン		設定情報を保存します。
設定の初期化		
[工場出荷設定に戻す]ボタン		工場出荷時の設定に初期化します。
ファームウェア更新		
現在のバージョン	<表示のみ>	ファームウェアのバージョンを表示します。
ファイル指定		
[参照] ボタン		ファームウェアのデータファイルを指定してアップデートします。
[更新] ボタン		
アップデート設定		
自動更新確認	する/しない	インターネット上のサーバにファームウェアの更新データがあるか自動的に確認します。
自動更新	する/しない	インターネット上のサーバにファームウェアの更新データが存在した場合、ファームウェアを自動的に更新するか設定します。
手動アップデート		
現在のファームウェア状態	<表示のみ>	現在のファームウェアと、インターネット上のサーバにあるファームウェアを確認して更新が必要が表示します。
	[更新確認] ボタン	インターネット上のサーバにファームウェアの更新データがあるか確認します。
	[ファームウェア更新] ボタン	インターネット上のサーバにファームウェアの更新データが存在した場合、ボタンが有効になります。 ボタンをクリックすると、ファームウェアを更新します。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
日時設定		
日時設定	手動/自動 YY年MM月DD日hh時mm分	日時の設定方法を設定します。 手動に設定した場合に日時を設定します。 YY:年 (西暦の下2桁) MM:月 DD:日 hh:時 mm:分
[設定]ボタン		<b>ポイント</b> 日時の入力、正しい数値の範囲で入力してください。
PINGテスト		
宛先IPアドレス		pingテストに対して応答するか設定します。 pingで確認したい宛先のIPアドレスを入力し、[実行] ボタンで実行します。
[実行]ボタン		<b>ポイント</b> IPアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けないでください。 (例: "001" や "01" のように数字の前に0が付いた数値は入力できないため、"1"と入力します。)
PING実行結果	<表示のみ>	pingの実行結果を表示します。
機器再起動		
[再起動]ボタン		本商品を再起動します。
ライセンス情報		
[ライセンス情報]ボタン		オープンソースソフトウェアのライセンス情報を表示します。

## ■ [ログ管理] 画面

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
送信ログ		
[ダウンロード]ボタン		送信ログをCSV形式にして、ZIP圧縮したファイルでダウンロードします。
受信ログ		
[ダウンロード]ボタン		受信ログをCSV形式にして、ZIP圧縮したファイルでダウンロードします。
SIPログ		
SIPログ	<表示のみ>	SIP関係のログを表示します。
[ダウンロード]ボタン		SIPログをCSV形式にして、ZIP圧縮したファイルでダウンロードします。
更新ログ		
実行日時	<表示のみ>	ファームウェアの更新日時を表示します。
結果	<表示のみ>	ファームウェアの更新結果を表示します。
旧バージョン	<表示のみ>	更新前のファームウェアのバージョンを表示します。
新バージョン	<表示のみ>	現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
要因	<表示のみ>	手動/自動アップデートの要因を表示します。
更新種別	<表示のみ>	通常/緊急アップデートの更新種別を表示します。
障害ログ		
障害ログ	<表示のみ>	障害ログを表示します。
[ダウンロード]ボタン		障害ログをCSV形式にして、ZIP圧縮したファイルでダウンロードします。

# 印刷設定

本商品と同一のネットワークに接続されたデジタル複合機がPostScript3に対応していれば、プリンタとして使用することができます。ここでは、本商品の印刷設定の方法について説明します。

## 注意

デジタル複合機の機種によっては、PostScript3に対応していても印刷するデータの圧縮形式など違いによって印刷できない場合があります。

## ポイント

印刷設定を行わない場合、送信時に [印刷] 設定されたファイルを受信しても、ファイルとして保存されます。

## ■ プリンタとして使用する機器のIPアドレスを確認する

プリンタとして使用する機器のIPアドレスを確認します。

IPアドレスの確認方法は、各機器に添付されている取扱説明書を参照してください。

項目	アドレス (メモ欄)
プリンタとして使用する機器のIPアドレス	____ - ____ - ____ - ____ 例) 192.168.1.100

## ポイント

OFISTAR H6000をプリンタとして利用する場合は、OFISTAR H6000のIPアドレスを確認します。確認方法は、以下を参照してください。

📖 P.4-44 「OFISTAR H6000のIPアドレスを確認する」

## ■ 印刷設定する

本商品の印刷設定は、[設定/登録] 画面で行います。

## ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

📖 P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。



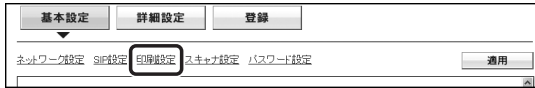
### 2 [基本設定] 画面を開きます。

[基本設定] ボタンをクリックします。



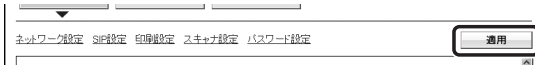


### 3 [印刷設定] 項目を選択して設定します。




項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
印刷設定		
IPアドレス		プリンタとして使用する機器のIPアドレスを設定します。 OFISTAR H6000をプリンタとして利用する場合は、OFISTAR H6000のIPアドレスを入力します。 <入力例：192.168.1.100> <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"><li>印刷設定 (プリンタ)を利用しない場合は、[IPアドレス] を空欄にしてください</li><li>IPアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けないでください。</li></ul>
A3用紙	有効/無効	印刷に使用可能な用紙サイズを設定します。
A4用紙	有効/無効	
B4用紙	有効/無効	
B5用紙	有効/無効	

### 4 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



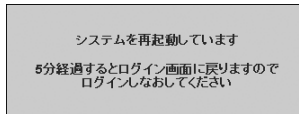
表示される[設定/登録確認] 画面で [OK] ボタンをクリックします。



#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、本商品の印刷設定は終了です。

# 電話帳の登録

ファイル送信の宛先として使用する電話帳を登録します。電話帳の登録は、[設定/登録] 画面で行います。

## ポイント

- 設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。  
📖 P4-2 「管理者権限でログインする」
- 電話帳は最大200件まで登録できます。
- 電話帳に登録した電話番号と名称は、送受信の履歴表示にも使用します。送受信の履歴表示では、電話番号と完全に一致場合のみ、登録した名称が表示されます。ただし、受信履歴の名称表示は、ナンバー・ディスプレイ契約がされていて、発信元の電話番号が認識できた場合のみとなります。

## ■ 電話帳を登録する

### 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。



### 2 [登録] 画面を開きます。

[登録] ボタンをクリックします。



### 3 [電話帳] 画面を開きます。

[電話帳] ボタンをクリックします。



#### 4 [電話帳登録] 画面を開きます。

[新規登録] ボタンをクリックして、[電話帳登録] 画面を開きます。

##### ポイント

電話帳一覧で登録されていない項目をクリックしても、[電話帳登録] 画面を開くことができます。

#### 5 電話帳を作成して登録します。

[ID番号]、[名称]、[電話番号] を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

[ID番号] は、何も入力しない場合は、自動的に番号が割り振られます。

##### ポイント

- [名称]は、全角半角関係なく最大32文字までとなります。  
ただし、本商品のシステムで使用する "<> &" などの文字は使用できません。
- [電話番号]は、半角数字 (最大32バイト) で入力してください。

以上で、電話帳の登録は終了です。

## ■ 電話帳を修正する

- 1 [設定/登録] 画面を開きます。  
[設定/登録] タブをクリックします。



- 2 [登録] 画面を開きます。  
[登録] ボタンをクリックします。



- 3 [電話帳] 画面を開きます。  
[電話帳] ボタンをクリックします。



- 4 修正する項目を選択します。  
修正する項目をクリックして、[電話帳登録] 画面を開きます。



5 登録内容を修正して、[OK] ボタンをクリックします。

電話帳登録

ID番号: 003

名称: 高橋 大輔

電話番号: 0890003333

登録削除    クリア    **OK**    キャンセル

ポイント

- [クリア] ボタンは、入力欄に入力されている内容を消去します。  
[登録削除] ボタンは、表示されている [ID番号] の登録情報を削除します。
- [名称] は、全角半角関係なく最大32文字までとなります。  
ただし、本商品のシステムで使用する "<> &" などの文字は使用できません。
- [電話番号] は、半角数字 (最大32バイト) で入力してください。

6 表示されるメッセージを確認して、[OK] ボタンをクリックします。

上書きする場合	<p>ID番号: 003 名称: 高橋 大輔</p> <p>ID番号003は登録済みです 上書きしますか?</p> <p>OK    キャンセル</p>
削除する場合	<p>ID番号: 003 名称: 高橋 大輔</p> <p>登録内容を削除しますか?</p> <p>OK    キャンセル</p>
クリアする場合	<p>ID番号: 003 名称: 高橋 大輔</p> <p>登録内容をクリアしますか?</p> <p>OK    キャンセル</p>

以上で、電話帳の修正は終了です。

## ■ グループを登録する

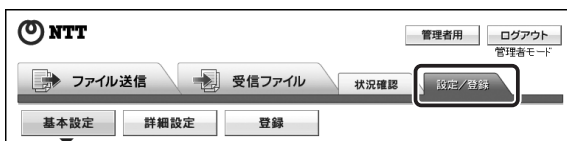
電話帳として登録されている電話番号をグループ分けすることができます。

### ポイント

グループは最大8件まで登録できます。

### 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。



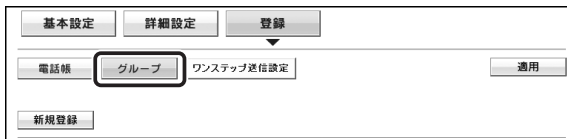
### 2 [登録] 画面を開きます。

[登録] ボタンをクリックします。



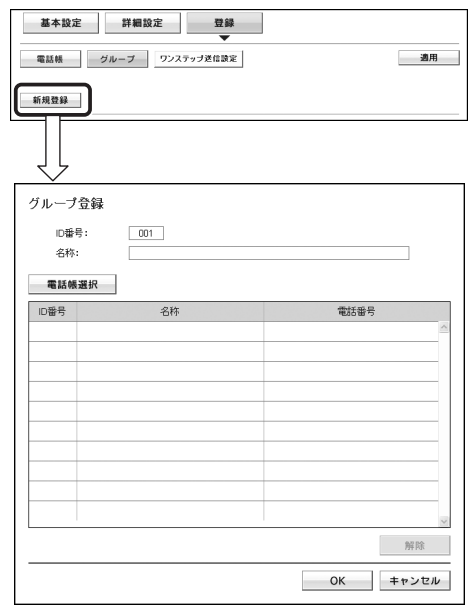
### 3 [グループ] 画面を開きます。

[グループ] ボタンをクリックします。



#### 4 [グループ登録] 画面を開きます。

[新規登録] ボタンをクリックして、[グループ登録] 画面を開きます。

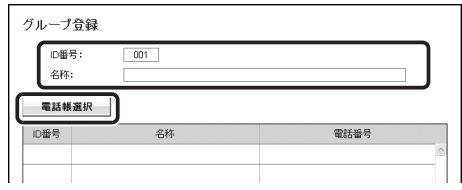


**ポイント**

既に8件のグループが登録されている場合は、新規グループ登録はできません。

#### 5 グループを作成します。

[ID番号] と [名称] を入力し [電話帳選択] ボタンをクリックします。  
[ID番号] は、何も入力しない場合は、自動的に番号が割り振られます。



**ポイント**

[名称] は、全角半角関係なく最大32文字までとなります。  
ただし、本商品のシステムで使用する "<>&" などの文字は使用できません。

## 6 グループ化する項目を選択します。

電話帳から項目を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



ID番号	名称	電話番号
001	佐藤 健太	0600001111
002	鈴木 智子	0520002222
003	高橋 大輔	0890003333
004	田中 陽子	0760004444
005	渡辺 直樹	0820005555
006	伊藤 久美子	0920006666
007	山本 剛	0600007777
008	中村 裕子	0520008888
009	小林 大介	0890009999
010	斎藤 真由美	0760001122

宛先合計: 2 件    **OK**    キャンセル

## 7 グループを登録します。

[OK] ボタンをクリックして登録します。



グループ登録

ID番号:

名称:

電話帳選択

ID番号	名称	電話番号
001	佐藤 健太	0600001111
002	鈴木 智子	0520002222

解除    **OK**    キャンセル

### ポイント

既に登録済みの項目を選択した場合は、[登録削除] ボタンと[クリア] ボタンが [電話帳登録] 画面に表示されます。

- [クリア] ボタンは、入力欄に入力されている内容を消去します。
- [登録削除] ボタンは、表示されている[ID番号]の登録情報を削除します。

以上で、グループの登録は終了です。



## ■ グループを修正する

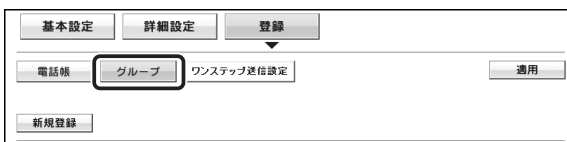
- 1 [設定/登録] 画面を開きます。  
[設定/登録] タブをクリックします。



- 2 [登録] 画面を開きます。  
[登録] ボタンをクリックします。



- 3 [グループ] 画面を開きます。  
[グループ] ボタンをクリックします。



- 4 修正する項目を選択します。  
修正する項目をクリックして、[グループ登録] 画面を開きます。



## 5 登録内容を修正します。

グループ登録

ID番号:

名称:

電話帳選択

ID番号	名称	電話番号
005	渡辺 直樹	0820005555
006	伊藤 久美子	0920006666

解除

登録削除    クリア    OK    キャンセル

### ポイント

[名称]は、全角半角関係なく最大32文字までとなります。

ただし、本商品のシステムで使用する "<>&" などの文字は使用できません。

## 6 グループから項目を削除する場合は、選択してから [解除] ボタンをクリックします。

グループ登録

ID番号:

名称:

電話帳選択

ID番号	名称	電話番号
005	渡辺 直樹	0820005555
006	伊藤 久美子	0920006666

解除

登録削除    クリア    OK    キャンセル

**7** グループに新規項目を追加する場合は、[電話帳選択] ボタンをクリックします。

新規項目を追加する手順は、登録と同じ手順です。  
電話帳から電話番号を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

グループ登録

ID番号:

名称:

**電話帳選択**

ID番号	名称	電話番号
005	渡辺 直樹	0820005555
006	伊藤 久美子	0920006666

解除

登録削除    クリア    **OK**    キャンセル

**8** [グループ登録] 画面の [OK] ボタンをクリックします。

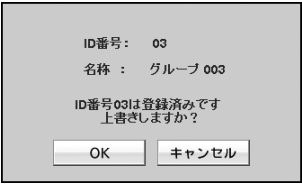
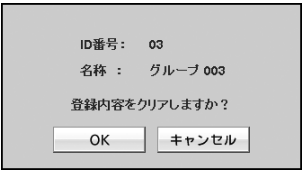
解除

登録削除    クリア    **OK**    キャンセル

**ポイント**

[クリア] ボタンは、登録されている内容を消去します。  
[登録削除] ボタンは、表示されている [ID番号] の登録情報を削除します。

9 表示されるメッセージを確認して、[OK] ボタンをクリックします。

上書きする場合	 <p>ID番号: 03 名称: グループ 003 ID番号03は登録済みです 上書きしますか? OK キャンセル</p>
削除する場合	 <p>ID番号: 03 名称: グループ 003 登録内容を削除しますか? OK キャンセル</p>
クリアする場合	 <p>ID番号: 03 名称: グループ 003 登録内容をクリアしますか? OK キャンセル</p>

以上で、グループの修正は終了です。

# 電話帳のエクスポート / インポート

[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス]メニューから、本商品に登録されている電話帳データをエクスポートおよびインポートができます。

## ポイント

- 本商品からエクスポートまたはインポートできる電話帳は、[種別], [ID], [名称], [電話番号/ID] をカンマで区切った CSV形式のファイルとなります。
- エクスポートしたファイルは、[メモ帳] などのテキストエディタで編集することができます。
- 電話帳は最大200件まで登録できます。
- グループは最大8件まで登録できます。

## ■ 電話帳をエクスポートする

電話帳のエクスポートは、[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから行います。

## ポイント

電話帳をエクスポートするには、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。

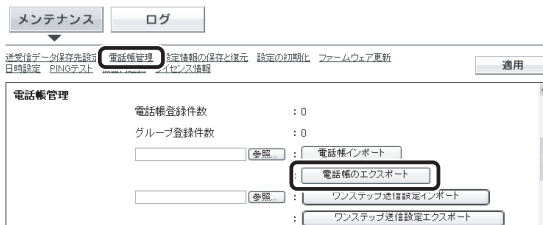


### 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。



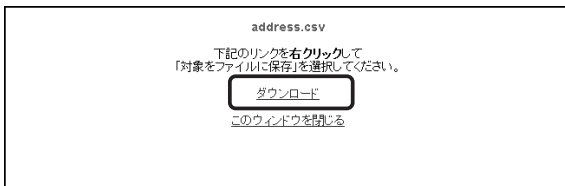
### 3 [電話帳管理] 項目を選択して、[電話帳のエクスポート] ボタンをクリックします。



表示されるダイアログで保存先を指定します。

#### 4 ファイルを保存します。

Internet Explorer：[ダウンロード] を右クリックして「対象をファイルに保存」を選択します。  
Firefox：[ダウンロード] を右クリックして「名前を付けてリンク先を保存」を選択します。



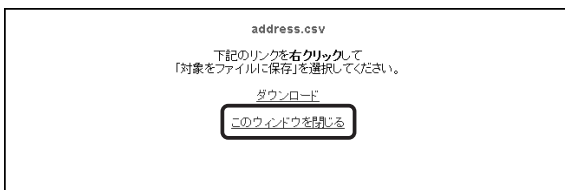
#### 5 名前を付けて保存します。

保存する場所を選択してからファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



#### 6 ダウンロード画面を閉じます。

ダウンロードが完了したら、[このウィンドウを閉じる]をクリックして画面を閉じます。



以上で、電話帳のエクスポートは終了です。

## □ エクスポートした電話帳を編集する

エクスポートした電話帳は、[種別]、[ID]、[名称]、[電話番号/ID]をカンマで区切ったCSV形式のファイルです。ここでは、テキストエディタの「メモ帳」で編集する手順を紹介します。

- 1 「メモ帳」を起動します。
- 2 エクスポートした「電話帳」を開きます。



- 3 「電話帳」を編集します。  
[種別]、[ID]、[名称]、[電話番号/ID]をカンマで区切って入力します。



種別	U	電話帳の識別記号は U です。予め登録されています。
	G	グループの識別記号は G です。予め登録されています。
ID		電話帳またはグループのID番号です。予め登録されています。 ID番号の重複を防ぐため、ID番号は編集/追加しないでください。 電話帳は、200 件（1～200）です。 グループは、8件（1～8）です。
名称		電話帳、またはグループ名を入力します。 名称は、全角半角に関係なく最大32文字までとなります。 ただし、本商品のシステムで使用する "<> &"などの文字は使用できません。
電話番号/ID	種別 = U	電話番号を入力します。 電話番号は、半角数字（最大32バイト）で入力してください。
	種別 = G	グループに登録する電話帳のIDをスペースで区切って入力します。

### ポイント

[名称] または [電話番号/ID] を記入しない状態で、電話帳を登録することはできません。

- 4 上書き保存します。

以上でエクスポートした電話帳の編集は終了です。

## ■ 電話帳をインポートする

電話帳のインポートは、[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから行います。

### 注意

電話帳をインポートすると、すでに登録されている電話帳を上書きします。インポートする前に、上書きしても問題ないか確認してから作業を行ってください。

### ポイント

電話帳をインポートするには、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

📖 P.4-2 「管理者権限でログインする」

## 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。



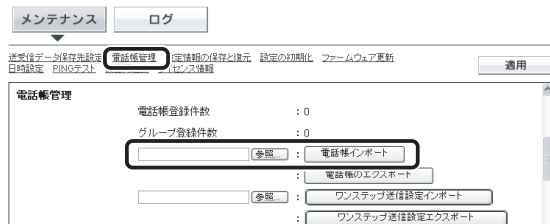
## 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。



## 3 [電話帳管理] 項目を選択して、電話帳をインポートします。

[参照] ボタンをクリックして、インポートする電話帳ファイルを選択してから、[電話帳インポート] ボタンをクリックします。





#### 4 インポートする電話帳とグループを確認します。

内容を確認して [OK] ボタンをクリックします。

アドレス帳インポート

電話帳		
ID番号	名称	電話番号
001	佐藤 健太	0600001111
002	鈴木 智子	0520002222
003	高橋 大輔	0890003333
...	...	...

グループ		
ID番号	グループ名称	登録電話帳ID番号
001	グループ 001	1 2
002	グループ 002	3 4
...	...	...

表示される画面で [OK] ボタンをクリックします。

表示されている内容をインポートします。  
よろしいですか？

以上で、電話帳のインポートは終了です。

## メール通知設定

データファイルを受信した場合や本商品に異常が発生した場合に、登録したメールアドレスにメールで通知することができます。メール通知の設定は、[設定/登録] 画面の [詳細設定] メニューから行います。

### ■ メール通知設定

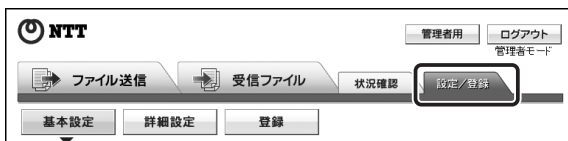
#### ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

📖 P.4-2 「管理者権限でログインする」

#### 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。



#### 2 [詳細設定] 画面を開きます。

[詳細設定] ボタンをクリックします。

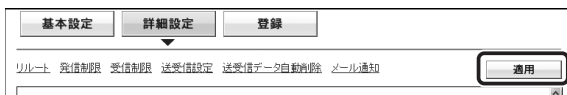


### 3 [メール通知] 項目を選択して設定します。

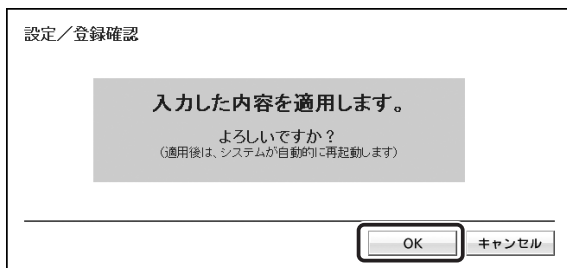
The screenshot shows a configuration window with several tabs: '基本設定' (Basic Settings), '詳細設定' (Detailed Settings), and '登録' (Registration). Below the tabs is a list of settings: 'リルート', '発信制限', '受信制限', '送受信設定', '送受信データ自動削除', 'メール通知', and '適用'. The 'メール通知' option is highlighted with a red box.

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
メール通知		データ受信時や異常が発生した場合に登録したメールで通知します。
SMTPクライアント設定		
SMTPサーバアドレス		SMTPサーバ名またはSMTPサーバのIPアドレスを設定します。  OCNのSMTPサーバ名を設定する場合、smtp.vcの後にメールアドレスの@の右側部分を入力します。 <入力例：smtp.vcxxxx.ocn.ne.jp>  <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>SMTPサーバ名で設定する場合は、[ネットワーク設定] の[DNSサーバ] を設定する必要があります。</li> <li>DNSサーバを利用できない場合は、SMTPサーバのIPアドレスを入力してください。</li> <li>デフォルトゲートウェイとは異なるゲートウェイ側にSMTPサーバが存在する場合、[ネットワーク設定] の[ルーティング設定] でルーティングの設定を行う必要があります。 P.4-40 「ルーティング設定」</li> </ul>
SMTP AUTHログイン名		SMTPサーバにログインするためのユーザ名を設定します。  <b>注意</b>  SMTPサーバにログインするときに必要となります。
SMTP AUTHパスワード		SMTPサーバにログインするためにパスワードが必要な場合は、パスワードを設定します。
ポート番号	1~65535 (初期値：587)	SMTPサーバのポート番号を入力します。SMTP AUTHの場合、通常"587"を利用しますが、ネットワーク環境により異なる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。 <入力例：587>
認証	SMTP(認証無し) / SMTP_AUTH	SMTPサーバにログインするときの認証を設定します。
着信通知設定		
通知先メールアドレス		通知するユーザのメールアドレスを入力します。 <入力例：username@xxxxxx.co.jp>
障害発生時のメール通知	1回/日 / する / <u>しない</u>	障害発生時にメール通知するが設定します。 "1回/日"に設定した場合、1日に1回だけ障害発生内容を通知します。
ファイル受信時のメール通知	する / <u>しない</u>	ファイル受信時にメール通知するが設定します。
送信エラー発生時のメール通知	する / <u>しない</u>	送信エラー発生時にメール通知するが設定します。

#### 4 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



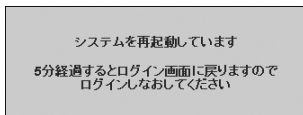
表示される[設定/登録確認]画面で[OK]ボタンをクリックします。



#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、メール通知の設定は終了です。

## ■ 通知するメールの内容

### □ データファイルを受信した場合

送信者と宛先は、[メール通知設定]の入力例

送信者	FN1000@192.168.1.200
宛先	username@xxxxxx.co.jp
件名	FN-1000 受信通知
本文	FN-1000にデータ受信がありました。 日時：(2010-01-01 00:00:00) 管理番号：[管理番号] 送信元番号：[送信元番号] 受信側番号：[受信側番号]

### □ 異常が発生した場合

異常発生時に通知するエラーとメールの本文に記載されるメッセージは次のとおりです。

異常発生時に通知するエラー	メール本文に記載されるメッセージ内容
プリンタ接続エラー	<プリンタ接続エラー> FN-1000の(プリンタ、ネットワーク)設定内容および接続状態を確認してください。
スキャナ (DPWS) 接続エラー	<スキャナ (DPWS) 接続エラー> FN-1000の(スキャナ、ネットワーク)設定内容および接続状態を確認してください。
メモリ (送信データ/受信データ) 残量不足	<データを送受信するためのストレージ領域不足> FN-1000の送受信データ保存領域の不要なファイルを削除してください。
外部サーバ接続エラー	<外部サーバ接続エラー> FN-1000の(送受信データ保存先、ネットワーク)設定内容および接続状態を確認してください。
ネットワーク接続エラー	<ネットワーク接続エラー> FN-1000のネットワーク設定内容および接続状態を確認してください。
システム起動エラー (一部)	<システム起動エラー> FN-1000を再起動してください。
MACアドレス不正 (セキュリティ関連)	<MACアドレス不正 (セキュリティ関連)> FN-1000を再起動してください。

#### ポイント

[メモリ (送信データ/受信データ) 残量不足] は、[送信データ領域]の空き容量が 100 MB 以下、[受信/印刷データ領域]の空き容量が 200 MB 以下の場合に通知されます。

送信者と宛先は、[メール通知設定]の入力例

送信者	FN1000@192.168.1.200
宛先	username@xxxxxx.co.jp
件名	FN-1000 エラー通知
本文	[メッセージ内容]

# ルーティング設定

デフォルトゲートウェイとは異なるゲートウェイからインターネットに接続している場合、SMTP サーバおよびファームウェアのアップデート確認用サーバに接続するためのルーティング設定を行う必要があります。

## ポイント

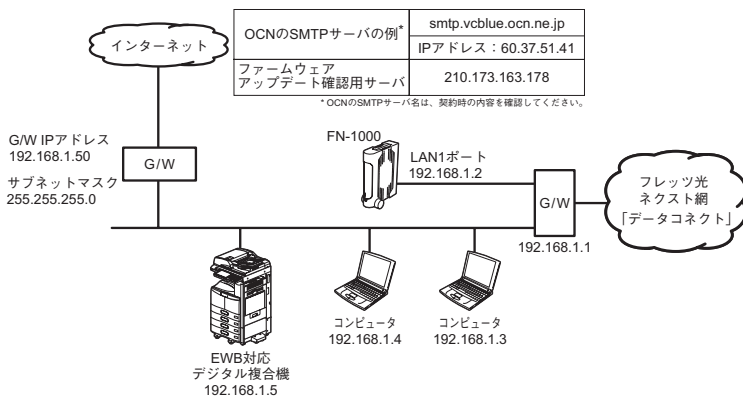
SMTPサーバのIPアドレスは、契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。なお、コマンドプロンプトを起動して、nslookup コマンドを使用して、サーバ名から IPアドレスを確認することも可能です。

☞ P.7-18 「IP アドレスの検索方法 (nslookup コマンド)」

## ■ 設定例

次の設定例を参考に、ルーティングを設定してください。

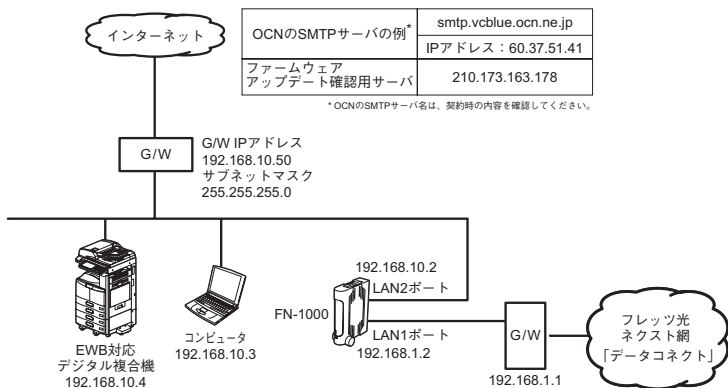
### □ ネットワーク構成1



FN-1000 のLAN1 ポート<192.168.1.2>がG/W 装置<192.168.1.1>を中継してフレッツ光ネット網と接続している環境で、G/W 装置<192.168.1.50>を中継してインターネット、または他のネットワークと通信する場合

項目名	ネットワーク構成1の設定値
ルーティング	
ネットワークアドレス - 1	60.37.61.41
サブネットマスク - 1	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス - 1	192.168.1.50
ネットワークアドレス - 2	210.173.163.178
サブネットマスク - 2	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス - 2	192.168.1.50

## □ ネットワーク構成2



FN-1000 のLAN1 ポート<192.168.1.2>がG/W 装置<192.168.1.1>を中継してフレッツ光ネクスト網と接続している環境で、LAN2 ポート<192.168.10.2>がG/W 装置<192.168.10.50>を中継してインターネット、またはほかのネットワークと通信する場合

項目名	ネットワーク構成2の設定値
ルーティング	
ネットワークアドレス - 1	60.37.61.41
サブネットマスク - 1	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス - 1	192.168.10.50
ネットワークアドレス - 2	60.37.61.41
サブネットマスク - 2	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス - 2	192.168.10.50

## ■ ルーティングの設定

ルーティングの設定は、[設定/登録] 画面の [基本設定] メニューから行います。

### ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

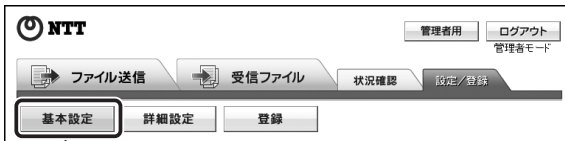
### 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。

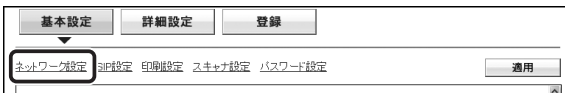


### 2 [基本設定] 画面を開きます。

[基本設定] ボタンをクリックします。



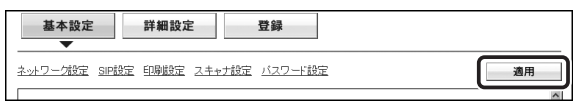
### 3 [ネットワーク設定] 項目を選択して設定します。



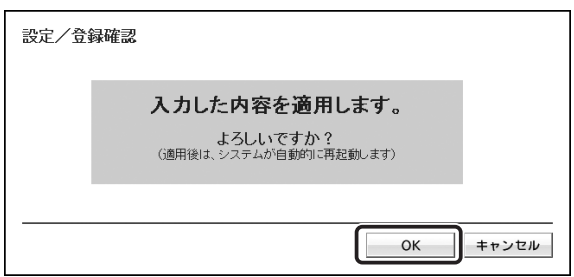
項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
ルーティング		設定例を参考に設定します。
ネットワークアドレス - 1		☞ P.4-41 「ネットワーク構成2」
サブネットマスク - 1		☞ P.4-40 「ネットワーク構成1」
ゲートウェイアドレス - 1		
ネットワークアドレス - 2		
サブネットマスク - 2		
ゲートウェイアドレス - 2		



4 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



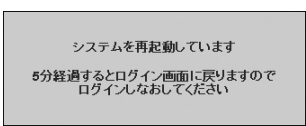
表示される[設定/登録確認] 画面で [OK] ボタンをクリックします。



**ポイント**

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
 P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



**ポイント**

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、ルーティングの設定は終了です。

# EWB対応デジタル複合機の使用設定

EWB対応デジタル複合機の使用するための設定と本商品の設定について説明します。

## ポイント

本商品で動作確認を行ったEWB対応のデジタル複合機については、以下を参照してください。

☞ P.3-3 「動作確認済みEWB対応のデジタル複合機」

## ■ EWB対応デジタル複合機の設定 (OFISTAR H6000)

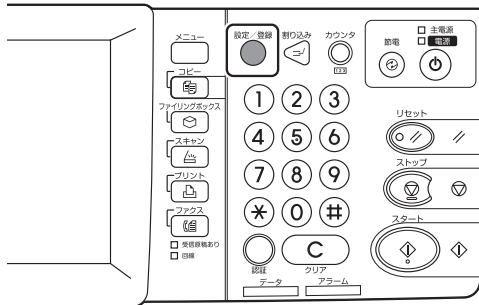
EWB対応デジタル複合機の設定をOFISTAR H6000を例に説明します。

### □ OFISTAR H6000のIPアドレスを確認する

OFISTAR H6000のIPアドレスを確認します。

IPアドレスを確認するには、OFISTAR H6000の管理者が操作パネルで確認する必要があります。

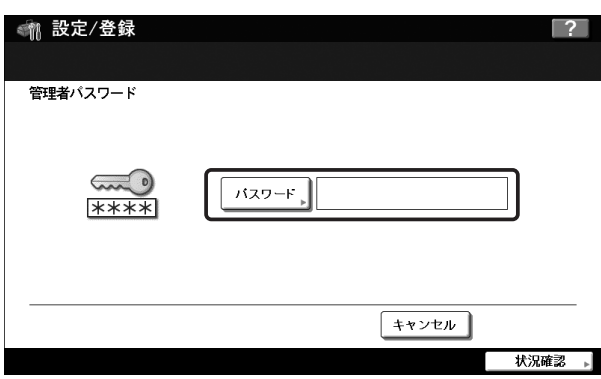
- 1 OFISTAR H6000を起動します。
- 2 操作パネルの [設定/登録] ボタンを押します。  
設定/登録画面が表示されます。



- 3 [管理者設定] タブを押します。  
管理者パスワード入力画面が表示されます。



- 4 管理者パスワードを入力します。  
[パスワード] ボタンを押し、表示される画面にパスワードを入力します。



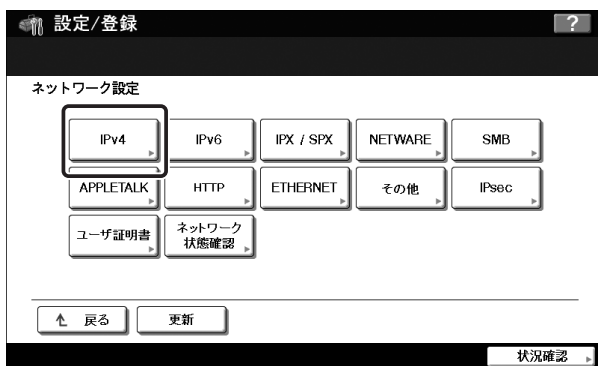
## 5 [ネットワーク設定] ボタンを押します。

ネットワーク設定画面が表示されます。



## 6 [IPv4] ボタンを押します。

IPv4設定画面が表示されます。



## 7 IPアドレスを確認します。

設定/登録

IPv4

アドレス設定方法

自動

自動IPなし

マニュアル

IP アドレス  
192.168. 1.100

サブネットマスク  
255.255.255. 0

ゲートウェイ  
192.168. 1. 1

キャンセル OK

状況確認

項目	アドレス (メモ欄)
OFISTAR H6000のIPアドレス	例) 192.168.1.100

以上で、OFISTAR H6000のIPアドレスの確認は終了です。

引き続き、Webベースの管理ユーティリティを利用して、確認したIPアドレスからOFISTAR H6000の設定画面にアクセスして設定/登録を行います。

## □ OFISTAR H6000の設定

OFISTAR H6000の設定は、Webベースの管理ユーティリティである [TopAccess] から行います。  
OFISTAR H6000でEWB機能を利用するための外部連携オプション <GS-1020> の設定を[TopAccess] の [管理者] ページに管理者がアクセスして設定します

### ポイント

[TopAccess] の操作手順や各項目の詳細については、OFISTAR H6000に添付されているTopAccessの取扱説明書を参照してください。

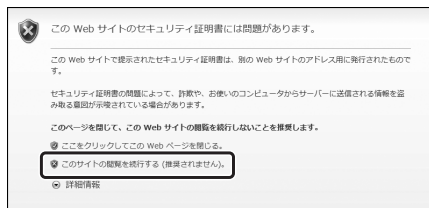
## 1 Web ブラウザを起動して、「http:// [OFISTAR H6000 のIP アドレス]」と入力します。

OFISTAR H6000 のIP アドレスを入力します。

OFISTAR H6000 のIP アドレスが192.168.1.100の場合：http://192.168.1.100

### ポイント

HTTPネットワークサービスでSSLが有効に設定されている場合は、OFISTAR H6000のIP アドレスを入力すると警告メッセージが表示されることがあります。その場合は、[このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）] をクリックして操作を続けてください。

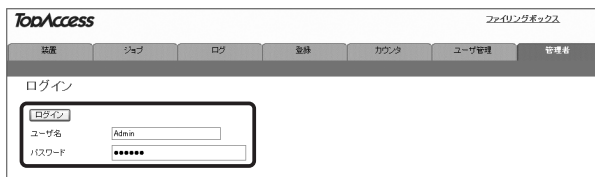


## 2 [管理者] タブをクリックします。



## 3 [パスワード] ボックスに管理者用のパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

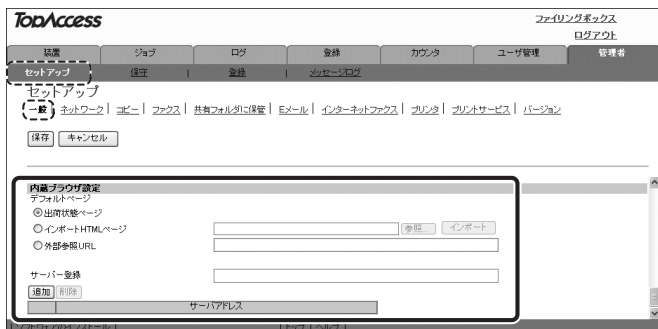
管理者のユーザ名 (Admin) とパスワードでログインします。



### ポイント

管理者パスワードについては、OFISTAR H6000に添付されているTopAccessの取扱説明書を参照してください。

#### 4 [セットアップ]-[一般]の[内蔵ブラウザ設定]項目を表示します。



#### ポイント

外部連携オプション <GS-1020> がインストールされていない場合、[内蔵ブラウザ設定]項目は表示されません。

#### 5 サーバ登録を設定します。

[サーバ登録]の入力欄に、本商品のIPアドレスを入力してから [追加] ボタンをクリックします。

IPアドレスが192.168.1.2の場合：192.168.1.2 と入力します。

サーバ登録	<input type="text" value="192.168.1.2"/>
<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>
サーバアドレス	
<input type="text"/>	

追加が完了すると、[サーバアドレス] にIPアドレスが追加されます。

サーバ登録	<input type="text"/>
<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>
サーバアドレス	
<input type="radio"/>	<input type="text" value="192.168.1.2"/>

#### 6 デフォルトページを設定します。

[外部参照URL] を選択してから、本商品にアクセスするアドレス (http://[IPアドレス]/cgi-bin/mfp/top.cgi) を入力します。

IPアドレスが192.168.1.2の場合：http://192.168.1.2/cgi-bin/mfp/top.cgi

デフォルトページ	
<input type="radio"/> 出荷状態ページ	
<input type="radio"/> インポートHTMLページ	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/> <input type="button" value="インポート"/>
<input checked="" type="radio"/> 外部参照URL	<input type="text" value="http://192.168.1.2/cgi-bin/mfp/top.cgi"/>

## 7 設定を保存します。

[保存] ボタンをクリックして、設定を保存します。



## 8 ログアウトします。

[ログアウト] をクリックして、[管理者] 画面からログアウトします。

以上で、TopAccessによるOFISTAR H6000の設定は終了です。

引き続き、本商品のスキャナ設定を行います。



## ■ 本商品の設定

EWB対応デジタル複合機 (OFISTAR H6000) のスキャナ情報の設定を[設定/登録]画面で行います。

### ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。

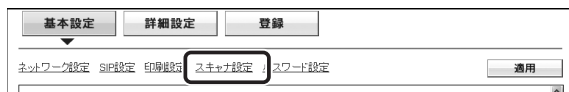


### 2 [基本設定] 画面を開きます。

[基本設定] ボタンをクリックします。



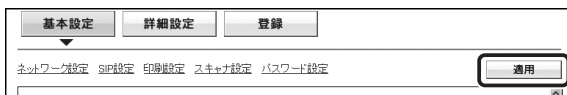
### 3 [スキャナ設定] 項目を設定します。



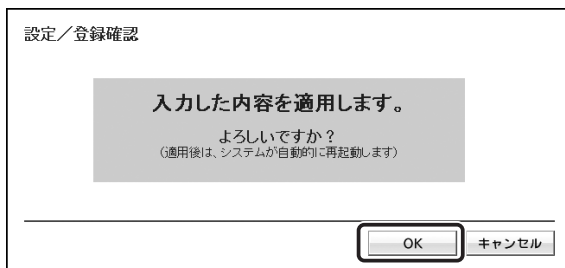
OFISTAR H6000のスキャナ情報の設定は、[IPアドレス] 項目にOFISTAR H6000のIPアドレスを設定すれば、その他の項目は初期値のままで使用できます。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
スキャナ設定		
IPアドレス		EWB対応デジタル複合機 (OFISTAR H6000) のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.100>  OFISTAR H6000のIPアドレスの確認方法は、以下を参照してください。 ☞ P.4-44 「OFISTAR H6000のIPアドレスを確認する」  <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スキャナを利用しない場合は、[IPアドレス] を空欄にしてください</li> <li>IPアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けしないでください。</li> </ul>
カラーモード	白黒/カラー / グレースケール	スキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示されるカラーモードの初期値を設定します。
解像度	600/400/300/200 (dpi)	スキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示される解像度の初期値を設定します。
RADF装着	有/無	スキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示される自動両面原稿送り装置の初期値を設定します。 "無"を設定すると、両面の原稿の読み込みには、[設定/スキャン] 画面の設定が必要になります。
送信先処理	印刷/保存/印刷+保存	スキャンしてファイルを送信する画面 ([設定/スキャン] 画面) に表示される送信先処理の初期値を設定します。

#### 4 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



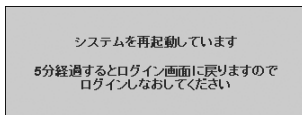
表示される[設定/登録確認] 画面で [OK] ボタンをクリックします。



#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

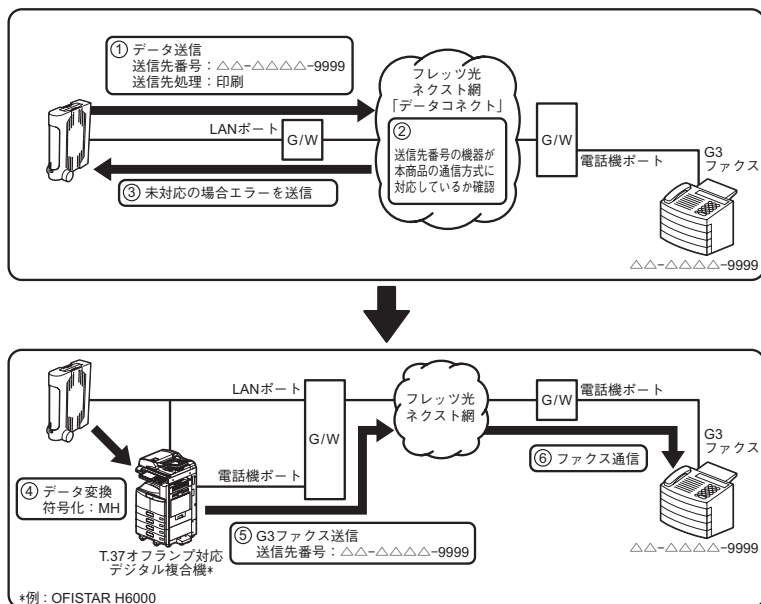
以上で、EWB対応デジタル複合機 (OFISTAR H6000) のスキャナ設定は終了です。

# リルート機能の設定

リルート機能は、ファイル送信したデータを変換して、G3ファックスで送信する機能です。本商品では、フレッツ光ネクストのデータ通信サービス「データコネクト」から電話回線に通信方法を変えるための機能として、「オフランプゲートウェイ」と呼ばれる機能を用います。ここでは、T.37オフランプ対応デジタル複合機の設定をOFISTAR H6000を例に説明します。

本商品には、EWB対応のデジタル複合機でスキャンしたファイルを送信した場合、送信先番号の機器が本商品の通信方式に対応していないとき、データ変換を行いG3ファックス送信するリルート機能があります。リルート機能を利用するには、T.37オフランプ対応のデジタル複合機がアナログ接続（電話機ポートに接続）されていること、送信データが条件を満たしている必要があります。

ここでは、データの条件とT.37オフランプ対応のデジタル複合機の設定、本商品の設定について説明します。



## ■ データの条件

リルート機能で、送信データが以下の条件を満たしている場合に、データ変換を行います。

項目		条件
ファイル形式		TIFF形式
解像度 (画像データ)	カラー/グレースケール	300 dpi以下
	モノクロ	400 dpi以下

### 注意

- リルート機能が有効に設定されていても、送信データが条件を満たしていない場合、G3ファックス送信されません。
- カラーデータは、モノクロデータに変換されます。
- 送信先処理が "印刷" に設定されている必要があります。

4  
コンピュータから設定する

## ■ T.37オフランプ対応デジタル複合機の設定 (OFISTAR H6000)

T.37オフランプ対応デジタル複合機の設定をOFISTAR H6000を例に説明します。

OFISTAR H6000の設定は、Webベースの管理ユーティリティである [TopAccess] から、オフランプゲートウェイ機能の設定を行います。

### ポイント

[TopAccess] の操作手順や各項目の詳細については、OFISTAR H6000に添付されているTopAccessの取扱説明書を参照してください。

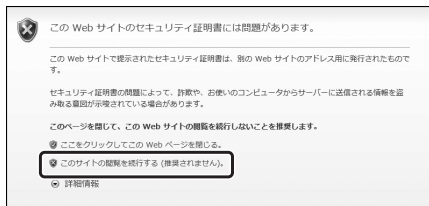
## 1 Web ブラウザを起動して、「http:// [OFISTAR H6000 のIP アドレス]」と入力します。

OFISTAR H6000 のIP アドレスを入力します。

OFISTAR H6000 のIP アドレスが192.168.1.100の場合：http://192.168.1.100

### ポイント

- OFISTAR H6000 のIP アドレスの確認方法は、以下を参照してください。  
P.4-44 「OFISTAR H6000のIPアドレスを確認する」
- HTTPネットワークサービスでSSLが有効に設定されている場合は、OFISTAR H6000 のIP アドレスを入力すると警告メッセージが表示されることがあります。その場合は、[このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] をクリックして操作を続けてください。

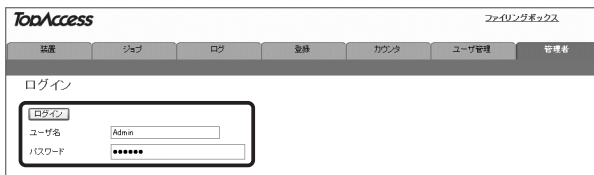


## 2 [管理者] タブをクリックします。



## 3 [パスワード] ボックスに管理者用のパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

管理者のユーザ名 (Admin) とパスワードでログインします。



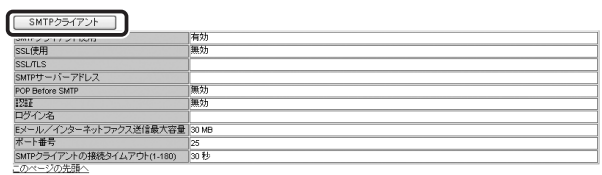
### ポイント

管理者パスワードについては、OFISTAR H6000に添付されているTopAccessの取扱説明書を参照してください。

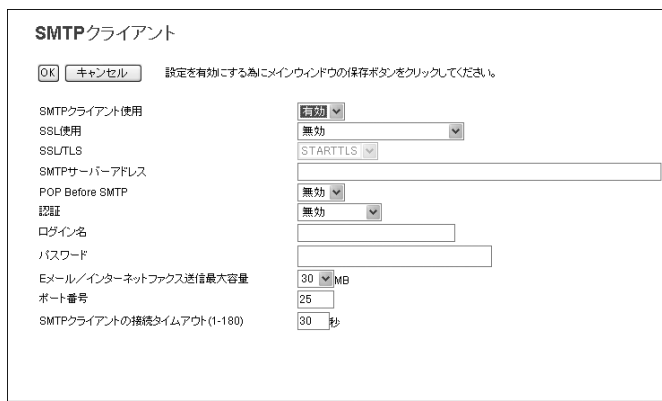
#### 4 [セットアップ]-[ネットワーク]をクリックします。



#### 5 [SMTPクライアント]をクリックします。



#### 6 SMTPクライアントの項目を設定します。



SMTPクライアントの次の項目を設定します。ほかの項目はオフランプゲートウェイ機能では使用しません。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
SMTPクライアント使用	有効/無効	"有効" に設定します。 オフランプゲートウェイ機能を利用するために有効にする必要があります。
SMTPサーバアドレス		本商品のIPアドレス <入力例：192.168.1.2>

## 7 SMTPクライアントの設定を登録します。

設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。

SMTPクライアント

[OK] キャンセル 設定を有効にする為メインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。

SMTPクライアント使用 有効

SSL使用 無効

SSLTLS STARTTLS

SMTPサーバーアドレス 192.168.1.2

POP Before SMTP 無効

認証 無効

ログイン名

パスワード

Eメール/インターネットファクス送信最大容量 30 MB

ポート番号 25

SMTPクライアントの接続タイムアウト (1:180) 30 秒

## 8 [SMTPサーバー] をクリックします。

SMTPサーバー

SMTPサーバー使用 有効

ポート番号 25

Eメールアドレス

Eメール転送使用 無効

オフラインセキュリティ 有効

オフライン印刷 有効

[このページの拡張へ](#)

## 9 SMTPサーバの項目を設定します。

オフラインゲートウェイ機能の設定は、[SMTPサーバー] で設定します。

SMTPサーバー

[OK] キャンセル 設定を有効にする為メインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。

SMTPサーバー使用 有効

ポート番号 25

Eメールアドレス

Eメール転送使用 無効

オフラインセキュリティ 有効

オフライン印刷 有効

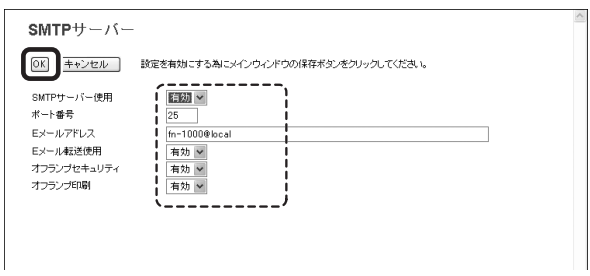
オフラインゲートウェイ機能を利用するには、以下の項目を設定します。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
SMTPサーバー使用	有効/無効	"有効" に設定します。 オフラインゲートウェイ機能を利用するために有効にする必要があります。
ポート番号	1~65535 (初期値：25)	ポート番号を設定します。 通常、"25" を使用します。
Eメールアドレス		FN-1000 で設定されている [リルート先設定] 項目の [メールアドレス] を入力します。 <FN-1000 初期値：fn-1000@local> ☞ P.4-58 「本商品の設定」
Eメール転送使用	有効/無効	"有効" に設定します。 オフラインゲートウェイ機能を利用するために有効にする必要があります。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
オフラインセキュリティ	有効/無効	OFISTAR H6000のアドレス帳に登録されたファクス番号にのみリルートをを行う場合に"有効"に設定します。 有効に設定した場合、OFISTAR H6000のアドレス帳に登録されていない番号には、リルートできません。
オフライン印刷	有効/無効	リルート機能で送信を行う際に、送信される文書をOFISTAR H6000で印刷するかを設定します。有効にすると、リルート機能で送信される文書を自動的に印刷し、どのような文書が送信されたのかを確認できます。

### 10 SMTPサーバの設定を登録します。

設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。



### 11 設定を保存します。

[保存] ボタンをクリックして、設定を保存します。



### 12 ログアウトします。

[ログアウト] をクリックして、[管理者] 画面からログアウトします。

以上で、TopAccessによるOFISTAR H6000の設定は終了です。  
引き続き、本商品のリルート機能の設定を行います。

## ■ 本商品の設定

本商品のリルード機能の設定は、[設定/登録]画面の[詳細設定]メニューから行います。

### ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

📖 P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録]画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。

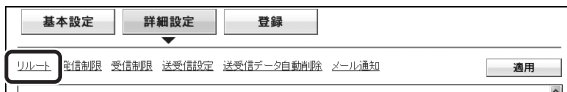


### 2 [詳細設定]画面を開きます。

[詳細設定] ボタンをクリックします。



### 3 [リルード]項目を選択して設定します。



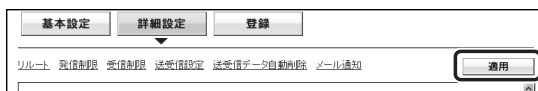
OFISTAR H6000のリルード機能は、[T.37 オフランプ]項目と[MFPアドレス]項目に設定すれば、その他の項目は初期値のままで使用できます。

項目名	設定値 (初期値: 下線) <空欄: 初期値なし>	説明
リルード先設定		
T.37オフランプ	有効/無効	データ変換を行う場合は、“有効”に設定します。
ポート番号	1~65535 (初期値: 25)	T.37オフランプゲートウェイ対応デジタル複合機のポート番号を入力します。通常“25”を利用しますが、ネットワーク環境により異なる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
メールアドレス	<512バイト> (初期値: fn-1000@local)	T.37オフランプゲートウェイ機能はSMTPサーバを利用するため、メールの送信元を入力します。 [メールアドレス]@メールサーバ名.ドメイン <入力例: fn-1000@local>
件名	<512バイト> (初期値: fax-send)	T.37オフランプゲートウェイ機能はSMTPサーバを利用するため、メールの件名を入力します。
本文	<512バイト> (初期値: This is a test mail.)	T.37オフランプゲートウェイ機能はSMTPサーバを利用するため、メールの本文を入力します。

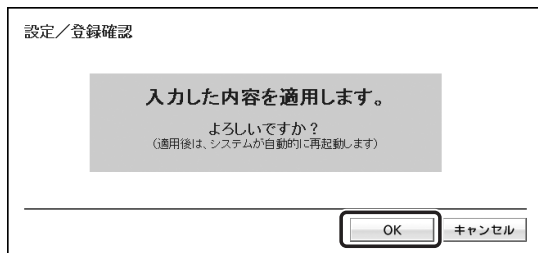


項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
MFPアドレス	<512バイト>	データ変換を行うT.37オフラインゲートウェイ対応デジタル複合機 (OFISTAR H6000) のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.100>  OFISTAR H6000のIPアドレスの確認方法は、以下を参照してください。 ☞ P.4-44 「OFISTAR H6000のIPアドレスを確認する」  <b>ポイント</b>  IPアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けないでください。
タイムアウト	0~99999 (初期値：1000 秒)	データ変換を行うT.37オフラインゲートウェイ対応デジタル複合機の応答待ちの時間を設定します。
リトライ間隔	0~99999 (初期値：1000 秒)	リトライ間隔を設定します。
リトライ回数	0~99999 (初期値：3回)	リトライ回数を設定します。
ドメイン名	<64バイト> (初期値：fax-send)	T.37オフラインゲートウェイ対応デジタル複合機が所属するドメイン名を設定します。 <入力例：@local>

#### 4 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



表示される[設定/登録確認]画面で [OK] ボタンをクリックします。

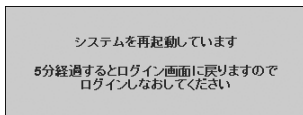


#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。

☞ P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



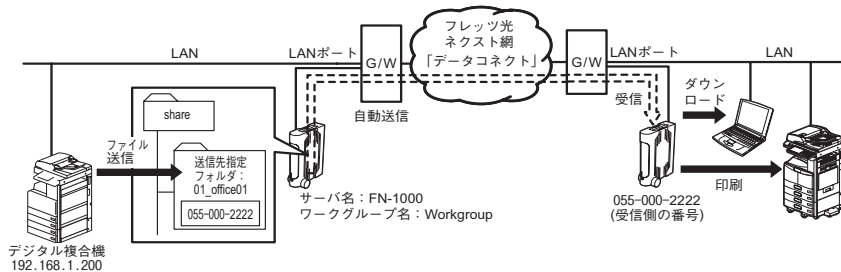
#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、リルート機能の設定は終了です。

## ワンステップ送信の設定

ワンステップ送信するために、本商品にデジタル複合機からアクセスできる送信先指定フォルダの作成やアクセスするデジタル複合機のIPアドレス、送信先番号などの登録設定について説明します。



### ■ デジタル複合機のIPアドレスを確認する

デジタル複合機のIPアドレスを確認します。本商品のフォルダにアクセスするためデジタル複合機のIPアドレスを設定登録する必要があります。

デジタル複合機のIPアドレスの確認方法は、各機器に添付されている取扱説明書を参照してください。

項目	アドレス (メモ欄)
デジタル複合機のIPアドレス	----- 例) 192.168.1.200

### ■ 本商品の設定

送信先指定フォルダの作成や登録設定などは、[登録/設定] 画面から行います。

#### ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

📖 P.4-2 「管理者権限でログインする」

#### 1 [設定/登録] 画面を開きます。

[設定/登録] タブをクリックします。



#### 2 [登録] 画面を開きます。


[登録] ボタンをクリックします。



### 3 [ワンステップ送信]項目を設定します。

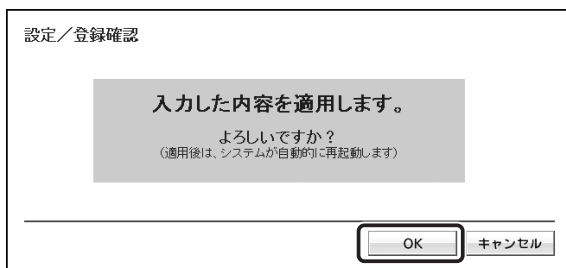
項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
共有フォルダ設定		
サーバ名	<半角英数：15 バイト> (初期値：FN-1000)	本商品をワークグループまたはドメインに登録するための名称 (サーバ名) を設定します。 <b>ポイント</b> 15バイトを超えるサーバ名は、ネットワーク環境により正しく送受信できなくなる場合があります。
ワークグループ名	<半角英数：15 バイト> (初期値：Workgroup)	本商品が所属するワークグループ名、またはドメイン名を設定します。
IPアドレス		フォルダにアクセスするデジタル複合機のIPアドレスを設定します。 <入力例：192.168.1.200> <b>ポイント</b> IPアドレスを入力するときは、数字の前に0を付けないでください。
#1フォルダ設定		
フォルダ名	01_xxxxxxxx <32バイト>	ワンステップ送信に使用するフォルダの名称を設定します。 フォルダ名は、最初の3バイト (半角数字2文字 + アンダーバー) に続くフォルダ名 (最大32バイト) を入力欄に入力します。最初の3バイトの数字部分は、設定するフォルダごとに異なります。 入力欄に"office01"を設定した場合、フォルダ名は"01_office01"となります。 <b>ポイント</b> OSで禁止されている文字数や文字 ¥ / : * ? " < >   など をフォルダ名に設定できません。
電話番号1	<0-9,*,#: 16桁以下>	ワンステップ送信を行うフォルダの作成と宛先の電話番号の設定などを行います。 ワンステップ送信に使用するフォルダの名称を設定します。 フォルダ名は、最初の3バイト (半角数字2文字 + アンダーバー) に続くフォルダ名 (最大32バイト) を入力欄に入力します。最初の3バイトの数字部分は、設定するフォルダごとに異なります。 入力欄に"office01"を設定した場合、フォルダ名は"01_office01"となります。 <b>ポイント</b> OSで禁止されている文字数や文字 ¥ / : * ? " < >   など をフォルダ名に設定できません。 フォルダに保存されたデータを自動的に送信する宛先番号を設定します。宛先番号は、1つのフォルダに対して8件まで登録することができます。
電話番号2		
電話番号3		
電話番号4		
電話番号5		
電話番号6		
電話番号7		
電話番号8		
送信先処理の指定	印刷/保存/印刷+保存	送信先処理を[保存] / [印刷] / [印刷+保存] から指定します。
パスワード	<半角英数記号：128バイト>	ワンステップ送信するときに、パスワード付で送信する場合に設定します。 <b>ポイント</b> 設定したパスワードは、送信先に連絡していただくようお願いいたします。本商品には、送信先指定フォルダに設定されているパスワードを送信先に連絡する機能はありません。
#2～#20フォルダ設定 <設定項目は「#1フォルダ設定」と同じ>		

#### 4 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



The screenshot shows a settings interface with three tabs at the top: '基本設定', '詳細設定', and '登録'. Below the tabs are three sub-sections: '電話番号', 'グループ', and 'ワンステップ送信設定'. The '適用' button is highlighted with a red box. At the bottom, there is a row of 20 numbered buttons from 01 to 20.

表示される[設定/登録確認]画面で [OK] ボタンをクリックします。

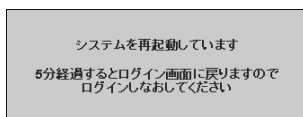


The screenshot shows a dialog box titled '設定/登録確認'. Inside, there is a grey box with the text: '入力した内容を適用します。よろしいですか？ (適用後は、システムが自動的に再起動します)'. At the bottom right, the 'OK' button is highlighted with a red box, and the 'キャンセル' button is also visible.

#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



The screenshot shows a dialog box with the text: 'システムを再起動しています 5分経過するとログイン画面に戻りますので ログインをお待ちください'.

#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、ワンステップ送信の設定は終了です。

## ■ デジタル複合機で設定する

FN-1000の設定を確認します。

ここで確認した設定項目を、デジタル複合機でスキャンした原稿をTIFF形式のファイルで転送（保存）する場所として設定します。

FN-1000での設定項目	(メモ欄)	備考
本商品のIPアドレス		本商品のIPアドレス <設定例：192.168.1.2>
(本商品の) サーバ名		本商品のワークグループまたはドメインに登録するための名称（サーバ名） (初期値：FN-1000)
ルートフォルダ名	share	ルートフォルダ名は、share <固定>です。
[#01フォルダ設定] - [フォルダ名]	01_	ワンステップ送信に使用するフォルダの名称を設定します。 フォルダ名は、最初の3バイト（半角数字2文字 + アンダーバー）に続くフォルダ名（最大32バイト）を入力欄に入力します。 最初の3バイトの数字部分は、設定するフォルダごとに異なります。 [#01フォルダ設定]で入力欄に"office01"を設定した場合、フォルダ名は"01_office01"となります。
[#02フォルダ設定] - [フォルダ名]	02_	
[#03フォルダ設定] - [フォルダ名]	03_	
[#04フォルダ設定] - [フォルダ名]	04_	
[#05フォルダ設定] - [フォルダ名]	05_	
[#06フォルダ設定] - [フォルダ名]	06_	
[#07フォルダ設定] - [フォルダ名]	07_	
[#08フォルダ設定] - [フォルダ名]	08_	
[#09フォルダ設定] - [フォルダ名]	09_	
[#10フォルダ設定] - [フォルダ名]	10_	
[#11フォルダ設定] - [フォルダ名]	11_	
[#12フォルダ設定] - [フォルダ名]	12_	
[#13フォルダ設定] - [フォルダ名]	13_	
[#14フォルダ設定] - [フォルダ名]	14_	
[#15フォルダ設定] - [フォルダ名]	15_	
[#16フォルダ設定] - [フォルダ名]	16_	
[#17フォルダ設定] - [フォルダ名]	17_	
[#18フォルダ設定] - [フォルダ名]	18_	
[#19フォルダ設定] - [フォルダ名]	19_	
[#20フォルダ設定] - [フォルダ名]	20_	

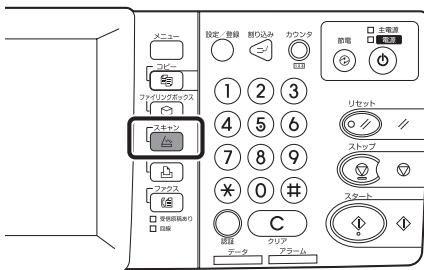
ワンステップ送信は、デジタル複合機でスキャンしたTIFF形式ファイルを [SMB] プロトコルで、送信先指定フォルダに転送（保存）する設定を行います。「テンプレート」や「宛先表登録（短縮宛先登録）」などと呼ばれる項目で、スキャンしたファイルの保存方法などを設定しておくことができます。詳しくは、デジタル複合機の取扱説明書を参照してください。

## □ OFISTAR H6000の操作パネルから操作する

OFISTAR H6000の操作パネルからワンステップ送信する手順を説明します。

### 1 操作パネルの [スキャン] ボタンを押します。

スキャン画面が表示されます。



### 2 [共有フォルダかUSBに保管] ボタンを押します。

保存先を選択する画面が表示されます。



### 3 [リモート1] ボタンを押します。



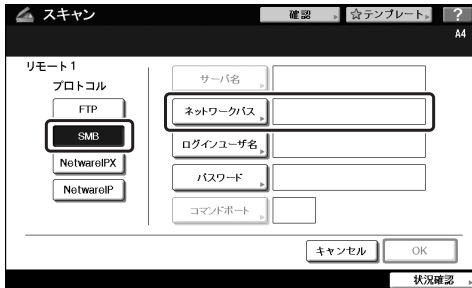
#### ポイント

[リモート1] または [リモート2] ボタンにネットワークパスを設定しておく場合は、Webベースの管理ユーティリティの [TopAccess] で設定します。

☞ P.4-68 「スキャン画面の [リモート1] / [リモート2] にネットワークパスを割り当てる」

### 4 [SMB] を選択し、[ネットワークパス] ボタンを押します。

ネットワークパスを入力する画面が表示されます。



### 5 [英字] / [半角] / [小文字] を選択します。



## 6 ネットワークパスを入力して、[OK] ボタンを押します。

設定例

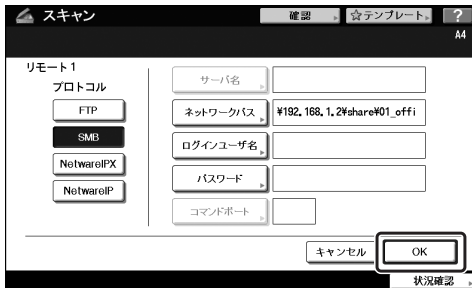
本商品のIPアドレス	192.168.1.2
ルートフォルダ名 <固定>	share
[#01フォルダ設定] - [フォルダ名]	01_office01

上記の設定例の場合、以下のように入力します。

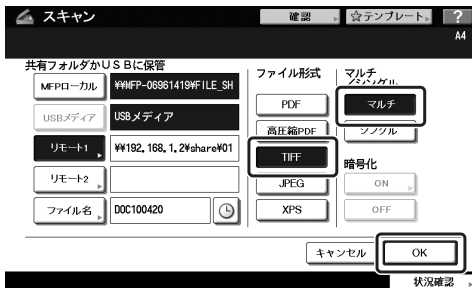
¥192.168.1.2¥share¥01\_office01



## 7 入力したネットワークパスを確認して、[OK] ボタンを押します。



## 8 [TIFF] / [マルチ] を選択し、[OK] ボタンを押します。





9 [スキャン] ボタンを押し、原稿をスキャンします。



ポイント

読み込み設定を変更する場合は、[共通設定] ボタンを押し、表示される画面で読み込み設定を変更します。

10 同じ設定で読み込みを継続するか、終了するか選択します。

2枚目以降を読み込む場合は、原稿をガラス面にセットして [スキャン] ボタンを押します。  
読み込みを終了する場合は、[終了] ボタンを押します。



以上の手順で指定したネットワークパスに、マルチページTIFF形式のファイルが保存されます。

## スキャン画面の [リモート1] / [リモート2] にネットワークパスを割り当てる

スキャン画面の [リモート1] または [リモート2] にネットワークパスを設定しておくことができます。設定は、Webページの管理ユーティリティの [TopAccess] で行います。

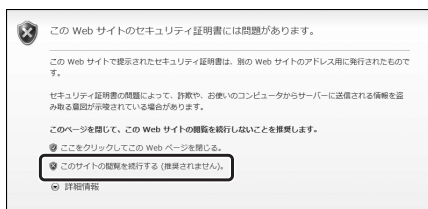
### 1 Web ブラウザを起動して、「http:// [OFISTAR H6000 のIP アドレス]」と入力します。

OFISTAR H6000 の IP アドレスを入力します。

OFISTAR H6000 の IP アドレスが 192.168.1.100 の場合：http://192.168.1.100

#### ポイント

- OFISTAR H6000 の IP アドレスの確認方法は、以下を参照してください。  
P4-44 「OFISTAR H6000のIPアドレスを確認する」
- HTTPネットワークサービスでSSLが有効に設定されている場合は、OFISTAR H6000 のIP アドレスを入力すると警告メッセージが表示されることがあります。その場合は、[このサイトの閲覧を続ける (推奨されません)] をクリックして操作を続けてください。

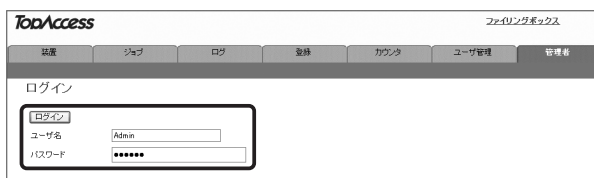


### 2 [管理者] タブをクリックします。



### 3 [パスワード] ボックスに管理者用のパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

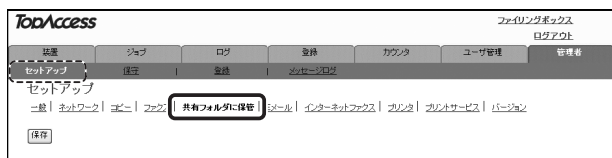
管理者のユーザ名 (Admin) とパスワードでログインします。



#### ポイント

管理者パスワードについては、OFISTAR H6000 に添付されている TopAccess の取扱説明書を参照してください。

#### 4 [セットアップ]-[共有フォルダに保管] をクリックします。



#### 5 [リモート1] または [リモート2] の項目を設定します。

画面は、[リモート1] です。

**リモート1**

次のネットワークフォルダに保存する

プロトコル  SMB  FTP  NetWare IPX/SPX  NetWare TCP/IP

サーバー名称

コマンドポート

ネットワークバス

ログインユーザ名

パスワード  パスワードの確認

ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める

[リモート1] または [リモート2] でネットワークパスを設定するために必要な項目は以下のとおりです。

項目名	設定値 (初期値：下線) <空欄：初期値なし>	説明
次のネットワークフォルダに保存する	有効/無効	ネットワークパスを保存するため、"有効"に設定します。
プロトコル	SMB / FTP / NetWare IPX/SPX / NetWare TCP/IP	"SMB" を選択します。
ネットワークバス		設定例を参考にネットワークバスを設定します。

#### 設定例

本商品のIPアドレス	192.168.1.2
ルートフォルダ名 <固定>	share
[#01フォルダ設定] - [フォルダ名]	01_office01

上記の設定例で、[#01フォルダ設定]の場合：¥¥192.168.1.2¥share¥01\_office01

**リモート1**

次のネットワークフォルダに保存する

プロトコル  SMB  FTP  NetWare IPX/SPX  NetWare TCP/IP

サーバー名称

コマンドポート

ネットワークバス

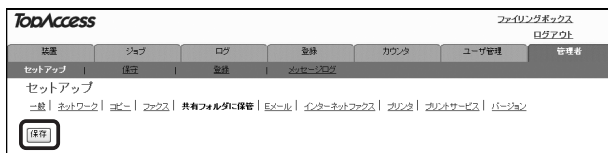
ログインユーザ名

パスワード  パスワードの確認

ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める

## 6 設定を保存します。

[保存] ボタンをクリックして、設定を保存します。



## 7 ログアウトします。

[ログアウト] をクリックして、[管理者] 画面からログアウトします。

以上で、スキャン画面の [リモート1] または [リモート2] にネットワークパスを設定する手順は終了です。

# ワンステップ送信のフォルダ設定のエクスポート / インポート

[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス]メニューから、本商品に設定されているワンステップ送信のフォルダ設定をエクスポートおよびインポートができます。

## ポイント

- ・ 本商品からエクスポートまたはインポートできるワンステップ送信のフォルダ設定は、[設定番号]、[フォルダ名]、[モード]、[パスワード]、[電話番号1]、[電話番号2]、[電話番号3]、[電話番号4]、[電話番号5]、[電話番号6]、[電話番号7]、[電話番号8]をカンマで区切ったCSV形式のファイルとなります。
- ・ エクスポートしたファイルは、[メモ帳]などのテキストエディタで編集することができます。

## ■ ワンステップ送信のフォルダ設定をエクスポートする

ワンステップ送信のフォルダ設定のエクスポートは、[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから行います。

## ポイント

ワンステップ送信のフォルダ設定をエクスポートするには、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。

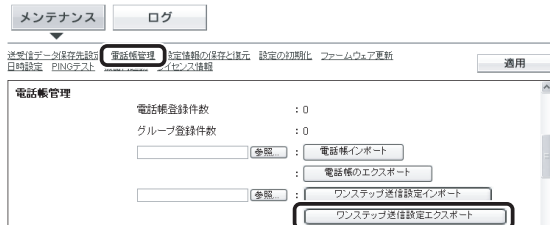


### 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。



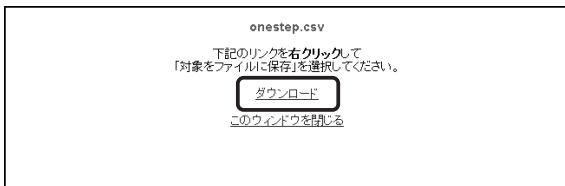
### 3 [電話帳管理] 項目を選択して [ワンステップ送信設定エクスポート] ボタンをクリックします。



表示されるダイアログで保存先を指定します。

#### 4 ファイルを保存します。

Internet Explorer : [ダウンロード] を右クリックして「対象をファイルに保存」を選択します。  
Firefox : [ダウンロード] を右クリックして「名前を付けてリンク先を保存」を選択します。



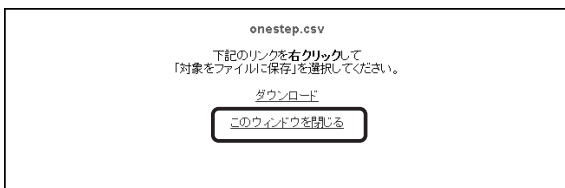
#### 5 名前を付けて保存します。

保存する場所を選択してからファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



#### 6 ダウンロード画面を閉じます。

ダウンロードが完了したら、[このウィンドウを閉じる]をクリックして画面を閉じます。



以上で、ワンステップ送信のフォルダ設定のエクスポートは終了です。

## □ エクスポートしたワンステップ送信のフォルダ設定を編集する

エクスポートしたワンステップ送信のフォルダ設定は、[設定番号]、[フォルダ名]、[モード]、[パスワード]、[電話番号1]、[電話番号2]、[電話番号3]、[電話番号4]、[電話番号5]、[電話番号6]、[電話番号7]、[電話番号8] をカンマで区切ったCSV形式のファイルです。

ここでは、テキストエディタの [メモ帳] で編集する手順を紹介します。

- 1 [メモ帳] を起動します。
- 2 エクスポートした「ワンステップ送信のフォルダ設定」を開きます。



### 3 「ワンステップ送信のフォルダ設定」を編集します。

[設定番号]、[フォルダ名]、[モード]、[パスワード]、[電話番号1]、[電話番号2]、[電話番号3]、[電話番号4]、[電話番号5]、[電話番号6]、[電話番号7]、[電話番号8] をカンマで区切って入力します。

設定番号	ワンステップの設定番号です。予め登録されています。 設定できるワンステップのフォルダは、20 フォルダ (01 ~ 20) です。
ID	ワンステップ送信に使用するフォルダの名称 (最大32バイト) を入力します。 <b>ポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>OS で禁止されている文字数や文字 ¥ / : * ? " &lt; &gt;   など をフォルダ名に設定できません。</li> <li>32 バイトを超えるフォルダ名は、ネットワーク環境により正しく送受信できなくなる場合があります。</li> </ul>
モード	0 送信先処理の指定で [印刷] を指定する場合に 0 を入力します。 1 送信先処理の指定で [保存] を指定する場合に 1 を入力します。 2 送信先処理の指定で [印刷+保存] を指定する場合に 2 を入力します。
パスワード	パスワード付で送信する場合のパスワードを入力します。
電話番号1 ~ 電話番号8	フォルダに保存されたデータを自動的に送信する宛先番号を入力します。 宛先番号は、8 件まで、(カンマ) で区切って登録することができます。

### 4 上書き保存します。

以上でエクスポートしたワンステップ送信のフォルダ設定の編集は終了です。

## ■ ワンステップ送信のフォルダ設定をインポートする

ワンステップ送信のフォルダ設定のインポートは、[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから行います。

### 注意

ワンステップ送信のフォルダ設定をインポートすると、すでに登録されているワンステップ送信のフォルダ設定を上書きします。インポートする前に、上書きしても問題ないか確認してから作業を行ってください。

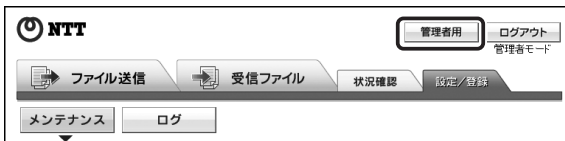
### ポイント

ワンステップ送信のフォルダ設定をインポートするには、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。



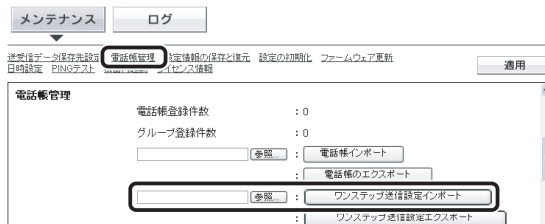
### 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。



### 3 [電話帳管理] 項目からインポートします。

[参照] ボタンをクリックして、インポートするワンステップ送信のフォルダ設定を選択してから、[ワンステップ送信設定インポート] ボタンをクリックします。





#### 4 インポートするワンステップ送信設定を確認します。

表示されるダイアログでインポートするワンステップ送信のフォルダ設定内容を確認して、[OK] ボタンをクリックします。

ワンステップ送信設定インポート

01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
#1フォルダ設定		フォルダ名:	01_office01																
		電話番号1:	0600001111																
		電話番号2:	0520002222																
		電話番号3:	0890003333																
		電話番号4:	0760004444																
		電話番号5:	0820005555																
		電話番号6:	0920006666																
		電話番号7:	0890009999																
		電話番号8:	0520008888																
		送信先処理の指定:	<input checked="" type="radio"/> 印刷 <input type="radio"/> 保存 <input type="radio"/> 印刷+保存																

#### 5 本商品を再起動してインポートした内容を適用します。

表示される画面で [OK] ボタンをクリックします。

表示されている内容をインポートします。  
よろしいですか？

更新中は以下の画面が表示されます。

システムを再起動しています

5分経過するとログイン画面に戻りますので  
ログインなおしてください

#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、ワンステップ送信のフォルダ設定のインポートは終了です。

# 送受信データ保存先の切り替え

送受信データ保存先の切り替えは、[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから行います。

## ポイント

- 外部サーバの設定については、以下を参照してください。  
P.7-2 「送受信データ保存先用の外部サーバ設定」
- ワンステップ送信のフォルダ設定をインポートするには、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。  
P.4-2 「管理者権限でログインする」

## 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。

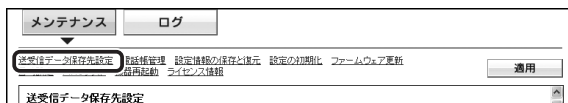


## 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。



## 3 [送受信データ保存先設定] 項目を選択して設定します。

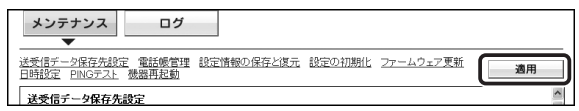


設定例として、ローカルドライブに "data" フォルダを作成して、データ保存先として使用する内容を記載します。

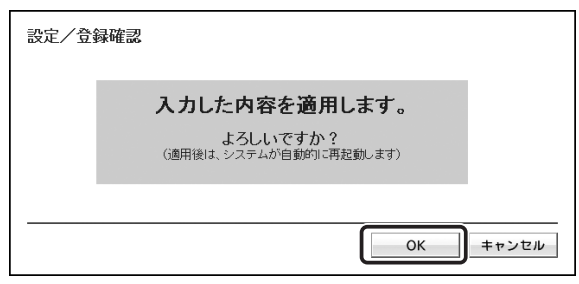
P.7-2 「送受信データ保存先用の外部サーバ設定」

項目名	設定値 (初期値: 下線) <空欄: 初期値なし>	説明
保存場所切り替え		
保存場所	BOX内部CF/外部サーバ	外部サーバを選択します。 切り替えを行うと、使用しているフォルダに保存されているデータも切り替え先にコピーします。
外部サーバ設定		<b>ポイント</b> 15バイトを超える [サーバ名] や [フォルダ名] は、ネットワーク環境により正しく送受信できなくなる場合があります。
サーバ名	<半角英数: 15 バイト>	フォルダを登録するサーバのIPアドレスを設定します。 DNSサーバを利用できる場合は、サーバ名を入力します。 <IPアドレスの入力例: 192.168.1.250> <サーバ名の入力例: host01>
共有フォルダ名	<半角英数: 15 バイト>	外部サーバの共有フォルダ名を設定します。 <入力例: data>
ユーザ名		外部サーバにアクセスできるユーザ名とパスワードを入力します。
パスワード	<半角英数記号: 128バイト>	
パスワードの確認入力	<半角英数記号: 128バイト>	

4 [適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



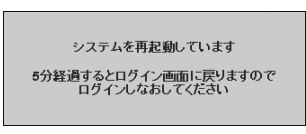
表示される[設定/登録確認] 画面で [OK] ボタンをクリックします。



ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
 □ P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、送受信データ保存先の切り替えは終了です。

## 送受信履歴 (ログ) からファイルを削除 / ダウンロードする

本商品の送受信履歴 (ログ) からファイルを削除またはダウンロードする手順を説明します。

### ポイント

- 受信ログからファイルを削除またはダウンロードできる条件は以下のとおりです。

[受信ログ] ファイル一覧画面

- [サイズ] 欄に "削除済み" と表示されていないこと。
- [処理指定] 欄に "保存" と表示されていること。

- 送受信ログからファイルを削除またはダウンロードするには、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [状況確認] 画面を開きます。

[状況確認] タブをクリックします。



### 2 [ログ] 画面を開きます。

[ログ] ボタンをクリックします。



### 3 [送信ログ] または [受信ログ] 画面を開きます。

表示するログのボタンをクリックします。



## 4 送受信の履歴を確認します。

送信履歴 ([送信ログ] 画面)

管理番号△	日時▼	宛先番号△	ファイル数△	サイズ△	通信時間△	通信結果△	更新
0003-**-01	XX/XX 14:52	0550001111	1ファイル	6KB	00.02	OK	△
0002-**-01	XX/XX 14:25	0550001111	1ファイル	7KB	00.01	OK	△
0001-**-01	XX/XX 09:20	0600001111	1ファイル	69KB	00.03	OK	△

ファイル一覧

受信履歴 ([受信ログ] 画面)

管理番号△	日時▼	送信元番号△	ファイル数△	サイズ△	通信結果△	更新
0001-**-	XX/XX 14:51	0550001111	1ファイル	51KB	OK	△

ファイル一覧

### ポイント

[通信結果] 欄に表示されているエラーコードやメッセージについては、以下を参照してください。

[📖 P.6-12 「エラーコード」](#)

[📖 P.6-16 「メッセージ」](#)



## 6 削除またはダウンロードします。

削除する場合は、ファイルを選択して [ファイル削除] ボタンをクリックします。  
ダウンロードする場合は、ファイルを選択して [ダウンロード] ボタンをクリックします。

送信履歴 ([送信ログ] ファイラー一覧画面)

ファイル名 ▲	サイズ ▲	送信先処理 ▲	ハッシュ値 ▲
PC_U_003.tif	7kB	保存	MD5:54bcbb69db39255724f79add104c78e

受信履歴 ([受信ログ] ファイラー一覧画面)

ファイル名 ▲	サイズ ▲	処理指定 ▲	印刷結果 ▲	ハッシュ値 ▲
PC_U_003.tif	7kB	保存		MD5:54bcbb69db39255724f79add104c78e

以上で、送受信ログからファイルを削除またはダウンロードする手順説明は終了です。

## 設定値の保存 / 復元

[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから、本商品の設定内容をファイルに保存および復元できます。設定内容をバックアップファイルとして保存しておくことにより、意図しない設定変更があっても、保存ファイルから本商品の設定内容を復元することができます。

### ■ 設定値を保存する

本商品の設定値の保存は、[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから行います。

保存される設定値

画面	項目	画面	項目
[基本設定] 画面	ネットワーク設定	[登録] 画面	ワンステップ送信設定の共有フォルダ設定のみ
	SIP設定	[メンテナンス] 画面	送受信データ保存先設定
	印刷設定		ファームウェア更新 (設定内容のみ)
	スキャナ設定		日時設定 (設定内容のみ)
	パスワード設定		
[詳細設定] 画面	リルート	<b>ポイント</b> 工事保守用の設定値も保存されます。	
	発信制限		
	送受信設定		
	送受信データ自動削除		
	メール通知		

保存されない内容

ログ	データ
送信ログ	電話帳登録データ
受信ログ	グループ登録データ
SIPログ	ワンステップ送信設定の各フォルダ設定内容
更新ログ	
障害ログ	

#### ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。





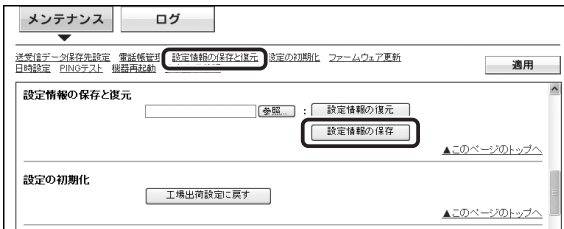
## 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。



## 3 [設定情報の保存と復元] 項目を選択して設定値を保存します。

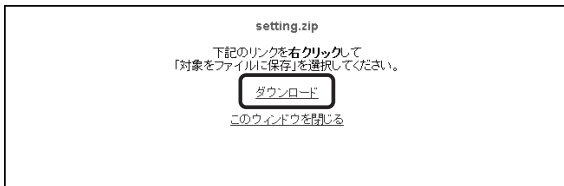
[設定情報の保存] ボタンをクリックします。



## 4 ファイルを保存します。

Internet Explorer : [ダウンロード] を右クリックして「対象をファイルに保存」を選択します。

Firefox : [ダウンロード] を右クリックして「名前を付けてリンク先を保存」を選択します。



### ポイント

設定値のファイルはダウンロードした後に編集できないように、パスワード付きのZIP形式で圧縮されています。このパスワードを指定することや変更することはできません。

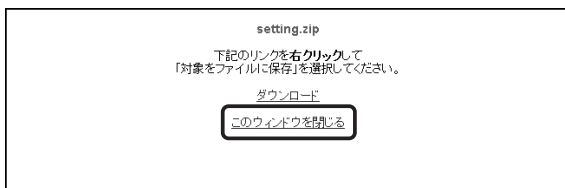
## 5 名前を付けて保存します。

保存する場所を選択してからファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



## 6 ダウンロード画面を閉じます。

ダウンロードが完了したら、[このウィンドウを閉じる]をクリックして画面を閉じます。



以上で、設定値の保存は終了です。

## ■ 設定値を復元する

本商品の設定値の復元は、[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューから行います。

### ポイント

- 設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。  
📖 P.4-2 「管理者権限でログインする」
- 設定値のファイルは、パスワード付きのZIP形式で圧縮されたファイルとなります。

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。



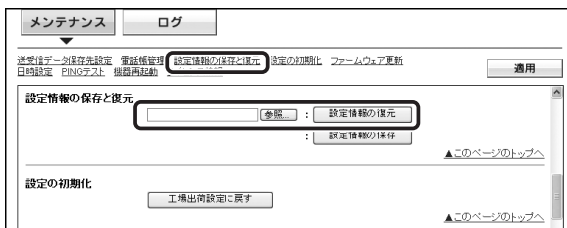
### 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。

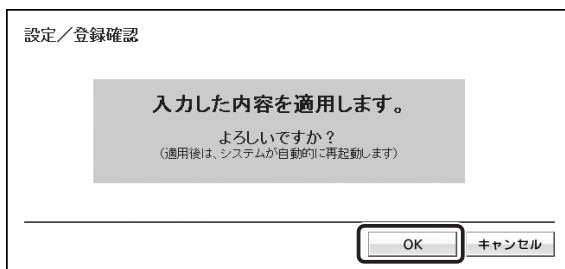


### 3 [設定情報の保存と復元] 項目を選択して設定値を復元します。

[参照] ボタンをクリックし、表示されるダイアログで設定値ファイルを指定してから [設定情報の復元] ボタンをクリックします。



表示される[設定/登録確認] 画面で [OK] ボタンをクリックします。

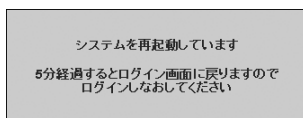


#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。

□ P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、設定値の復元は終了です。

# 初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる環境で接続し直す場合、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。本商品の初期化は、[設定/登録]（管理者用）画面の[メンテナンス]メニューから行います。

## 注意

初期化すると本商品に保存されているすべてのデータが消去されます。消去されたデータは復元することができませんのでご注意ください。

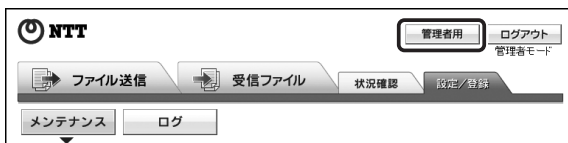
## ポイント

設定/登録には、管理者権限でログインする必要があります。管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

## 1 [設定/登録]（管理者用）画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。

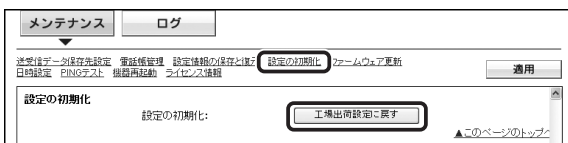


## 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

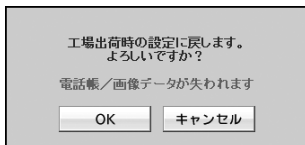
[メンテナンス] ボタンをクリックします。



## 3 [設定の初期化] 項目を選択して [工場出荷設定に戻す] ボタンで初期化します。



表示される画面で内容を確認して [OK] ボタンをクリックします。



---

## 4 本商品を再起動して初期化します。

### ポイント

初期化を行い最初に起動(再起動)すると、更新されたファームウェアが存在するか自動的に確認します。

以上で、初期化は終了です。

## バージョンアップについて

本商品のバージョンアップについて .....	5-2
自動更新機能について .....	5-5
新しいファームウェアを確認してバージョンアップする .....	5-7
当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする .....	5-9

## 本商品のバージョンアップについて

---

本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、インターネット上のサーバに更新されたファームウェアが存在するか自動的に確認する機能と、更新されたファームウェアに自動更新する機能が有効("する":工場出荷時)に設定されています。

本商品がゲートウェイ装置と通信できる状態で、インターネットを利用できる環境であれば、定期的にファームウェアの確認を行い、最新のファームウェアが確認されると、AM 4:00 ~ AM 5:00の間にファームウェアの更新を自動的に行います。

なお、ファームウェアの自動更新を望まない場合は、自動更新機能を無効("しない")に設定して、手動でファームウェアをバージョンアップしてください。

### 注意

- ・ ファームウェアの更新について、以下の点にご注意ください。
    - 各サービスの利用中は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。各サービスの利用後、ファームウェアの更新を行ってください。
    - ファームウェアの更新中は、各サービスを利用することができません。
    - ファームウェアの更新が実行されると、各サービスが中止される場合があります。ファームウェアの更新が完了するまでお待ちください。なお、中止されたサービスのログが残らない場合がありますのでご注意ください。
  - ・ ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品の電源をオフにしないでください。
  - ・ ファームウェアのアップデート確認のため、[ネットワーク設定] - [DNSサーバ] でDNSサーバを設定してください。
  - ・ ファームウェアのアップデート確認用サーバがデフォルトゲートウェイとは異なるゲートウェイ側に存在する場合、[ネットワーク設定] - [ルーティング] でルーティングの設定をしてください。
- 📄 P.4-40 「ルーティング設定」



## ■ 自動更新機能を利用する

新しいファームウェアのバージョンがあるか確認する	設定項目	設定値
	自動更新確認	する (初期値)



新しいバージョンが存在した場合

コンピュータのWebブラウザからログインする [ファイル送信] 画面にメッセージを表示します。 「新しい更新があります。プログラムの更新を実行すると、ファームウェアが更新されます。」		
新しいファームウェアに自動的にバージョンアップする	設定項目	設定値
	自動更新	する (初期値)



AM 4:00 ~ AM 5:00 の間に、自動的にファームウェアを更新します。

## ■ 新しいファームウェアがあるか確認して更新する

新しいファームウェアのバージョンがあるか確認する	設定項目	設定値
	手動アップデート	[更新確認]ボタン



新しいバージョンが存在した場合

[ファームウェア更新] ボタンでファームウェアをバージョンアップする	設定項目	設定値
	手動アップデート	[ファームウェア更新]ボタン

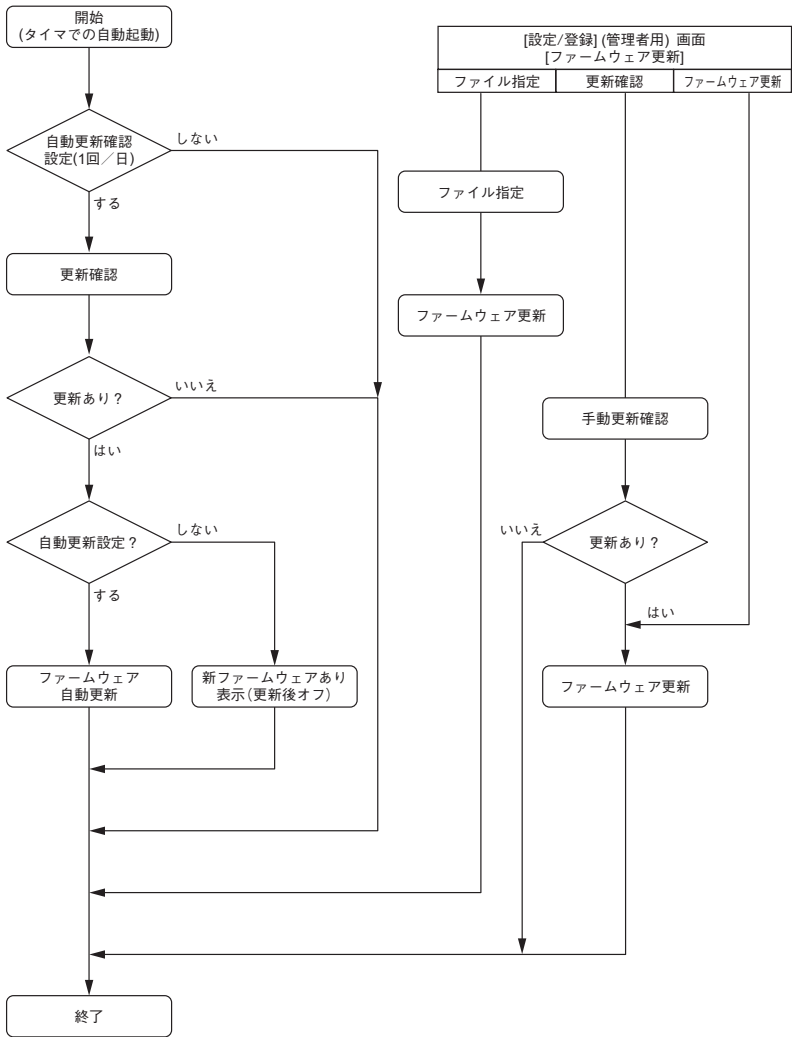
## ■ ファームウェアのデータファイルをダウンロードして更新する

当社ホームページからファームウェアのデータファイルをダウンロードする	URL	
	NTT西日本	<a href="http://www.ntt-west.co.jp/kiki/">http://www.ntt-west.co.jp/kiki/</a>
	2010年3月末現在	



ファームウェアを更新する	ダウンロードしたファイルを [ファイル指定] 項目の [参照] ボタンで選択して、[更新] ボタンをクリックします。
--------------	--

## ■ バージョンアップのフロー



# 自動更新機能について

定期的にファームウェアの確認を行い、最新のファームウェアが確認されると、AM 4:00 ~ AM 5:00の間にファームウェアの更新を自動的に行います。

## ■ 自動更新機能の設定

自動更新機能は、管理者権限でログインする必要があります。

### ポイント

コンピュータから本商品に管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。

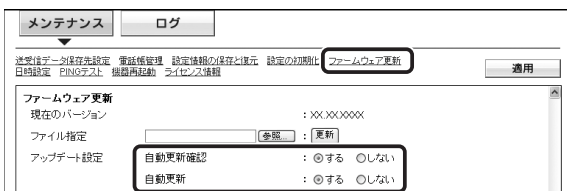


### 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。

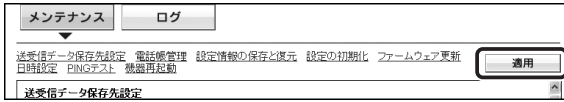


### 3 [ファームウェア更新] 項目を選択して自動更新を設定します。

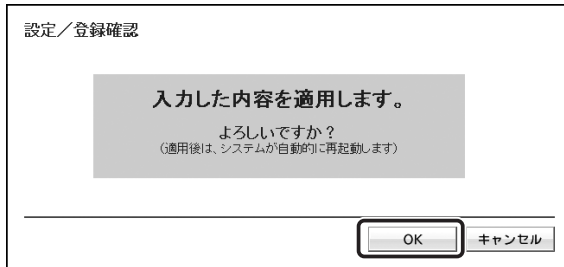


項目名	設定値 (初期値: 下線) <空欄: 初期値なし>	説明
ファームウェア更新		
アップデート設定		
自動更新確認	する/しない	インターネット上のサーバにファームウェアの更新データがあるか自動的に確認します。 自動更新確認を望まない場合は、「しない」に設定してください。
自動更新	する/しない	インターネット上のサーバにファームウェアの更新データが存在した場合、ファームウェアを自動的に更新するか設定します。 自動更新を望まない場合は、「しない」に設定してください。

#### 4 設定を変更した場合は、[適用] ボタンをクリックし、本商品を再起動して設定した値を適用します。



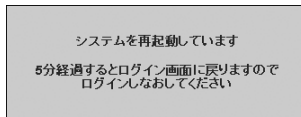
表示される[設定/登録確認]画面で [OK] ボタンをクリックします。



#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
□ P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

更新中は以下の画面が表示されます。



#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。

以上で、自動更新機能の設定についての説明は終了です。

# 新しいファームウェアを確認してバージョンアップする

新しいファームウェアがあるか確認して更新することができます。[設定/登録] (管理者用) 画面の [メンテナンス] メニューの「手動アップデート」で、ファームウェアの確認と更新することができます。

## 注意

ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品の電源をオフにしないでください。

## ■ 新しいファームウェアがあるか確認して更新する

新しいファームウェアの確認は、管理者権限でログインする必要があります。

### ポイント

コンピュータから本商品に管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」

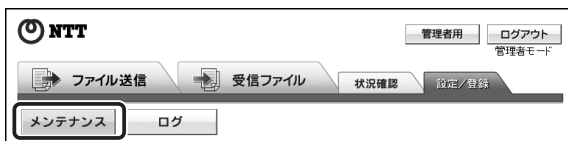
### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。



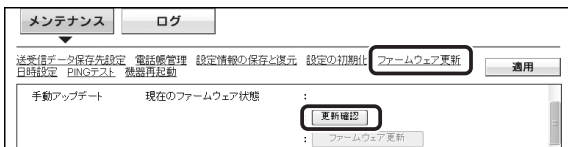
### 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。



### 3 [ファームウェア更新] 項目を選択して [更新確認] ボタンをクリックします。

インターネット上のサーバに更新データがあるか確認します。

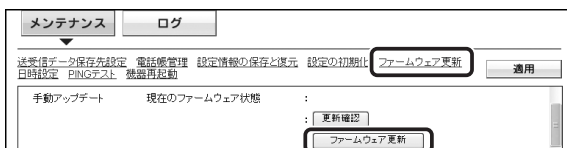


新しいバージョンのファームウェアが存在した場合は[ファームウェア更新] ボタンが有効になります。

#### ポイント

- インターネット上のサーバにアクセスできない場合は、[基本設定] 画面 - [ネットワーク設定] 項目の [DNS サーバ] でアドレスを設定します。DNSサーバはG/W装置に登録されているDNSサーバアドレスと同じアドレスを設定してください  
☞ P.4-5 「[基本設定] 画面」
- ファームウェアのアップデート確認用サーバがデフォルトゲートウェイとは異なるゲートウェイ側に存在する場合、[ネットワーク設定] - [ルーティング] でルーティングの設定をしてください。  
☞ P.4-40 「[ルーティング設定]」

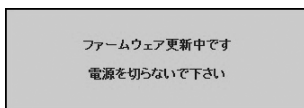
## 4 [ファームウェア更新] ボタンをクリックして、バージョンアップします。



#### ポイント

送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
☞ P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

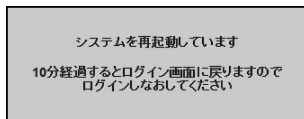
ファームウェアのバージョンアップ中は、以下の画面が表示されます。



#### 注意

ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品の電源をオフにしないでください。

ファームウェアのバージョンアップが完了して、システムを再起動すると以下の画面が表示されます。



#### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで10分程度かかります。

以上で、新しいファームウェアがあるか確認して更新する手順説明は終了です。

# 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

ファームウェアのデータファイルを指定して、バージョンアップすることができます。  
ファームウェアのデータファイルは、当社ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法や詳細については、当社ホームページをご覧ください。

2010年3月末現在

ホームページURL	
NTT西日本	http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

## 注意

ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品の電源をオフにしないでください。

## ■ ダウンロードしたファームウェアのデータファイルで更新する

ダウンロードしたファイルでファームウェアの更新するには、管理者権限でログインする必要があります。

### ポイント

コンピュータから本商品に管理者権限でログインする手順については、以下を参照してください。

☐ P.4-2 「管理者権限でログインする」

### 1 [設定/登録] (管理者用) 画面を開きます。

[管理者用] ボタンをクリックします。

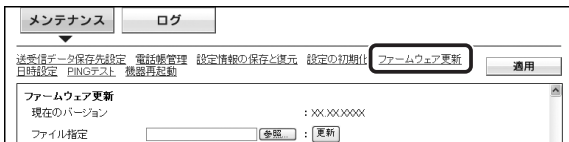


### 2 [メンテナンス] 画面を開きます。

[メンテナンス] ボタンをクリックします。

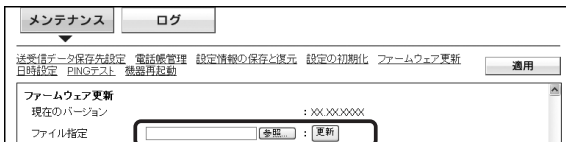


### 3 [ファームウェア更新] 項目を選択します。



## 4 ダウンロードしたファームウェアのデータファイルを指定して、バージョンアップします。

[参照] ボタンをクリックし、ダウンロードしたファームウェアのデータファイルを選択します。[インストール] ボタンをクリックします。

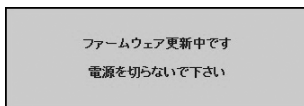


### ポイント

- メッセージ画面が表示された場合は、メッセージの指示に従ってください。
- 送信処理中または印刷処理中は、処理中のジョブについて確認する画面が表示されます。  
☞ P.6-11 「ジョブが残っている場合に表示される画面」

## 5 ファームウェアのバージョンアップを行います。

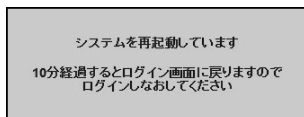
ファームウェアのバージョンアップ中は、以下の画面が表示されます。



### 注意

ファームウェアのバージョンアップ中は、本商品の電源をオフにしないでください。

ファームウェアのバージョンアップが完了して、システムを再起動すると以下の画面が表示されます。



### ポイント

再起動後、本商品にログインまたはアクセスできるようになるまで10分程度かかります。

以上で、ダウンロードしたファームウェアのデータファイルで更新する手順説明は終了です。



# 6

## 故障かな？と思ったら

接続できない.....	6-2
送信できない.....	6-3
受信できない.....	6-5
印刷できない.....	6-6
レジストできない.....	6-7
EWB対応デジタル複合機のトラブル.....	6-8
ご利用開始後のトラブル.....	6-9
エラーコード.....	6-12
メッセージ.....	6-16

## 接続できない

症状	原因	対処のしかた
電源が入らない	本商品と電源アダプタ、または電源プラグと電源コンセントが接続されていない。	本商品と電源アダプタ、電源プラグと電源コンセントが正しく接続されていることを確認してください。
電源のオン/オフのしかたが分からない	—	<p><b>電源オン</b>：電源ランプが消灯している状態で電源スイッチを押してください。</p> <p><b>電源オフ</b>：電源ランプが点灯している状態で電源スイッチを押してください。本商品をシャットダウンする処理を開始して自動的に電源がオフになります。</p> <p><b>強制オフ</b>：本商品が操作できない状態になってしまった場合で、電源をオフにしてもシャットダウンしないときに、強制的に電源をオフにします。</p> <p>電源ランプが点灯している状態で電源スイッチを5秒以上押し続けてください。本商品を強制的シャットダウンします。</p>
IPアドレスが変わってしまった	DHCPサーバのIPアドレス割り振り機能を使っている場合、DHCPサーバの再起動やIPアドレスのリリース時間が経過したため、IPアドレスが変更された。	G/W装置の設定画面で、本商品に割り振られているIPアドレスを確認してください。 ☞ P.1-10 「IPアドレスの確認」
接続/アクセスできない	G/W装置の電源が入っていない。	G/W装置の電源を入れ、正しく動作していることを確認してください。
	G/W装置でトラブルが発生している。	G/W装置に添付されている取扱説明書を参照してトラブルの原因を確認して対策してください。
	本商品の電源が入っていない。	本商品の電源を入れ、接続の確認してください。
	本商品の電源を入れてから約10分経過していない。	本商品は、電源をオンしてからプログラムを起動し、接続されているネットワーク環境に対応した設定を行うため、接続/アクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。約10分間待ってから、接続/アクセスしてください。
	LANケーブルが接続されていない。	LANケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本商品のIPアドレスが間違っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>IPアドレスを自動取得している場合は、DHCPサーバ機能が有効になっていることを確認してください。</li> <li>設定されているIPアドレスを確認してください。 ☞ P.1-10 「IPアドレスの確認」</li> <li>IPアドレスを手動設定している場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
	パスワードを忘れてしまった。	☞ P.6-11 「パスワードを忘れてしまった」
コンピュータのWeb画面で設定できない	WebブラウザのJavaScriptの設定が有効になっていない。	WebブラウザのJavaScript設定を有効にしてください。 ☞ P.7-11 「WebブラウザのJavaScript設定」
コンピュータのWeb画面にポップアップブロックのメッセージが表示される	Webブラウザのポップアップブロック機能が設定されている。	Webブラウザのポップアップブロックを解除してください。 ☞ P.7-14 「Webブラウザのポップアップブロックを解除する」

# 送信できない

症状	原因	対処のしかた						
送信できない	何らかのエラーにより送信できない。	[状況確認] - [ログ] - [送信ログ] の通信結果を確認してください。 エラーコードが表示されている場合は、以下を参照してください。 ☞ P.6-12 「エラーコード」						
	<p>“GWにレジストされていないため、送信できません。” とメッセージが表示されている。</p> 	GW/W装置の設定で、本商品が登録されていることを確認してください。						
	<p>“SIP未登録” とメッセージが表示されている。</p> 	GW/W装置の設定で、本商品が登録されていることを確認してください。						
	宛先番号が正しくない。	[状況確認] - [ログ] - [送信ログ] の宛先番号を確認してください。						
	送信先の機器が本商品の通信方式に対応していない。	[状況確認] - [ログ] - [送信ログ] の通信結果を確認してください。 エラーコードが表示されている場合は、宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。						
	発信規制されている。	[設定/登録] - [詳細設定] - [発信制限] で設定を確認してください。						
	EWB対応デジタル複合機から送信できない。	EWB対応デジタル複合機を使用するための設定と本商品の設定を確認してください。 ☞ P.4-44 「EWB対応デジタル複合機の使用設定」						
	ワンステップ送信できない。	デジタル複合機からアクセスできる送信先指定フォルダやアクセスするデジタル複合機のIPアドレス、送信先番号などの登録設定を確認してください。 ☞ P.4-60 「ワンステップ送信の設定」						
	EWB対応デジタル複合機からファイルをまとめて送信できない。	☞ P.3-12 「詳細な設定をして送信する」						
	送信データの容量が大きすぎて送信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信可能なファイルサイズの容量は、[送信データ領域] の空き容量と表示されているサイズから本商品が使用するワーク容量 (約60MB) を引いた残りの 50 %程度です。(ファイルを送信するためには、容量の2倍の空き容量が必要です。)</li> <li>[送信データ領域] の空き容量は、[状況確認] - [現在の状態] 画面の [メモリ] で確認してください。 ☞ P.2-37 「[現在の状態] 画面」</li> <li>1ファイルとしての選択可能な最大サイズは、[送受信データ保存先設定] の設定で異なります。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="676 1235 1023 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">[送受信データ保存先設定] - [保存場所]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOX内部CF</td> <td>約215MB (Windows上の表示では200MB程度)</td> </tr> <tr> <td>外部サーバ</td> <td>約2GB (Windows上の表示では1850MB程度)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>[送信データ領域] の全体容量は、本商品の [送受信データ保存先設定] で設定されている保存場所を [BOX内部CF] (初期値) から [外部サーバ] に切り替えることにより変更することができます。 ☞ P.4-76 「送受信データ保存先の切り替え」</li> </ul>	[送受信データ保存先設定] - [保存場所]		BOX内部CF	約215MB (Windows上の表示では200MB程度)	外部サーバ	約2GB (Windows上の表示では1850MB程度)
[送受信データ保存先設定] - [保存場所]								
BOX内部CF	約215MB (Windows上の表示では200MB程度)							
外部サーバ	約2GB (Windows上の表示では1850MB程度)							

症状	原因	対処のしかた
送信できない	送信データの保存領域の空き容量が不足している。	[状況確認] - [ログ] - [送信ログ] で不要な送信ログ (ファイル) を削除して空き容量を確保してください。
	「送受信データ保存先設定」で設定した外部サーバの電源が入っていない。	外部サーバの電源が入っていることを確認してください。
送信ログに表示されない	送信処理中である。	送信ジョブを確認してください。
送信済みのデータが履歴から消えてしまう	送受信データの自動削除が設定されている。	[設定/登録] - [詳細設定] - [送受信データ自動削除] の設定を確認してください。
未送信データが消えてしまう	送受信データの自動削除が設定されている。	[設定/登録] - [詳細設定] - [送受信データ自動削除] の設定を確認してください。
G3 ファクス送信のリルート機能が利用できない	機器の設定、機器の環境、データがリルート機能を利用する条件を満たしていない。	本商品と T.37 オフランプ対応デジタル複合機のリルート機能の設定とデータを確認してください。 P.4-53 「リルート機能の設定」

## 受信できない

症状	原因	対処のしかた
受信できない	何らかのエラーにより受信できない。	[状況確認] - [ログ] - [受信ログ] の通信結果を確認してください。 エラーコードが表示されている場合は、以下を参照してください。 ☞ P.6-12 「エラーコード」
	受信制限されている。	[設定/登録] - [詳細設定] - [受信制限] で設定を確認してください。
	G/W装置と通信できていない。	[現在の状況] 画面のレジスト状況を確認してください。レジストできていない場合は、以下の項目を参照してください。 ☞ P.6-7 「レジストできない」
	受信データの保存領域の容量が不足している	受信データの保存領域の空き容量が不足している可能性があります。本商品の受信データなどを削除してください。 保存領域の空き容量は、[現在の状況] 画面で確認することができます。 ☞ P.2-37 「[現在の状況] 画面」
	[送受信データ保存先設定] で設定した外部サーバの電源が入っていない。	通信開始時に [受信/印刷データ領域] の空き容量が 100 MB 以下の場合、データを受信できない場合があります。 [受信/印刷データ領域] の全体容量は、本商品の [送受信データ保存先設定] で設定されている保存場所を [BOX内部CF] (初期値) から [外部サーバ] に切り替えることにより変更することができます。 ☞ P.4-76 「送受信データ保存先の切り替え」 外部サーバの電源が入っていることを確認してください。
受信ファイルを検索できない	ファイル検索の条件が正しくない。	検索の文字列を確認してください。 本商品の検索は、ファイル名に用いられている文字列を検索します。
未確認の受信データが消えてしまう	送受信データの自動削除が設定されている。	[設定/登録] - [詳細設定] - [送受信データ自動削除] の設定を確認してください。
確認済みの受信データが消えてしまう	送受信データの自動削除が設定されている。	[設定/登録] - [詳細設定] - [送受信データ自動削除] の設定を確認してください。
受信を知らせるメールが送信されない	メール通知の設定がされていない。	[設定/登録] - [詳細設定] - [メール通知] で設定してください。


## 印刷できない

症状	原因	対処のしかた
印刷できない	プリンタの設定が完了していない。	プリンタとして使用する機器を設定します。 ☞ P.4-18 「印刷設定」
	プリンタとして設定した機器のIPアドレスが間違っている。	プリンタとして使用する機器のIPアドレスを確認して、本商品の設定と一致していることを確認してください。 ☞ P.4-18 「プリンタとして使用する機器のIPアドレスを確認する」
	本商品とは違うネットワークに接続されている機器をプリンタとして設定している。	本商品と同一ネットワークに接続された機器をプリンタとして設定してください。
	設定したプリンタがPostScript3に対応していない。	プリンタとして使用する機器がPostScript3に対応指定が確認してください。
	プリンタとして設定した機器の電源が入っていない。	プリンタとして設定した機器の電源を入れ、正しく動作していることを確認してください。
	印刷設定されたファイルが印刷するための条件を満たしていない。	印刷するためのファイル条件を確認してください。 ☞ P.3-44 「印刷するためのファイル条件」
	受信データの保存領域が、印刷設定されたファイルの20倍の空き容量を確保できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷するためのファイル条件を確認してください。 ☞ P.3-44 「印刷するためのファイル条件」</li> <li>受信データの保存領域を確保してください。受信データの保存領域を増やす場合には、[メンテナンス] 画面の [送受信データ保存先設定] で保存先を外部サーバに切り替えてください。 ☞ P.4-14 「[メンテナンス] 画面」</li> <li>保存領域の空き容量は、コンピュータのWebブラウザからログインして、[現在の状況] 画面で確認することができます。 ☞ P.2-37 「[現在の状況] 画面」</li> </ul>
[送受信データ保存先設定]で設定した外部サーバの電源が入っていない。	外部サーバの電源が入っていることを確認してください。	
送信側の設定で「印刷」または「印刷+保存」設定した送信ファイルを印刷できない	印刷設定されていない。	本商品の印刷設定を確認してください。 ☞ P.4-18 「印刷設定」
	「最大印刷枚数」の設定枚数を超えている	[設定/登録] - [詳細設定] - [受信制限] の設定を確認してください。
送信側の設定で「印刷」または「印刷+保存」設定した送信ファイルをカラー印刷できない	「強制白黒印刷」が設定されている。	[設定/登録] - [詳細設定] - [受信制限] の設定を確認してください。

## レジストできない

症状	原因	対処のしかた
<p>“GWにレジストされていないため、送信できません。”とメッセージが表示されている。</p> 	G/W装置と通信できていない。	G/W装置の設定で、本商品が登録されていることを確認してください。
	G/W装置の電源が入っていない。	G/W装置の電源を入れ、正しく動作していることを確認してください。
	G/W装置でトラブルが発生している。	G/W装置に添付されている取扱説明書を参照してトラブルの原因を確認して対策してください。  ひかり電話対応のG/W装置でひかり電話サービス契約をしている場合は、ひかり電話ランプが点灯していれば、G/W装置は正常に動作しています。
	LANケーブルが接続されていない。	本商品のLAN1ポートとG/W装置のLANポートがLANケーブル<ストレート>で正しく接続されていることを確認してください。
	[SIP設定]項目が正しく設定されていない。	本商品のLAN1ポートの[DHCPクライアント]を“オフ”にしている場合は、[設定/登録]-[基本設定]-[SIP設定]項目の[SIPサーバアドレス]、[SIPサーバポート番号]、[SIPドメイン]、[内線番号]を設定する必要があります。
<p>“SIP未登録”とメッセージが表示される</p> 	G/W装置と通信できていない。	G/W装置の設定で、本商品が登録されていることを確認してください。 本商品のLAN1ポートのIPアドレスを手動で設定している場合は、[設定/登録]-[基本設定]-[SIP設定]項目の[SIPサーバアドレス]、[SIPサーバポート番号]、[SIPドメイン]、[内線番号]を設定する必要があります。 ☞ P.4-5「[基本設定]画面」
	G/W装置の電源が入っていない。	G/W装置の電源を入れ、正しく動作していることを確認してください。
	G/W装置でトラブルが発生している。	G/W装置に添付されている取扱説明書を参照してトラブルの原因を確認して対策してください。  ひかり電話対応のG/W装置でひかり電話サービス契約をしている場合は、ひかり電話ランプが点灯していれば、G/W装置は正常に動作しています。
	LANケーブルが接続されていない。	本商品のLAN1ポートとG/W装置のLANポートがLANケーブル<ストレート>で正しく接続されていることを確認してください。
	[SIP設定]項目が正しく設定されていない。	本商品のLAN1ポートのIPアドレスを手動で設定している場合は、[設定/登録]-[基本設定]-[SIP設定]項目の[SIPサーバアドレス]、[SIPサーバポート番号]、[SIPドメイン]、[内線番号]を設定する必要があります。

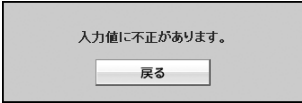
## EWB対応デジタル複合機のトラブル

症状	原因	対処のしかた
送信できない	<p>“SIP未登録”とメッセージが表示されている。</p> 	G/W装置の設定で、本商品が登録されていることを確認してください。
アクセスできない	<p>本商品の電源が入っていない。</p>	本商品の電源を入れ、接続の確認してください。
	<p>本商品の電源を入れてから約10分経過していません。</p>	<p>本商品は、電源をオンしてからプログラムを起動し、接続されているネットワーク環境に対応した設定を行うため、接続/アクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。約10分間待ってから、接続/アクセスしてください。</p>
	<p>LANケーブルが接続されていない。</p>	LANケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	<p>EWB対応デジタル複合機の設定が完了していません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>OFiSTAR H6000の場合、Webベースの管理ユーティリティである [TopAccess] で本商品が設定されていることを確認してください。  <a href="#">P.4-44 「EWB対応デジタル複合機の設定 (OFiSTAR H6000)」</a></li> <li>本商品に EWB 対応デジタル複合機が設定されていることを確認してください。  <a href="#">P.4-51 「本商品の設定」</a></li> </ul>

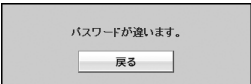
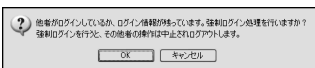
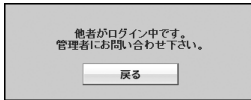
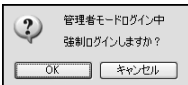



## ご利用開始後のトラブル

症状	原因	対処のしかた					
アクセスできなくなった	IPアドレスが変わってしまった	DHCPサーバのIPアドレス割り振り機能を使っている場合、DHCPサーバの再起動やIPアドレスのリリース時間が経過したため、IPアドレスが変更可能性があります。 G/W装置の設定画面で、本商品に割り振られているIPアドレスを確認してください。 ☞ P.1-10 「IPアドレスの確認」					
	G/W装置の電源が入っていない。	G/W装置の電源を入れ、正しく動作していることを確認してください。					
	G/W装置でトラブルが発生している。	G/W装置に添付されている取扱説明書を参照してトラブルの原因を確認して対策してください。  ひかり電話対応のG/W装置でひかり電話サービス契約をしている場合は、ひかり電話ランプが点灯していれば、G/W装置は正常に動作しています。					
	本商品の電源が入っていない。	本商品の電源を入れ、接続の確認してください。					
	本商品の電源を入れてから約10分経過していない。	本商品は、電源をオンにしてからプログラムを起動し、接続されているネットワーク環境に対応した設定を行うため、接続/アクセスできるようになるまで5分程度かかります。接続環境によっては、10分程度かかる場合があります。 約10分間待ってから、接続/アクセスしてください。					
	正しいパスワードを入力しても、ログインできない。	Webブラウザの一時ファイルなどに誤った情報が保存されている可能性があるため、Webブラウザの一時ファイルなどを削除してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Internet Explorerの場合 [インターネット オプション] - [全般]タブ - [閲覧の履歴]項目の [削除]ボタン - [閲覧の履歴の削除]画面 - [全て削除] ボタンをクリックします。</li> <li>Firefoxの場合 [オプション] - [詳細]項目 - [ネットワーク]タブ - [オフラインデータ]項目の[今すぐ消去]ボタンをクリックします。 [オプション] - [プライバシー]項目-[履歴]項目の[最近の履歴を消去]と[Cookieを個別に削除]をクリックして、項目を選択して消去します。</li> </ul>					
送信できない	送信データの容量が大きすぎて送信できない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>送信可能なファイルサイズの容量は、[送信データ領域]の空き容量と表示されているサイズから本商品が使用するワーク容量(約60MB)を引いた残りの50%程度です。(ファイルを送信するためには、容量の2倍の空き容量が必要です。) [送信データ領域]の空き容量は、[状況確認] - [現在の状態]画面の[メモリ]で確認してください。 ☞ P.2-37 「現在の状況」画面</li> <li>1ファイルとしての選択可能な最大サイズは、[送受信データ保存先設定]の設定で異なります。  <table border="1" data-bbox="669 1177 1016 1298"> <tr> <td colspan="2">[送受信データ保存先設定] - [保存場所]</td> </tr> <tr> <td>BOX 内部 CF</td> <td>約215MB (Windows上の表示&lt;初期値&gt;では200MB程度)</td> </tr> <tr> <td>外部サーバ</td> <td>約2GB (Windows上の表示では1850MB程度)</td> </tr> </table> </li> <li>[送信データ領域]の全体容量は、本商品の[送受信データ保存先設定]で設定されている保存場所を[BOX内部CF] (初期値)から[外部サーバ]に切り替えることにより変更することができます。 ☞ P.4-76 「送受信データ保存先の切り替え」</li> </ul>	[送受信データ保存先設定] - [保存場所]		BOX 内部 CF	約215MB (Windows上の表示<初期値>では200MB程度)	外部サーバ	約2GB (Windows上の表示では1850MB程度)
[送受信データ保存先設定] - [保存場所]							
BOX 内部 CF	約215MB (Windows上の表示<初期値>では200MB程度)						
外部サーバ	約2GB (Windows上の表示では1850MB程度)						

症状	原因	対処のしかた
受信できない	受信データの保存領域の容量が不足している	受信データの保存領域の空き容量が不足している可能性があります。本商品の受信データなどを削除してください。 保存領域の空き容量は、コンピュータのWebブラウザからログインして、[現在の状況]画面で確認することができます。 ☞ P.2-37 「[現在の状況]画面」
設定値を入力できない		設定値や参照ファイルのファイル名が間違っていないか確認してください。 設定値は、入力できる文字数や文字種などを確認してください。
Webブラウザにスク립トエラーが表示される	Webブラウザの[進む]/[戻る]ボタンを使用している	本商品は、Webブラウザの[進む]/[戻る]ボタンに対応していません。操作画面上のタブ、ボタンで操作してください。
Webブラウザで入力/設定した内容が消える	Webブラウザで入力/設定の途中で、別のページを表示した	本商品は、Webブラウザで入力/設定しているページの内容をキャッシュ(一時記憶)しておくことができません。操作を行っている途中で、別のページを表示すると、入力/設定した内容は消えてしまいます。入力/設定を完了させてから、別ページを表示してください。
外部サーバにアクセスできない	セキュリティソフトのファイアウォール機能が働いている	セキュリティソフトのファイアウォール設定で本商品からアクセスできるように設定してください。設定方法は、セキュリティソフトの取扱説明書、またはヘルプを参照してください。
Webブラウザの動作が遅くなった	[送受信データ保存先設定]で設定した外部サーバにアクセスできなくなっている	本商品は、外部サーバにアクセスを繰り返し行っているため動作が遅くなる場合があります。 外部サーバを確認してください。



## ■ ログイン時のメッセージ画面 / 認証エラー時のメッセージ画面

メッセージ画面	原因	対処のしかた
	入力したパスワードが間違っています。	入力したパスワードを確認してください。パスワードは大文字・小文字を判別します。
	Webブラウザをログアウトしない状態で閉じたか、ほかのユーザがログインしています。	ログインしているユーザをログアウトさせ、新たにログインする場合には、[OK]ボタンをクリックします。
	管理者がログインしています。	管理者の操作が終わるまでお待ちください。
	ほかの管理者がログインしています。	すでにログインしている管理者の接続をログオフして、ログインする場合には、[OK]ボタンをクリックします。
	Windows環境で使用しているブラウザが正しく動作していません。	お使いのブラウザをいったん終了させ、ブラウザを再起動してからアクセスしてください。 認証エラーが再び表示される場合は、Windowsの「Windows Update」または「Microsoft Update」を実行して、Windowsを最新の状態にしてください。

## ■ ブラウザの表示について

症状	原因	対処のしかた
レイアウトが崩れる	[画面のプロパティ] の [詳細設定] - [全般] - [DPI設定] が [大きなサイズ (120 DPI)] になっています。	本商品は [通常のサイズ (96 DPI)] で最適に表示されるようにレイアウトされています。 レイアウトの崩れを解消したい場合は、[画面のプロパティ] の [詳細設定] - [全般] - [DPI設定] を [通常のサイズ (96 DPI)] に変更してください。
[パスワード付送信する] のパスワード入力欄に、パスワードが自動的に入力されてしまう	パスワードを自動的に入力するツール、または機能を使用しているため、ログインしたときのパスワードが [パスワード付送信する] のパスワード入力欄に入力されています。	[パスワード付送信する] に自動的に入力されているパスワードを消去してから、パスワードを入力し直してください。

## ■ ジョブが残っている場合に表示される画面

画面	対処のしかた
 <p>設定/登録確認</p> <p>ジョブが残っています。 &lt;は送信が完了済&gt; &lt;印刷が完了済&gt; 強制終了を希望しますか？ (強制終了を行うと自動的に再送されます)</p> <p>再実行 OK 強制終了</p>	<p>[更新] ボタンをクリックしたとき、送信処理または印刷処理を行っている状態です。 各処理が完了してから設定/登録し直す場合は、[再実行] ボタンをクリックしてください。 各処理を中止して設定/登録を行う場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。</p>
 <p>ファームウェア更新確認</p> <p>ジョブが残っています。 &lt;は送信が完了済&gt; &lt;印刷が完了済&gt; 強制終了を希望しますか？ (強制終了を行うと自動的に再送されます)</p> <p>再実行 OK 強制終了</p>	<p>新しいファームウェアを適用するとき、送信処理または印刷処理を行っている状態です。 各処理が完了してからファームウェアを適用し直す場合は、[再実行] ボタンをクリックしてください。 各処理を中止してファームウェアを適用する場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。</p>

## ■ パスワードを忘れてしまった

原因	対処のしかた
パスワードを忘れてしまった。 "パスワードが違います"と表示される。	<p>パスワードはログインする方法により異なり、ユーザパスワードと管理者パスワードがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザパスワードの初期パスワードは小文字で user です。 ユーザパスワードを忘れてしまった場合は、管理者権限でログインして、[基本設定] 画面の [ユーザパスワード] 項目でパスワードを再設定してください。</li> <li>管理者パスワードの初期パスワードは小文字で admin です。 管理者パスワードを忘れてしまった場合は、NTT 通信機器お取扱相談センターにご連絡ください。</li> </ul>

## エラーコード

コード	原因	対処のしかた
400	通信時のエラー <Bad Request : 不正リクエストなど>	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
401	通信時のエラー <Unauthorized : 認証失敗など>	G/W装置に設定されている認証パスワードが、本商品に正しく設定されているかどうか確認してください。
403	通信時のエラー <Forbidden : 発信禁止など>	本商品を接続しているG/W装置の設定を確認してください。
404	発信時のエラー <Not Found : 欠番など>	宛先の電話番号が正しく入力されているか確認してから、再送信してください。
405	通信時のエラー <Method Not Allowed : メソッド不許可など>	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
407	通信時のエラー <Proxy Authentication Required : 認証要求など>	G/W装置に設定されている認証パスワードが、本商品に正しく設定されているかどうか確認してから、再送信してください。
408	通信時のエラー <Request Timeout : タイムアウトなど>	しばらくたってから再送信してください。
415	通信時のエラー <Unsupported Media Type : メディアタイプ不許可など>	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
420	通信時のエラー <Bad Extension : 非対応拡張など>	本商品を接続しているG/W装置の設定を確認してください。
421	通信時のエラー <Extension Required : 拡張手順不足など>	しばらくたってから再送信してください。
422	通信時のエラー <Session Interval Too Small : セッション時間過小など>	本商品を接続しているG/W装置の設定を確認してください。
423	通信時のエラー <Interval Too Brief : 登録時間過小など>	本商品を接続しているG/W装置の設定を確認してください。
433	通信時のエラー <Anonymity Disallowed : 非通知発信不許可など>	番号通知設定を確認し、番号を通知する設定にしてから、再送信してください。
480	通信時のエラー <Temporarily Unavailable : 一時的サービス提供不可など>	しばらくたってから再送信してください。
481	通信時のエラー <Call/Transaction Does Not Exist : 無効呼など>	しばらくたってから再送信してください。
486	発信時のエラー <Busy Here : 話中など>	しばらくたってから再送信してください。
487	通信時のエラー <Request Terminated : 強制終了など>	しばらくたってから再送信してください。
488	発信時のエラー <Not Acceptable Here : 能力不一致、相手がアナログ回線など>	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
491	通信時のエラー <Request Pending : 要求保留など>	しばらくたってから再送信してください。
500	通信時のエラー <Server Internal Error : 宛先の機器エラー、網エラーなど>	しばらくたってから再送信してください。
501	通信時のエラー <Not Implemented : 非対応要求など>	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
503	通信時のエラー <Service Unavailable : 一時的サービス提供不可など>	しばらくたってから再送信してください。
513	通信時のエラー <Message Too Large : メッセージサイズ超過など>	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
S01	SIPサーバへの発信リトライ回数をオーバーした	宛先の機器が受信可能な状態を確認してください。または、しばらくたってから再送信してください。
S02	処理または処理待ちの状態でキャンセルした	—
S03	リルート条件を満たしていない	送信先の機器が本商品に通信方式に対応していないため、G3ファクス送信するためリルート処理を行いました。データ条件や送信先処理が「印刷」以外に設定されていたファイルのため処理できませんでした。データ条件と送信先処理を確認してください。

コード	原因	対処のしかた
S11	SIPサーバ側でキャンセルされた/受信拒否 (受信側の[受信制限]で設定されている最大受信サイズを超えた場合など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信拒否の場合は、受信側の[受信制限]を確認してください。</li> <li>G/W装置に接続されている機器の構成と機器の設定を確認してください。</li> </ul>
T01	TCP接続エラー	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
T02	一部送信	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
T03	内部エラー	本商品の内部でエラーが発生しました。しばらくたってから再送信してください。同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
T04	ユーザにより操作がキャンセルされた	—
T05	データベースエラー	本商品の内部でエラーが発生しました。しばらくたってから再送信してください。同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
T06	能力条件不一致エラー	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
T11	EWB対応のデジタル複合機から原稿送信後、画像変換できない (送信データ領域の空き容量不足、スキャンデータ異常)	[状況確認] - [ログ] - [送信ログ] で不要な送信ログ(ファイル)を削除し、空き容量を確保してから再度送信してください。 (なお、画像変換できなかった原稿データは本商品に保存されていません。)
T90	ワンステップ送信エラー (送信バッファ不足)	送信データ領域、または受信/印刷データ領域の空き容量が不足している可能性があります。各領域の空き容量を増やしてください。 空き容量は、コンピュータのWebブラウザからログインして、[現在の状況] 画面で確認することができます。 ☞ P.2-37 「現在の状況」画面
T91	ワンステップ送信エラー (設定エラー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信先電話番号が不正の可能性がります。送信先電話番号を確認してください。</li> <li>本商品の送信用内部フォルダが存在しない可能性があります。ワンステップ送信の設定を確認し、再設定してください。</li> </ul> 同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
G01	内部エラー	本商品の内部でエラーが発生しました。しばらくたってから再送信してください。同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
G02	SMTP設定エラー	[設定/登録] - [詳細設定] でメールに関する設定を確認してください。
G03	DNSからのIP取得エラー	[設定/登録] . [基本設定] . [ネットワーク設定] でDNSサーバの設定を確認してください。
G04	画像ファイルエラー	ファイルがTIFF形式以外の画像ファイル形式の可能性がります。 送信データのファイル形式を確認してください。
G05	SMTPサーバへの接続エラー	[設定/登録] - [詳細設定] - [リルート] でMFPアドレスの設定を確認してください。
G06	送信エラー	LAN接続を確認してください。 OFiSTAR H6000でリルート機能を利用している場合は、[TopAccess] の [SMTPサーバ] で [オフランプセキュリティ] の項目が"有効"になっているか確認してください。有効に設定した場合、OFiSTAR H6000のアドレス帳に登録されていない番号にリルートをしている可能性があります。

コード	原因	対処のしかた
G07	受信エラー	LAN接続を確認してください。 宛先の機器の電源が入っていることを確認してください。
G08	ポーリング処理エラー	本商品の内部でエラーが発生しました。 しばらくたってから再送信してください。 同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
G09	データベース処理エラー	本商品の内部でエラーが発生しました。 しばらくたってから再送信してください。 同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
G10	送信キャンセル	デジタル複合機の空き容量が不足しています。 空き容量を確認してください。
G11	その他のエラー	しばらくたってから再送信してください。
G12	リルート送信条件範囲外	TIFF形式のファイルが次ぎの条件を満たしているか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• カラー、グレーの場合：300 dpi 以下</li> <li>• モノクロの場合：400 dpi 以下</li> </ul>
G13	G3ファクス リルートエラー	宛先の機器が本商品の通信方式に対応していないため、G3 ファクス送信（リルート機能）できませんでした。 宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。 または、[設定/登録] - [詳細設定] - [リルート] で [T.37 オフランプ] を [有効] に設定してください。
R01	TCP接続エラー	しばらくたってから再送信してください。 LAN 接続およびフレッツ光ネクストの接続を確認してください。
R02	一部受信	受信バッファが不足している場合があります。受信ファイルの削除を行ってください。
R03	内部エラー	本商品の内部でエラーが発生しました。 しばらくたってから再送信してください。 同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
R04	受信タイムアウト	しばらくたってから再送信してください。 同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
R05	ハッシュ値エラー	しばらくたってから再送信してください。 同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
R06	設定値制限エラー	受信ファイルサイズ制限が小さい場合があります。設定を確認してください。受信バッファが不足している場合があります。受信ファイルの削除を行ってください。
R07	データベースエラー	本商品の内部でエラーが発生しました。 しばらくたってから再送信してください。 同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
R08	能力不一致エラー	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
R09	条件不一致エラー	宛先の機器が本商品の通信方式に対応しているか確認してください。
P01	印刷用にデータを展開するためのメモリが不足している	コンピュータにファイルをダウンロードしてから印刷してください。または、受信ファイルを削除してください。
P02	JPEGエラー	コンピュータにファイルをダウンロードしてから印刷してください。
P03	用紙サイズ不一致	本商品で印刷設定されている機器に正しい用紙をセットしてください。

コード	原因	対処のしかた
P04	印刷制限	[設定/登録] - [詳細設定] - [受信制限] の設定を確認してください。
P05	データベースエラー	本商品の内部でエラーが発生しました。しばらくたってから再送信してください。同じエラーが続く場合は、管理者権限で本商品の設定を初期化してください。
P06	プリンタエラー	PostScript3対応機器（プリンタ）が、FN-1000と同じネットワーク上にLPR（Line Printer daemon protocol）接続されているか確認してください。
F01	プリンタ接続エラー	プリンタとして使用している機器との接続、および本商品の設定内容を確認してください。
F02	スキャナ（DPWS）接続エラー	EWB対応デジタル複合機＜DPWS対応スキャナ＞との接続、および本商品の設定内容を確認してください。
F03	メモリ（送信データ/受信データ）残量不足	送受信データの保存領域の空き容量を確認してください。
F04	外部サーバ接続エラー	送受信データ保存先設定で保存先を外部サーバにしている場合はサーバとの接続を確認してください。
F05	ネットワーク接続エラー	ネットワークの接続、および本商品の設定内容を確認してください。
F06	システム起動エラー（一部）	システム起動時にエラーが発生しました。本商品を再起動してください。
F07	MACアドレス不正（セキュリティ関連）	システム起動時にエラーが発生しました。本商品を再起動してください。

## メッセージ

メッセージ	状況/対処
[送信ジョブ] 画面	
送信待ち	送信先機器の応答を待っています。
再送信待ち	送信先機器に接続できなかったため、再発信を待っています。
送信中	通信しています。
G3送信待ち	送信先機器の応答を待っています。
G3送信中	G3ファクスを送信しています。
[印刷ジョブ] 画面	
印刷待ち	印刷処理を待っています。
処理中	印刷しています。
[送信ログ] 画面	
OK	送信済みです。
<エラーコード>	☞ P.6-12 「エラーコード」
[受信ログ] 画面	
OK	送信先処理で指定された [印刷], [保存], [印刷+保存] 処理が完了しています。
<エラーコード>	☞ P.6-12 「エラーコード」
[ファイル送信] 画面	
SIP未登録	G/W装置の設定で、本商品が登録されていることを確認してください。
レジストされていないため、送信できません	G/W装置の設定で、本商品が登録されていることを確認してください。
新しい更新があります。プログラムの更新を実行すると、ファームウェアが更新されます。	新しいファームウェアを確認しました。AM 4:00 ~ AM 5:00の間にファームウェアの自動更新を行います。



## 付録

送受信データ保存先用の外部サーバ設定 .....	7-2
WebブラウザのJavaScript 設定 .....	7-11
Webブラウザのポップアップブロックを解除する .....	7-14
IP アドレスの検索方法 (nslookup コマンド).....	7-18
オープンソースソフトウェアのライセンス情報.....	7-19
用語集 .....	7-20
仕様一覧.....	7-22

## 送受信データ保存先用の外部サーバ設定

本商品には、ネットワーク上の外部サーバに送受信データを保存する機能があります。この機能を使用することで、本商品の保存先を切り替えて、送受信データの保存容量を大きくすることができます。

### ■ 外部サーバ用のアカウント作成

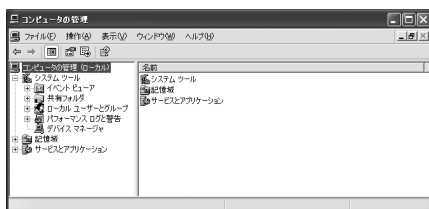
外部サーバとして設定するフォルダにアクセスできるアカウントを作成します。

ここで設定したアカウントのユーザ名とパスワードを FN-1000 の [メンテナンス] 画面 - [送受信データ保存先設定] - [外部サーバ設定] に登録する必要があります。

□ P.4-14 「[メンテナンス] 画面」

説明に使用する画面は、Windows XPを例にします。

#### 1 [コンピュータの管理] 画面を表示します。

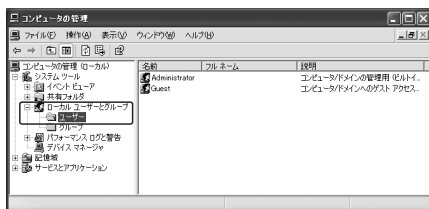


Windows 7 Ultimate	[コンピュータ] を右クリックし、[管理] を選択します。
Windows Vista Ultimate	[コンピュータ] を右クリックし、[管理] を選択します。
Windows XP	[マイ コンピュータ] を右クリックし、[管理] を選択します。
Windows Server 2003	[スタート] ボタン - [プログラム] - [管理ツール] - [コンピュータの管理] を選択します。
Windows Server 2008	[スタート] ボタン - [管理ツール] - [コンピュータの管理] を選択します。

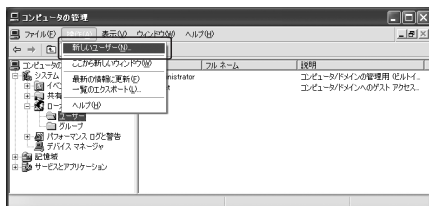
#### ポイント

Windowsのエディションによっては、上記の方法で [コンピュータの管理] 画面を表示することができない場合があります。その場合、コントロールパネルの「ユーザーアカウントの追加または削除」から外部サーバ用のアカウントを作成してください。

#### 2 [ローカルユーザーとグループ] の [ユーザー] を選択します。



#### 3 [操作] メニューから [新しいユーザー] を選択します。



#### 4 [新しいユーザー] 画面に、[ユーザー名] と [パスワード] を入力します。

ここで設定した [ユーザー名] と [パスワード] を FN-1000 の [メンテナンス] 画面 - [送受信データ保存先設定] - [外部サーバ設定] の「ユーザー名」と「パスワード」/「パスワードの確認入力」に登録します。  
 ㊦ P.4-14 「[メンテナンス] 画面」

#### 5 [ユーザーは次回ログイン時にパスワードの変更が必要] のチェックを外します。

#### 6 [作成] ボタンをクリックしてユーザーを登録します。

#### 7 [新しいユーザー] 画面を閉じ、[コンピュータの管理] 画面を閉じます。

以上でアカウントの作成は終了です。

## ■ 外部サーバ用のフォルダ作成

コンピュータの C ドライブに "data" フォルダを作成して設定する例に説明します。

### □ Windows XP / Windows Server 2003の場合

Windows XPを例に説明します。

#### 1 コンピュータ名を確認します。

- 1) マイコンピュータを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
- 2) [システムのプロパティ] 画面の [コンピュータ名] タブをクリックします。
- 3) コンピュータ名を確認します。
- 4) [システムのプロパティ] 画面を閉じます。



#### ポイント

ここで確認した [コンピュータ名] を FN-1000 の [メンテナンス] 画面 - [送受信データ保存先設定] - [外部サーバ設定] の「サーバ名」に登録します。

📄 P.4-14 [[メンテナンス] 画面]

#### 2 データを保存するフォルダを作成します。

ローカル ディスクに "data" フォルダを作成します。

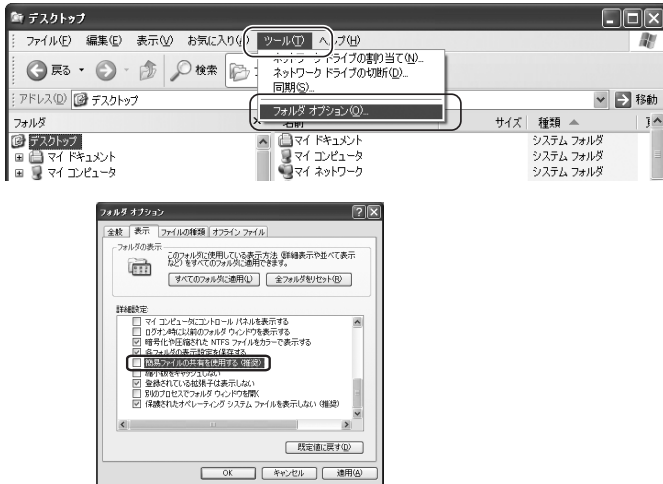
#### ポイント

ここで作成した フォルダ を FN-1000 の [メンテナンス] 画面 - [送受信データ保存先設定] - [外部サーバ設定] の「共有フォルダ名」に登録します。

📄 P.4-14 [[メンテナンス] 画面]

### 3 Windows XPの場合、[簡易ファイルの共有を使用する]を解除します。

- 1) エクスプローラーから[ツール] - [フォルダ オプション] を選択して、[表示] タブをクリックします。
- 2) [簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] にチェックが入っている場合、チェックを外します。



### 4 "data" フォルダを右クリックし、[共有とセキュリティ] をクリックします。



### 5 [プロパティ] 画面で [共有] タブをクリックします。



## 6 [このフォルダを共有する] を選択し、[アクセス許可] ボタンをクリックします。



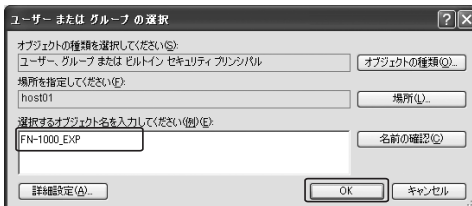
## 7 [アクセス許可] 画面の [追加] ボタンをクリックします。

フォルダにアクセスするユーザを追加します。



## 8 「外部サーバ用のアカウント作成」で作成したユーザを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

☞ P.7-2 「外部サーバ用のアカウント作成」



9 追加したユーザを選択して、許可内容を設定します。

[アクセス許可] 画面で、[変更] と [読み取り] の許可チェックボックスにチェックを付けてから [OK] ボタンをクリックします。



10 [OK] ボタンをクリックします。



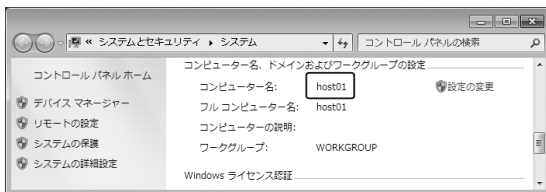
以上で、Windows XP / Windows Server 2003 に送受信データ保存先用フォルダを作成する手順は終了です。

## □ Windows 7 / Windows Vista / Windows Server 2008の場合

Windows 7を例に説明します。

### 1 コンピュータ名を確認します。

Windows 7	[スタート]メニューから [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] を選択して、[システム] 画面でコンピュータ名を確認します。
Windows Vista	[スタート]メニューから [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] を選択して、[システム] 画面でコンピュータ名を確認します。
Windows Server 2008	[スタート]メニューから [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] を選択して、[システム] 画面でコンピュータ名を確認します。



#### ポイント

ここで確認した [コンピュータ名] を FN-1000 の [メンテナンス] 画面 - [送受信データ保存先設定] - [外部サーバ設定] の「サーバ名」に登録します。

□ P.4-14 [[メンテナンス] 画面]

### 2 データを保存するフォルダを作成します。

ローカル ディスクに"data"フォルダを作成します。

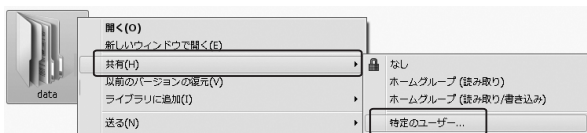
#### ポイント

ここで作成した フォルダを FN-1000 の [メンテナンス] 画面 - [送受信データ保存先設定] - [外部サーバ設定] の「共有フォルダ名」に登録します。

□ P.4-14 [[メンテナンス] 画面]

### 3 "data" フォルダを右クリックし、[共有] をクリックします。

Windows 7の場合は、[共有] を選択して [特定のユーザー] をクリックします。





#### 4 「外部サーバ用のアカウント作成」で作成したユーザを選択します。

☞ P.7-2 「外部サーバ用のアカウント作成」



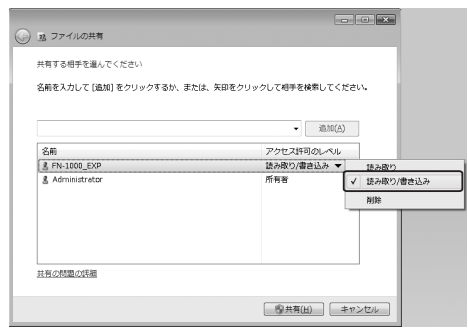
#### 5 [追加] ボタンをクリックします。

フォルダにアクセスするユーザを追加します。



#### 6 [アクセス許可のレベル]を設定します。

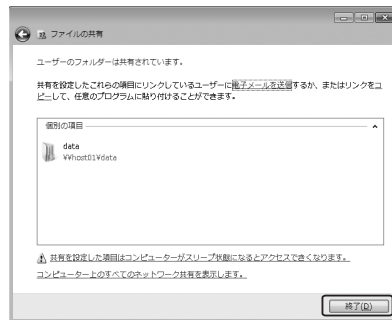
Windows 7	「読み取り/書き込み」を選択します。
Windows Vista	「共同所有者」を選択します。
Windows Server 2008	「共同所有者」を選択します。



## 7 [共有] ボタンをクリックします。



## 8 内容を確認して、[終了] ボタンをクリックします。



以上で、Windows 7 / Windows Vista / Windows Server 2008 に送受信データ保存先用フォルダを作成する手順は終了です。

# WebブラウザのJavaScript 設定

コンピュータのWebブラウザで本商品の設定を行う場合、JavaScript の設定を有効にする必要があります。ここでは、Webブラウザの [JavaScript] を有効にする設定方法を説明します

## ■ JavaScript の設定をする (Internet Explorer)

以下の手順の画面は、Internet Explorer 7.0 の例です。

### ポイント

Web ブラウザのセキュリティ設定を [高] に設定している場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。以下の手順でJavaScriptを [有効にする] に設定してください。

1 [スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択します。

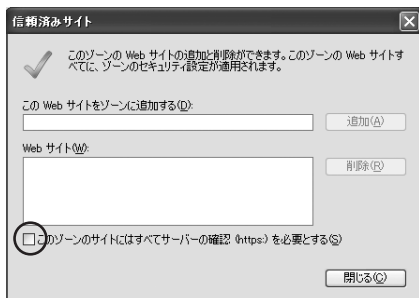
2 [インターネットオプション] を選択します。

Windows Vista/7の場合	[ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。
Windows XPの場合	[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックします。

4 [サイト] ボタンをクリックします。

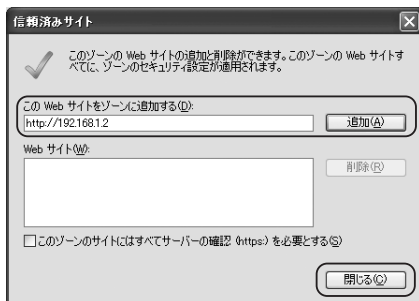
5 [信頼済みサイト] ダイアログの[このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする]のチェックを外します。



## 6 Webサイトのゾーンに本商品のIPアドレスを追加します。

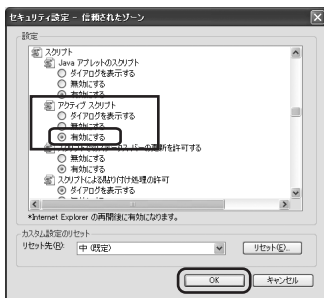
Windows Vista/7の場合	[このWeb サイトをゾーンに追加する] に「http://[本商品のIPアドレス]/」を入力して [追加] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックします。
Windows XPの場合	[次のWeb サイトをゾーンに追加する] に「http://[本商品のIPアドレス]/」を入力して [追加] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

本商品のIPアドレスを入力します。  
IPアドレスが192.168.1.2の場合：http://192.168.1.2/



## 7 [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックします。

## 8 [アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] ボタンをクリックします。



## 9 [OK] ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。

## ■ JavaScript の設定をする (Firefox)

- 1 Firefoxを起動します。
- 2 [ツール] - [オプション] を選択します。  
[オプション] ダイアログが表示されます。



- 3 [コンテンツ] をクリックしてから、[JavaScript を有効にする] にチェックを入れます。



- 4 [OK] ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。

# Webブラウザのポップアップブロックを解除する

Webブラウザを利用してアクセスする場合に、表示されるポップアップブロック機能を解除する方法を説明します。本書では、Internet Explorer、Firefoxの解除方法について説明します。

## ポイント

[Yahoo!ツールバー]、[Googleツールバー]などのアプリケーションをお使いの場合は、各社が提供しているヘルプなどを参照してポップアップブロック機能を解除してください。

## ■ Internet Explorerの解除設定

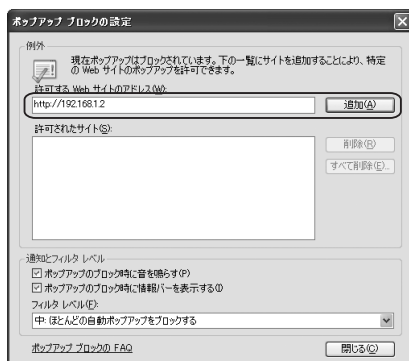
以下の手順は、Internet Explorer 7.0 例です。

- 1 Internet Explorerを起動します。
- 2 [ツール] - [ポップアップブロック] - [ポップアップブロックの設定] を選択します。  
[ポップアップ ブロックの設定] ダイアログが表示されます。

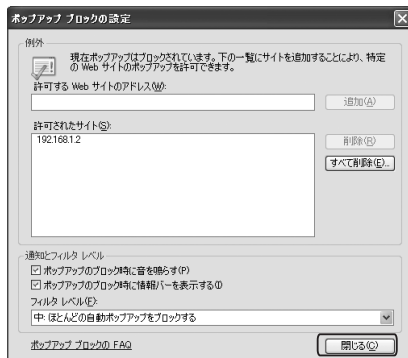


- 3 [ポップアップ ブロックの設定] ダイアログの [許可するWebサイトのアドレス] に、本商品のIPアドレスを追加します。

本商品のIPアドレスを入力して、[追加] ボタンをクリックします。  
IPアドレスが192.168.1.2の場合：http://192.168.1.2



- 4 [許可されたサイト] に、本商品のIPアドレスが追加されたことを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。



以上でInternet Explorerのポップアップブロックの解除設定は終了です。

## ■ Firefoxの解除設定

- 1 Firefoxを起動します。
- 2 [ツール] - [オプション] を選択します。  
[オプション] ダイアログが表示されます。



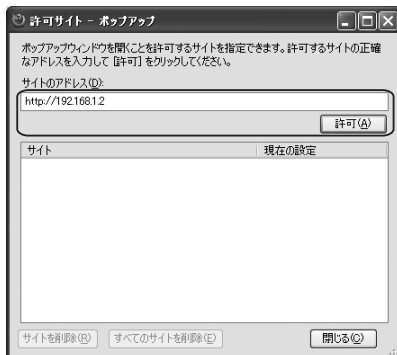
- 3 [コンテンツ] をクリックしてから、[許可サイト] ボタンをクリックします。  
[許可サイト - ポップアップ] ダイアログが表示されます。



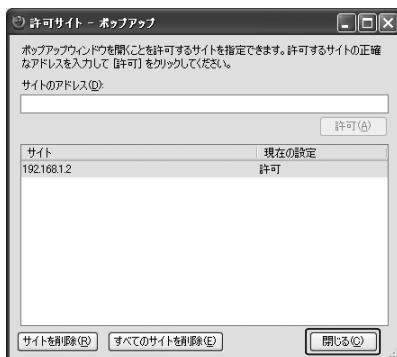


#### 4 [サイトのアドレス] に本商品のIPアドレスを追加します。

本商品のIPアドレスを入力して、[許可] ボタンをクリックします。  
IPアドレスが192.168.1.2の場合：http://192.168.1.2



#### 5 本商品のIPアドレスが一覧に追加されたことを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。



以上でFirefox のポップアップブロックの解除設定は終了です。

# IP アドレスの検索方法 (nslookup コマンド)

nslookup コマンドを利用してIPアドレスを検索する方法を、Windows XPを例に説明します。

## 1 [コマンド プロンプト] を起動します。

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンド プロンプト] をクリックします。

## 2 コマンドプロンプトに「nslookup <半角スペース> [サーバ名]」と入力して、[Enter]キーを押します。

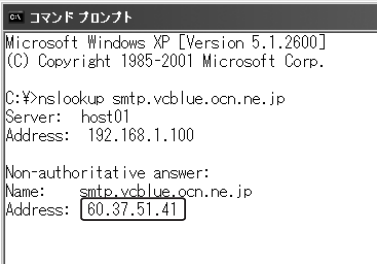
例	
サーバ名	smtp.vcblue.ocn.ne.jp

入力例：nslookup smtp.vcblue.ocn.ne.jp



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:\>nslookup smtp.vcblue.ocn.ne.jp
```

## 3 表示されているIPアドレスを確認します。



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:\>nslookup smtp.vcblue.ocn.ne.jp
Server: host01
Address: 192.168.1.100

Non-authoritative answer:
Name: smtp.vcblue.ocn.ne.jp
Address: 60.37.51.41
```

サーバ名	smtp.vcblue.ocn.ne.jp
IPアドレス	60.37.51.41

以上で、nslookup コマンドを利用してIPアドレスを検索する手順は終了です。

## オープンソースソフトウェアのライセンス情報

本商品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。

本商品は、第三者が規定したエンドユーザライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。対象となるソフトウェアコンポーネントについての媒体提供を希望される場合は、下記URLの「デジタル複製機（MFP）」の「お問い合わせ記入フォーム」にご記入の上、お問い合わせください。なお、媒体提供の際に別途実費を申し受ける場合があります。

<http://www.toshibatec.co.jp/contacts/indexj.html>

また、本商品のソフトウェアコンポーネントには、当社自身が開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、当社の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。なお、「EULA」の適用を受けない当社自身が開発または作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本商品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、“as is”(現状)の状態、かつ、明示が黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとなります。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、当社は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインターフェイスの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本商品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、本商品の [設定/登録] 画面の [メンテナンス] から確認できる [ライセンス情報] の中に記載しています。記載されているソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、[ライセンス情報] の対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださいようお願いいたします。なお、各「EULA」は当社以外の第三者による規定であるため、原文を収録しています。

### ■ [ライセンス情報] の確認方法

本商品に収録されている「EULA」は、以下の手順で確認できます。

- 1 本商品に管理者権限でログインします。**  
☞ P.4-2 「管理者権限でログインする」
- 2 [設定/登録] 画面の[メンテナンス] を開きます。**  
☞ P.4-3 「[設定/登録] 画面」
- 3 「EULA」を表示します。**

[ライセンス情報] をクリックして、本商品に組み込まれた対象となる「EULA」の原文を表示します。

本書で使用している通信やネットワークに関する用語について説明します。

## ■ 数字・アルファベット

10 BASE-T	Ethernet の通信方式の1つで、10Mbpsの伝送速度でデータ通信を行う。
100 BASE-TX	Ethernet の通信方式の1つで、100Mbpsの伝送速度でデータ通信を行う。
1000 BASE-T	Ethernet の通信方式の1つで、1000Mbps (1Gbps) の伝送速度でデータ通信を行う。
CF	Compact Flash の略 メモ리카ードの規格の一つで、記憶装置としてデータの保存に利用する。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略 機器のIP アドレスやデフォルトゲートウェイなどのTCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせで自動的に割り振るためのプロトコル。このプロトコルに対応したサーバをDHCPサーバと呼ぶ。
DHCPクライアント	DHCP サーバによりIP アドレスを割り当てられる機器。
DHCPサーバ	DHCPを用いてIP アドレスなどをクライアントに割り振るシステム。
DNSサーバ	ホスト名とIP アドレスとの対応表を管理し、ホスト名の問い合わせに対してIP アドレスを通知するサーバ。
EWB	Embedded Web Browser の略 本書では、デジタル複合機の操作パネルで操作できるWebブラウザのこと。
G/W	本書では、ゲートウェイ装置のこと。
IPアドレス	ネットワークにTCP/IPで接続する機器に割り振られる識別番号。
LAN	Local Area Network の略 同じ建物内にある複数のコンピュータやデジタル複合機などを接続した小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	Media Access Control アドレスの略 ネットワーク上で機器の区別をするために、機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。
NGN	Next Generation Network の略 従来の電話網がもつ信頼性・安定性を確保しながら、IPネットワークの柔軟性・経済性を備えた、次世代ネットワーク。
RADF	Reversing Automatic Document Feeder の略 デジタル複合機の自動両面原稿送り装置のこと。
RAM	Random Access Memory の略 本商品では、本商品のメモリのこと。
SIP	Session Initiation Protocol の略 通話制御プロトコルの一つ。NGNでは、このプロトコルを用いて制御を行っている。
SIPサーバ	SIP対応機器を管理するサーバ。
SMB	ネットワークでファイルやプリンタを共有するために用いるプロトコル。
TCP/IP	インターネットなどで一般的に用いられる通信プロトコル。
WAN	Wide Area Network の略 電話回線や専用回線を用いて、地理的に離れた地点にある小規模なコンピュータネットワーク (LAN) どうしやコンピュータどうしを接続して、データをやりとりするネットワーク。
Webブラウザ	ホームページなどのWebページを閲覧するためのアプリケーション。
ZIP形式	ファイルを圧縮するための形式の1つ。

## ■ カタカナ

イーサネット (Ethernet)	LANの通信方式。
インポート	本商品では、コンピュータで作成したデータを本商品に取り込むこと。
エクスポート	本商品の電話帳や設定値をファイルとして保存すること。
ゲートウェイ	LANとWANとの間に設置する中継装置。
サブネット	大きなネットワークのネットワークアドレス範囲を指定して、複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。
ジョブ	本商品が行う処理のこと。
データコネクト	フレッツ光ネクストのデータ通信サービス。
ナンバー・ディスプレイ	かけてきた相手の電話番号を、電話に出る前に電話機などのディスプレイに表示するサービス。ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
フレッツ光ネクスト	次世代ネットワーク (NGN) を活用した光ブロードバンドアクセスサービス。

# 仕様一覧

## ■ 仕様

項目	仕様
CPU	VIA C7 processor 1GHz
チップセット	VIA CN700 (CN700+VT8237R Plus)
メモリ	DDR2 DIMM 1GB
内蔵記憶装置	Compact Flash カード 4GB
LANインターフェイス	1000BASE-T (IEEE802.3ab) X 1ポート (RJ45)
保守用LANインターフェイス	10BASE-T / 100BASE-TX (IEEE802.3 / IEEE802.3u) X 1ポート (RJ45)
動作環境	温度：5～35℃ 湿度：20～85% (結露しないこと)
外形寸法 (本体のみ)	約234 (W) × 175 (D) × 48.5 (H) mm (突起部分を除く)
電源	AC100 ± 10 V 50/60 Hz
消費電力	14 W
質量	約 1.0 Kg (電源アダプタ含まず)
電磁妨害波規格	クラスB 情報技術装置 <VCCI-B>

## ■ 内蔵記憶装置のデータ領域

項目	容量
プログラム領域	1060MB
スワップ領域	1356MB
送信データ保存領域	680MB
受信データ保存領域	980MB

\* 各データ領域の容量は、工場出荷時<2010年3月>の容量です。本商品のファームウェアのバージョンアップなどにより、各データ領域の容量が変更になる場合があります。

## ■ 受信可能枚数の目安

条件：

- ・ [送受信データ保存先設定] が本商品の内蔵記憶装置のデータ保存領域 <工場出荷時設定>
- ・ 送信側が送信データ保存領域 (680MB)、受信側が受信データ保存領域 (980MB)をすべて使用できる状態
- ・ 「画像電子学会 ファクシミリテストチャートNo.11」使用

送信先処理	原稿サイズ	解像度	カラーモード	保存可能枚数の目安
保存	A4	300dpi	カラー	610 枚
			グレースケール	680 枚
	A3	300dpi	モノクロ	6800 枚
			カラー	260 枚
			グレースケール	280 枚
			モノクロ	2260 枚

送信先処理	原稿サイズ	解像度	カラーモード	印刷可能枚数の目安
印刷	A4	300dpi	カラー	40枚
			グレースケール	45枚
	A3	300dpi	モノクロ	460枚
			カラー	15枚
			グレースケール	15枚
			モノクロ	150枚

### 注意

- ・ 受信可能枚数は、「画像電子学会 ファクシミリテストチャートNo.11」を用いた目安の数値で、受信可能枚数を保証するものではありません。
- ・ 原稿の内容 (サイズ、解像度、カラー/グレースケール/モノクロなど) により、受信可能枚数の目安と異なる場合があります。

# さくいん

<b>C</b>		<b>い</b>	
CFアクセスランプ	1-3	[印刷ジョブ] 画面	2-39, 3-38
		印刷する	3-44
<b>D</b>		印刷設定する	4-18
DHCPサーバ	1-10	印刷できない	6-6
		<b>え</b>	
<b>E</b>		エラーコード	6-12
EWB (Embedded Web Browser)	1-7, 3-2, 3-3	<b>お</b>	
EWB対応デジタル複合機の設定	4-44	オープンソースソフトウェア	7-19
EWB対応のデジタル複合機	3-3	<b>か</b>	
<b>G</b>		[確定] ボタン	2-28
G/W	1-5	管理者権限	4-2
G3ファクス送信	4-53	[管理者用] ボタン	4-4
G3ファクス送信のリレポート機能が利用できない	6-4	<b>き</b>	
<b>I</b>		[基本設定] 画面	4-3, 4-5
ID番号指定	2-30, 2-31	[キャンセル] ボタン	
IPアドレス	1-10	キャンセル	2-30, 2-31, 2-32, 2-33, 3-30, 3-31, 3-34
IPアドレスが変わってしまった	6-2, 6-9	<b>く</b>	
IPアドレスを自動取得する	1-6, 1-7	グループ一覧	2-31, 3-26
IPアドレスを手動で設定する	1-6, 1-7	[グループ] 画面	2-31, 3-26, 4-12
<b>J</b>		グループを修正する	4-27
JavaScript 設定	7-11	グループを登録する	4-24
<b>L</b>		<b>け</b>	
LAN1/LAN2ポートのIPアドレス	1-10	ゲートウェイ	1-5
LAN1ポート	1-4	[現在の状況] 画面	2-37, 3-36
LAN1ポートの設定	1-6	検索結果	2-36
LAN2ポート	1-4	[検索結果クリア] ボタン	2-36
LAN2ポートの設定	1-7	検索条件入力	2-36
LANアクセスランプ	1-3	<b>こ</b>	
LANケーブル	1-2	コンピュータのWeb画面で設定できない	6-2
<b>M</b>		<b>さ</b>	
MACアドレス	1-10	[再入力] 画面	3-28
<b>O</b>		削除する	2-24
OFISTAR H6000	3-3	[削除] ボタン	2-28, 2-34, 3-32, 3-33
OFISTAR H6000の設定	4-48	[参照] ボタン	2-28
OFISTAR H6000の「節電モード」	3-4	<b>し</b>	
[OK] ボタン	2-30, 2-31, 2-32, 2-33, 3-35	自動更新機能	5-3
<b>P</b>		[修正] ボタン	2-29
PostScript3	3-44	受信一覧	2-34
[PWD付送信] ボタン	3-24, 3-26, 3-27, 3-29	[受信一覧] ボタン	2-34
<b>S</b>		受信データが消えてしまう	6-5
SIP (Session Initiation Protocol)	1-7, 2-37, 3-36	受信できない	6-5, 6-10
<b>T</b>		[受信ファイル] 画面	2-34
T.37オフランプ	4-54	受信ファイルを検索できない	6-5
TopAccess	4-48, 4-54	[受信履歴] ボタン	2-33
<b>W</b>		[受信ログ] 画面	2-42, 3-40
Webブラウザ	2-2, 2-3	手動で更新する (ファームウェア)	5-3
<b>あ</b>		仕様一覧	7-22
アクセスする	3-4	[状況確認] ボタン	3-24, 3-25, 3-26, 3-27, 3-29, 3-30, 3-31, 3-32, 3-33, 3-34, 3-35
アクセスできなくなった	6-9	[詳細設定] 画面	4-3, 4-9
[宛先確認] ボタン	3-24, 3-26, 3-27, 3-29	初期化	4-87
宛先確認一覧	3-33	[ジョブ] 画面	2-38, 3-37
[宛先確認] 画面	3-33	<b>す</b>	
[宛先クリア] ボタン	3-24, 3-26, 3-27, 3-29	スキャナ	2-37, 3-36
宛先選択	2-28	[スキャナ設定] 項目	4-51
[宛先追加] ボタン	2-28	[スキャン] ボタン	3-30, 3-31
宛先番号入力	2-32, 3-27		

<b>せ</b>		
接続/アクセスできない	6-2	
接続できない	6-2	
設定/スキャン	3-24, 3-26, 3-27, 3-29	
[設定/スキャン] 画面	3-30	
設定値を復元する	4-85	
設定値を保存する	4-82	
[設定/登録] 画面	4-3, 4-4	
[設定/登録] タブ	4-3	
[設定] ボタン	3-30	
<b>そ</b>		
操作パネル	3-2	
操作パネル画面説明	3-24	
[送信受け付け] 画面	3-35	
送信確認	2-29	
[送信確認] 画面	2-29	
[送信確認] ボタン	2-29	
送信先指定フォルダ	3-2	
送信先処理	2-28, 3-30	
[送信ジョブ]	2-38, 3-37	
送信済みのデータが履歴から消えてしまう	6-4	
送信できない	6-3, 6-4, 6-9	
送信内容	2-29	
送信ファイルを印刷できない	6-6	
送信ファイルをカラー印刷できない	6-6	
[送信] ボタン	2-29, 3-34, 3-24, 3-26, 3-27, 3-29	
[送信履歴] ボタン	2-33	
[送信ログ] 画面	2-40, 3-39	
送信ログに表示されない	6-4	
送付書類	3-24, 3-26, 3-27, 3-29	
[送付書類一覧] 画面	3-32	
<b>た</b>		
ダウンロードして更新する (ファームウェア)	5-3	
ダウンロードする (受信ファイル)	2-17	
[ダウンロード] ボタン	2-35, 2-36	
縦置きスタンド	1-2	
<b>て</b>		
データコネクタ	1-7	
データの条件	4-53	
データ領域	7-22	
デジタル複合機	3-2	
電源アダプタ	1-2	
電源アダプタ端子	1-4	
電源オフ、電源オン	1-8, 6-2	
電源が入らない	6-2	
電源コード	1-2	
電源スイッチ	1-3	
電源ランプ	1-3	
電話帳一覧	2-30, 3-24	
[電話帳] 画面	2-30, 3-24, 4-12	
電話帳をインポートする	4-34	
電話帳をエクスポートする	4-31	
電話帳を修正する	4-22	
電話帳を登録する	4-20	
<b>と</b>		
同梱品	1-2	
[登録] 画面	4-3, 4-12	
[閉じる] ボタン	3-32, 3-33	
<b>に</b>		
入力確認一覧	2-32	
<b>ね</b>		
ネットワーク	2-37, 3-36	
<b>は</b>		
バージョンアップする (ファームウェア)	5-2, 5-7, 5-9	
パスワード付送信する	2-8, 2-29	
パスワード入力	3-34	
[番号入力] 画面	2-32, 3-27	
<b>ふ</b>		
ファイル一覧	2-35	
[ファイル一覧] 画面	2-35	
[ファイル一覧] ボタン	2-34	
[ファイル検索] 画面	2-36	
[ファイル検索] ボタン	2-34	
[ファイル削除] ボタン	2-35, 2-36	
ファイル選択	2-28	
ファイル送信 (SMB)	3-2	
[ファイル送信] 画面	2-28	
ファイル送信画面の説明	2-28	
ファイルを送信する	2-4, 3-6	
フォルダ設定をインポートする	4-74	
フォルダ設定をエクスポートする	4-71	
プリンタ	2-37, 3-36	
フレッツ光ネクスト	1-7	
<b>ほ</b>		
保守サービス	巻末	
ポップアップブロック	6-2	
ポップアップブロックを解除する	7-14	
<b>み</b>		
未送信データが消えてしまう	6-4	
<b>め</b>		
銘板ラベル	1-2	
メールが送信されない	6-5	
メッセージ	6-16	
G3送信中	6-16	
G3送信待ち	6-16	
SIP未登録	6-16	
再発信待ち	6-16	
送信中	6-16	
送信待ち	6-16	
レジストされていないため、送信できません	6-16	
メモリ	2-37	
[メンテナンス] 画面	4-4, 4-14	
<b>も</b>		
[戻る] ボタン	2-35	
<b>よ</b>		
[読み込み (原稿ガラス)] 画面	3-31	
[読み込み終了] ボタン	3-31	
読み込み情報	3-31	
読み込み設定 (読み込み設定)	3-30	
<b>ら</b>		
ライセンス情報	7-19	
<b>り</b>		
[リセット] ボタン	3-30	
リルート機能	4-53	
[リルート] 項目	4-58	
履歴一覧	2-33, 3-29	
[履歴] 画面	2-33, 3-29	
履歴を確認する	2-13, 3-22	



---

<b>れ</b>	
レジスト .....	2-37, 3-36
レジストできない .....	6-7
<b>ろ</b>	
ログインする .....	2-3, 4-2
ログインパスワード .....	2-3, 4-2
[ログ] 画面 .....	2-40, 3-39, 4-4
[ログ管理] 画面 .....	4-17
<b>わ</b>	
ワンステップ送信 .....	3-41
[ワンステップ送信] 項目 .....	4-61
ワンステップ送信する .....	3-42
[ワンステップ送信設定] 画面 .....	4-13
ワンステップ送信の設定 .....	4-60



## 保守サービスのご案内

### ■ 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたします。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

### ■ 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつと料金をいただく「実費保守サービス」を提供いたしております。実費保守サービスでは故障内容によって、高額になる場合もあります。

保守サービスの種類

定額保守サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>毎月決められた料金をお支払いいただくことで、装置の定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換など、装置の性能維持に必要な保守サービスを行います。</li></ul>
実費保守サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>定期交換部品の交換、故障時の修理などに要した費用をそのつといただきます。<ul style="list-style-type: none"><li>お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。</li><li>故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。</li></ul></li><li>当社のサービス取扱所まで商品をお持ちの場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。</li></ul>

### ■ 故障した場合のお問い合わせは

局番なしの113 番へご連絡ください。

### ■ お話中調べ

局番なしの114 番へご連絡ください。

### ■ その他

本商品の使い方などで、ご不明な点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

- NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

携帯電話・PHSからも利用可能です。

受付時間 9:00～17:00

※年末年始：12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号はお間違えにならないように、ご注意ください。

### ■ 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。





---

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

---



©2010 NTTWEST  
3108-1(2010.3)

OMJ090069A0  
Ver01 2010-05